のには、恐らく數年間かゝつて金の解禁をすることが本當であつた、それが間違つたからして斯やうな我國に經濟上の不景氣が來たのだといふやうな質問、意見が一番重要な問題であつたやうに考へて居ります次第であります。併しながら其の方々の說を聽きますと、殆ど悉く斯ういふ事に歸するのであります。日本は全く平生の狀態である、何等更生すべき、何等更新すべき直接の重大必要を感じて居ないんだ。もう一つ批評致しますと、不景氣が斯くの如く出て來たならば、其の結果から推して斯やうな事を生ずるやうなことは、日本が經濟上に更生、更新すべき必要があつてもやらぬことが本當であつた、左樣な不明なやり方をするといふことは、政府の非常な落度であつたといふ點に歸するのであります。併しながら吾吾は、日本の金解禁は既に遲れて居る、昨年の七月あたりの狀況で云つたならば、日本は非常な狀態に立至つて居るのである、非常な固い決心を以て、國民と共に此の經濟上の立直しをしなければならぬといふ事情があつたのであります。それを認めずに唯單に、日本は平生の狀態である、何等更新すべき必要を認めないといふやうな前提を置いて吾々のやつた事を批評するといふことは、非常な嘘である。



斯ういふ答辯をしたのであります。今日も其の點に就て、私共が議會で答辯したやうな事を簡單に申上げますと、假に日本が七月から以來財政の緊縮もしない、國民の消費節約もしなくつて此の不景氣に遭遇したならば、今頃日本はどうなつて居るのでありませうか、それを一つ想像して見たならば、日本の經濟上の狀態が最もよく、はつきり分るのではなからうか。假に七月に財政の緊縮もせず、消費節約も唱へなかつたならば、輸入は減りますまいと思ひます。物價も或程度までは下らなかつたであらうと思ひます。然るに今日の世界の不況に遭遇致しましたならば、輸出は非常に減つたらうと思ひます。今日の生絲の狀態、或は御當地の綿絲の狀態から申しましたならば、確かにさうと考へます。其の場合に、昨年の七月に爲替相場が下り、國際貸借の狀態があゝいふ風になつて居つたことをよくずつと過去十箇月間想像して、今日まで想像し及んで見ますと、日本の今日は、私は非常な妙な經濟界になつて居るであらうといふことは確かに認めるのであります。物價が本當に下らなくて、輸出が減つて輸入が急激に減らずに行く、と斯ういふ片跛な狀態を考へて見ましたならば、餘程妙な日本の經濟界であつたらうと、斯う考へ

て居るのでありますから、現在の狀態に對する說明を左樣な方角から致したこともある次第であります。

第二の質問の點で數回反問されて居りました點は、現政府は自分が財政緊縮をすることは非常に宜しいが、國民に消費節約を强ふるといふことは非常な間違ひである。斯ういふ非難、攻擊が到る所にあつたのでありますが、それに對しまして は、私が最も其の衝に當つて說明したのでありますが、此の點も今日商工會議所で說明し、自分達の考へを申しておきましたが、少しく講釋じみるのでありますが、外國が戰後に此の經濟界の整理を致しましたことは、通貨收縮を最も多く圖つたのであります。それは各政府共、戰爭中に公債によつても十分資金が出來ず、增稅は尙やり得ない、從て中央銀行から金を借りて居るのが最も巨額であつたのであります。從て戰後に財政のバランスを得しめようとすれば、其の借りた金を還すといふことを一番先に取計つたのでありますが、其の結果どうなつたかと云へば、歐羅巴全體に戰後には、貴方がたも御承知の如く、非常な不景氣が來たのであります。さうして物價は隨分急激に低落したのであります。佛蘭西の如きはそれによつ



て增稅も圖つたのであります。さう致しますとどうなるかと云へば、通貨收縮を致しますから物價が下る、需要が減る、さうして經濟界に不景氣が來るといふことは、あの當時の事を何か御覽になると、其の時代、實は歐羅巴を通じて皆其の現象が出て居ります。然るに日本に於きましては、通貨膨脹があるかないかといふことは、非常な議論のあるところでありますけれども、斯う考へますと、相當に通貨が膨脹して居るといふことが、或點まで考へられるのであります。大正六年に日本で金の輸出禁止を致しました時は、恐らくは金貨は六億位であつたらうと記憶して居ります。其の後に金を輸入して參りまして、自分で出すことは出さずに、ずつと金貨を輸入して十一億まで輸入して居ります。さうして通貨の平均高は、十三億五千萬圓位の高まで上つて居ります。さうして出さずに入れて居るのであります。それから外國貿易の狀態は如何と云へば、大正八年以後四十二億の輸入超過をして、外國に持つて居る二十二億の金を使つてしまつて、さうして借金が七億五千萬圓殖えて居ります。其の事柄を考へて見ると、若し金の輸出禁止がしてなかつたならば、其の間に度々日本の物價は上り、下り、通貨は殖えたり減つたりして居

ることは、極く易く想像のつく事であります。さういふ狀態でありますのに、日本は中央銀行から金を借りて通貨を殖やしては居りませぬ。それで中央銀行に金を返せば通貨が收縮するといふ天然自然の狀態は、どうしても持來すことが出來ませぬ。それで七月に內閣の出來ました時に、此の事柄は非常な考ふべき問題と思つたのでありますが、併しながら通貨の收縮を圖らうとすればどうすれば出來るかと斯う云へば、其の時議會を開いて公債の發行を一つ計畫し、公債を二億とか五億とか發行して、其の發行した公債を政府が持つてそれを使はずにさへおいたならば、其の募集しただけの通貨は收縮になるのでありますが、之れが一つの方法、もう一つの方法は、日本銀行に其の頃は三億五千萬圓なり四億なりの國民の預金がありますから、それを假に三箇年乃至四箇年の間の期限にして日本銀行が各銀行に利息を附けてやる定期預金にして、無利息の金を全部預つたとすれば、之れも通貨收縮になります。併しながら左樣なことをすると、それは皆悉く人爲的であります。政府が二億、三億、五億とかいふものを、時期を定めて公債で通貨の收縮をしようとすることも人爲的であります。四億の金の中で二億とか三億に金利を



附けて五箇年間金を縛るといふやうなことも、其の高を見定めるのは全く人爲的であります。人爲的に通貨の收縮を圖つて、それで決して世人が滿足する氣遣ひは無いと思ひます。今日のやうな狀態に推進んで來て、通貨收縮の爲めに物價が下つたとなれば、或は右の人爲的の通貨收縮であれば、其の仕方が多過ぎる、或は少な過ぎるといふやうな議論があつて、決して人爲的の方法に世人は滿足するやうなことは不可能であつたらうと考へるのであります。それであるから、さういふ事は到底之れは行ひ得るものではないのであります。それならば政府が財政緊縮を致すと同時に國民に消費節約を勸めて、之れが成功したならどうなるかと申すと、卽ち通貨收縮と殆んど同じ結果を生ずるのであります。需要が減退する、政府の使ふ金が減りますれば、それだけ經濟界に影響を與へる、さうして國民が今日の經濟界の狀態をよく諒解して、さうして消費節約をすれば、さういふ結果を生ずるのであります。又中央政府なり地方政府なりの節約の標的は何處にあるかと云ふと、多くはこれまで借りて居る金を借りずに濟まさうといふのが、財政整理の凡そ行く途であつたと考へますので、財政整理そのものは必要である、其の結果も

必要である、それが國民の消費節約と相俟つて經濟界に結果を及ぼすことは通貨收縮と同じ結果である、斯ういふ事を考へて實行したのであります。從て斯う成行くべき途がありまして、それに東西から別れて行つたのであつて、恐らくは通貨收縮と吾々のやつた事は、今日から見て同じ結果を生じたであらうと思ひます。消費節約、財政緊縮の結果が金の解禁を致しまして、今日は相當に通貨が收縮されて居ります。此の上金は餘り出ようと思ひませぬが、此の程度まで通貨が收縮されたとして其の通貨收縮の結果が何處に現れて居るか、斯う申すと、消費節約、財政の緊縮から來て居る結果が現れて居ります。今日の不景氣の狀態で資金の需要がありませぬから、其の爲め金利はゑらく上つて居ないが、此の點から考へると、通貨收縮と財政緊縮、消費節約と同じ結果を持來し得たと、斯う考へて居るのであつて、其の點は何處となく學問の理窟のやうな妙な議論でありましたが、本會議に於きましても、豫算總會に於きましても、或は貴族院に於きましても、度々繰返された議論でありますから、一つ兩者の要點を申上げて貴方がたに御報告旁々申上げておきたいと考へて居りました次第であります。



只今片岡君よりのお話のありました事も吾々は承りました。其の點に就て一つ申上げて見たいことは、合理化、或は能率增進といふことがありますが、之れは皆樣の御承知のやうな次第でありますが、今日も私、商工會議所で此の事柄は違つた方角から唱へて、さうして實際的にそれを行つて居りますことを申上げて見ますと、私は斯う考へて居ります。戰爭中から戰爭直後にかけて日本の產業が、何と申しますか、資本金を一方から云へばかけ過ぎる、資本金を重複して使つて居る、といふやうなことが非常に多い。假に申しますと、先刻も申した英吉利の例をとりまするが、——日本の具體的の例を擧げますことは寧ろ避ける方が宜しいと思ひます——假に英吉利の今日の造船狀態から云ひますと、英吉利の船渠は餘りに大き過ぎる、今だけの設備があつても到底之れを十分に利用して行くことが出來ぬといふことで、船渠が殆ど全部合同を致しまして、其の中で能率の惡いものは閉鎖してしまふ、さうして造船の能力と實際の造船と同じやうな形をとつて行つて居りますが、私は、日本に於ても、同じ造船界に於きまして之れと同一の事があると思ひます。今日海軍の軍縮のありました後には、一層民間

の造船能力の維持を必要としますが、併しながら此の儘行つて、日本の造船といふものが果して行ける餘地があるかどうかといふことを考へて見ますと、英吉利のやりました例の如きは、非常に私は必要ではないか、卽ち或程度までの合同をして或程度までは止めて、其の止められた造船所は他の工業に之れを利用するといふことが本當のことではないかといふやうな考へをして居りますので、或は之れは此の政府が行つた事、又今行ひつゝある事であります從ひますから、私共の産業合理化を他の面から見ましたことを申上げますと、電力の統制とか統一とか云ひます事柄も同じことであります。例へば、一方には供給區域の獨占を許しますと、殊に東京を例には永久に良いか悪いかは別として、現在の電燈の狀態から云ふと、とつて申しましたならば、私は供給區域の獨占を許すといふことは、或條件を附けてやつたならば、今までの如く電力界に於ける資本金の多いこと、非常な利用の出來ない澤山な電力をこしらへて持つて居る其の資本金から云ひ、其の工業の今日困つて居る所から云ひますと、私は非常に必要な事と考へて居ります。從て大規模の工業に於ては、吾々は是非共、或程度まで事業は調節をして、さうして商品の値



段を一定して、其の事業を代表して居る所の株の値段といふものを安定せしめることが、今日の此の經濟界に處する最も適當な仕方ではないかと、斯う考へてやつて居るのであります。之れは一種の産業合理化でありますが、合理化運動に最も直面した現在に、なるたけ早く、なるたけ直ぐにやらなければならぬ事が左樣な事であらうと私は考へて、現政府に於きましても、比較的大規模の工業には其の方針を以て進みつゝあるのであります。併しながら此の事柄に就きましては、實際其の衝に當つて見ますと、或は人的關係、或は事業の内部の狀態から、或は資本の關係、或は事業の内部の狀態からして、外に現れる程の結果が中々出悪いのであります。之れは只今片岡君の云はれました産業合理化にも常に伴ふ困難でありますが、實際やつて見ますと非常なむづかしい問題でありますが、併しながら自分がやつたもので出來上つたものは、製品の値段が一定するに從ひ株券の値段も安定して來たといふことは、確かな事實が幾らもあります。又株の配當の如きだけから申しましても、内部の始末が悪い、内部の始末をし直してそれによつて出來る配當まで下げて來る、斯うしてそれを發表して初めて株の値段の安定したやうな事が澤山ありますので、其の意味に

於きます財界の整理を、今後大いに進めて行きたいと、斯う考へて居ります。時間もありませぬし、私は之れで罷り下りまして、私自分に對し、又は政府に對して御質問なり御希望の點がありましたならば代つて承ることに致し、又私が何か意見を申上げる事がありますならば其の時申上げますのが宜しいかと思ひますので、之れで終ります。



# 我國財界の現狀と國民の覺悟

（昭和五年六月十六日於日本貿易協會例會）

## 一

最近濱口內閣の財政經濟政策の變更といふやうな噂が新聞に出て居ります。これは吾々の內閣にとりましては大問題でありますが、吾々は左樣な事は一切考へては居らぬのでありますから、其の事柄を簡單に申上げて見たいと思ひます。尙最近實業家諸君に於きましては、關稅引上のことを唱へて居られる。外國の物價下落より來る日本の產業の打擊を、關稅の引上によつて防がんとする議論がありますので、此れ等に就ても吾々の考へて居りまする事を、或程度までお話致しましたならば、幾らか御參考になるかと思ひます。又其の事を申上げます前に、此の日本の財界の現狀はどういふ程度のものであるか、どんな原因によつて出來て居るかといふやうな事を申上げて見たいと思ひます。勿論私が申上げるまでもな

く皆さん十分御承知の事と考へるのでありますが、併しながら今の日本の經濟界に對しては、よく日本の實情から考へて、又世界の狀態から考へて、其の推移に就て十分の理解をすることが非常に必要ではないか、其の理解を致すに就きましては、諄くても、諸君が聞き倦きて居られても、度々此の事柄をお聽き願つて、樂觀もせず、又悲觀もせず、經濟界の眞相に就て御理解を下さることが、一番重要な事項であるのではなからうかと考へまする爲めに、此の場合に其の事柄を一應申述べて見たいと思つて居ります。

御承知の如く、歐羅巴の大戰爭後の日本の經濟界は段々惡くなりつゝあつたのである。段々縮小されつゝあつたのである。卽ち以前と比較致しますれば、年一年と不景氣になりつゝあつたのである。然るに昨年七月吾々の內閣が出來ました時には、日本の經濟界はこれまでの狀態では最早進むことが出來なくなつて居つたので、吾々は日本の經濟界を立直して見るといふことを餘儀なくされて居つたのであります。そこで吾々は、金の解禁もしなければならぬといふことからして、第一には財政の緊縮、消費節約をしたのであります。數字に訴へて申しますれば、昭和四年度で中央、地方を通じて政府が四億圓の金を使ふことを止めて居ります。單に四億圓の金を使ふことを止めたと申しますと語弊がありますが、一方から云ふと、それだけ金を借りて使つて居つたのを金を借りなくして濟ます。卽ち金を借りなければそれだけ、資金の上から申しますと、其處に資金の餘りがある。仕事をしなくなつた爲めに、其の事柄が經濟界に影響を與へて居る、斯ういふ事になつて居るのであります。

然るに此處に、世界の不景氣といふものが出て來た。不景氣の出て來た所以に就て、私の記憶を辿つて私自身の見る所を述べて見ますと、第一、金融の方から申しますと、亞米利加が御承知の如く世界大戰後に於ては每年十四、五億弗——日本の金にしまして三十億圓位の資金を歐羅巴其の他世界中に供給して居るのであります。其の結果がどうなるかと云へば、金を借りた國から云へば金融を得て借りた資本で相當に引合つて居た。然るに亞米利加では、一昨々年の頃から段々株の景氣が好くなつて、平均利廻が三分位まで値段が上つて居ります。從て金利が一割、コールの如きは八分、一割、一割五分と金の値段が

上つた。其の結果がどうなつたかと云へば、各國に金を貸すことが出來なくて、寧ろ各國にある金を亞米利加に引寄せたといふ事實が澤山あります。新しい金は貸さずに、寧ろ外國から金が亞米利加にさつさと入つて來たといふ事情がありまず。其の事柄は、亞米利加全體の經濟界を支配する大なる力になつて居ります。

二

今日、英吉利が非常に貿易の上に困つて居る。斯ういふ事は何處にあるかと云へば、英吉利がこれまで世界各國に金を貸して居る。貸した金は物に變つて外國に出て行くが、今日は金を貸すことが出來ないので、英吉利の貿易は衰へて居るといふことも之れが總てではありませぬが、一面の事實であります。從て亞米利加の此の金を貸さずに、逆に外國から亞米利加に金が還つて來たといふことは、亞米利加と共に、歐羅巴諸國の金融から經濟の上に、大なる影響を與へて居るのであります。それが昨年の十一月位になつて、亞米利加で株が段々上つて來て、中央銀行の金利を上げて之れを止めようとかゝつて、其處に衝突が起つて大恐慌を來して居つたのであります。而して其の事柄が一時的の亞米利加の景氣、不景氣を判斷



する事柄だけであつたかと云ひますと、一方には農產物が非常に出來過ぎて、其の價格が非常に下つたといふ著しい事情があります。亞米利加だけではありませぬ。農產物が出來過ぎたといふことと、消費が世界各國で減つたといふ事柄とが、二つ相俟つて農產物が非常に安くなつて居ります。譬へて見ますれば、亞米利加の棉花が一封度二十一仙、二十二仙、昨年の五、六月頃にはそんな値段だつたと思つて居りますが、今日は十五仙、十四仙と下つて、十三仙にまでも下つて居ります。さう致しますと、三割位値段が下つて居ります。亞米利加の棉の値段が三割下つて見ましたならば日本にも非常な影響が來る。日本の紡績會社の持つて居る棉の値段が下り、其の株が下り、絲が下り、綿布が下る。斯ういふ事を見ますれば、世界の狀態が日本の經濟界を不景氣に導く上に就てどれだけ影響するかといふことが、はつきり分るだらうと思ひます。尙日本に最も關係のあります事を申しますれば、玖瑪の砂糖、爪哇の砂糖が非常な出來過ぎで、同時に消費が減つて、最近にはあれ程の砂糖の關稅があるにも拘らず爪哇の砂糖が日本に入つて來て、日本の砂糖の値段が最近には下る大勢になつて居るのであります。加奈陀の小麥も可なり値

段が下つて居ります。それから伯剌西爾の珈琲の如きは、殆ど皆様が想像のつかぬ程に値段が下つて、折角伯剌西爾政府が金を借りて支へて居つたのが、支へ切れずに抛り出してしまつたといふやうな有様であります。伯剌西爾で珈琲の値段が下つても、之れは日本には大した影響もありますまい。併しながら穀物の値下りと云ひ、砂糖の値下りと云ひ、日本の狀況に直接の影響の無いものは無いのであります。

さう考へて見ますと、大正九年から進みつゝあつた日本の經濟界の狀況に對して、現政府は財政、經濟の立直しをしようとして緊縮をした影響、それに世界の大勢が合流して、今日の如き經濟狀態をこしらへて居るのであります。物價に就て申しますと、昨年の六月と今日とを比較して、英吉利で見ますと一割二分下つて居ります。亞米利加では一割三分位下つて居ります。亞米利加にしても、十一箇月位の間にこれ位卸賣値段が下つたことは少ないのであります。日本は御承知の如く卸賣相場で一割四分、小賣相場で一割三分下つて居りますが、日本の過去並に最近の狀態に於ても、これ位短い期間にこれ程下つたことは無いのであります。斯



ういふやうに物價の下り方から云ひましても、各國共殆ど同じ率に、一樣に下つて行つて居るのであります。今日英吉利の如きも非常に困難して居ります。最近に英吉利から歸つて來た人の直接の話を聞きますと、マンチェスター界隈では二割乃至三割位の仕事を休んで居るといふやうな狀況でありまして、日本の紡績の發達、或は支那の紡績の發達に考へて、マンチェスターが近い將來に此の數字を復活させることは出來なからう、と云つて居るさうであります。從て英吉利の今日の狀態を聞いて見ますと、少し比較は空漠として居りますけれども、話した人の言葉を其の通り申しますと、日本の維新時代のやうな改革を皆考へて、英吉利の產業の革命化といふことを申して居るといふことであります。英吉利のあの出來上つた狀態と比較致しましたならば、日本の今日の狀態はまだ〳〵進んで行きつゝあるのであります。英吉利に比べて餘程解決が容易いのではないかと、斯う考へるのであります。

## 三

今日は失業者に致しましても亞米利加が三百萬人、英吉利が最近殖えて百七十

五萬人、獨逸が三百萬人からあります。さういふ狀態でありまして、世界中皆非常に苦しんで居ります。日本は日本だけの特別の事情として、今申上げた上に印度の關稅の關係、銀の値段の下つた狀況から非常な打撃を受けて居り、又南洋貿易から見ましても、今日護謨が平生よりも三片以上も下つて居る爲めに、日本の貿易が振はないといふ事情があります。

日本の金の解禁を致しましたことが此の事態にどう云ふ影響を與へて居るか、今後如何なる影響を與へるであらうかと申しますると、これまでの狀況で云ひますと、財政の緊縮をし消費節約をした爲めに、爲替相場が上つたといふことを考へますと、金解禁の直後までの狀態で云ふと、爲替相場の上つた影響と財政緊縮、消費節約をした影響とは殆ど同じであると云つてもよからうと思ひます。併しながら今後にかけて、金の解禁は如何なる影響があるかと申しますれば、私は斯う考へて居ります。人によつて大分考へ方が違ひますけれども、吾々は大正十二年、十三年、勘定の仕方によつては、大正九年の反動後、大正十年頃から日本の爲替相場はずつと下り續けて居ります。併しながら大部分の下つた程度から云ひますると、先



づ四十六弗、斯う考へるのが一番正しい考へ方ではなからうかと思つて居ります。御承知の如く、或場合に爲替相場が極端に下り、或は極端に上るといふやうな事がありましても、それは左程取立てて考へぬでもよくはないか、一番長く、一番平均數字で下つたものを考へるといふことが一番正しいと思ひます。何故ならば、それによつて日本の物價も日本の經濟事情も出來て來る。其處を考へますと、先づ四十六弗といふ數字をとるのが宜しい。さうすると先づ三弗半下つて居る。從て七分だけ爲替相場によつて日本の全體は保護される。日本の產業、日本の物價はそれによつて出來て居る。斯う考へて宜しくはないかと思つて居ります。さうすると、金解禁によつて爲替相場が七分上り、四十九弗半になれば七分程物の値段が違つて來る。外國から直接來るものは七分程値段が下る譯である。外國に輸出するものはそれだけ不利益になる譯である。斯ういふ事があるのであります。そこで金解禁をして輸出が不利益になることはどうして補ひがつくのであらうか。吾々の考へて居ります所によりますと、物價が下つて補ひがつくのであります。御承知の通り、輸出を盛にするには生產費を安くして、世界各國と競爭するより外

に競爭の途が無い。昨年の六月以前までやり來つた狀態で行きますと、紡績の如く多量生產で非常な合理化を行つたものを除きました外は、中々日本の物が世界各國の同一の商品と競爭することは困難であります。それを考へますと、物價が高くては日本の外國貿易を盛にすることが出來ない。斯ういふ事情であつて、同時に日本の物價は、戰前に比べて多くは百六、七十位で、あの近邊に來てどうしても下らなかつた。從て外國と競爭する意味から云ふと、非常な困難を來して居つたのであります。ところが今後は金の輸出解禁をして爲替相場が上つた爲めに、それだけ外國貿易には不利であるが、同時に日本內地に於ては物價が一割四分程下つた。さうしてそれによつて日本の經濟事情が出來ますれば、生產費を下げて輸出の不利益の補ひをつけることが出來る。大局論から云ふと、さう申すより外はないのであります。唯問題は、卸賣値段が下つた、小賣値段も下つた、併しながら國民の生活の必需品の値段がそれだけ下るのには多少の時を要するといふことがあります。同時に國民自體が相當の程度の生活に馴れて居る、卽ち金を使ふ習慣が出來て居て、物價が安くなつてもそれだけは差控へられない。卽ち人間の習慣



の然らしむる所が生產費を安くすることが出來ぬ、國民の生活を安くすることが出來ぬといふ其處に多少の經濟界に差障りはありますけれども、大局論から申しましたならば、金解禁の結果は、今申した所に持つて行くことが正當なる道理と考へて居るのであります。それで今日はさういふ途に段々に進みつゝある狀況であります。

## 四

今日は不景氣であります。不景氣は人の好まない所、物價の下ることは國民の或部分には歡迎されない所であります。併しながら、過去大正三年位から一廻り致しました此の日本の經濟界は、どうしても一度は斯やうな所を經過しなければならぬと、吾々は考へて居るのであります。又斯ういふ事態を經過して初めて日本の經濟界が立直つて、それによつて國民の多數が幸福を得ると考へて居るのであります。私は一つ假定的の事を申上げて見ますが、假に日本が從來長く採り來つたやうな政策を續けて居つて、今日のやうな世界の不景氣に遭遇したならば、日本はどうなつたでありませうか。御承知の如く、日本の外國貿易は輸入超過であ

る。先づ年々一億五千萬圓、年によりますと三億圓を出るのでありますが、先づ平均致しまして一億五千萬圓位の金が足りませぬ。それが今日までのずつと續いて來た狀況であります。それで段々借金を重ねて行くより他に途は無いのであります。相當な借金は、國としても止むを得ぬことであります。日本のやうな遲れて世界に出た國が借金無しに行ける氣遣ひはありませぬ。又此の國の事情として、輸入超過も或程度までは止むを得ない。斯ういふ事は確かな事實でありませうが、併しながら今日までの事情で云ふと、私が今云ふ如く一億五千萬圓乃至二億圓の金が足りない。それで昨年に入りますと、外國に持つて居つた金も段々無くなつてしまつたのであります。輸入超過は必然だし、外國に金は無くなるといふことでずつと今日まで來て居つて、昨年の十一月位からの世界の事情が直接に日本に影響した所を考へて見ますと、日本はどうなつたらうか、恐らくは昨年の九月、十月位で外國に持つて居つた金は無くなつてしまつたらうと思ひます。

昨年六月頃に何故に爲替相場が一割二、三分も下つて居つたかと申しますと、昨年の一月位から外國に金が無いので、爲替銀行に爲替資金を潤澤に渡さなかつた。



そこで爲替相場が、一昨年の暮には七分位ほか下つて居らなかつたものが、段々下つて來て四十三弗何がしとなつたのであります。其處に世界の狀態が今日のやうになつて來たらば、疾うの昔に日本は外國に持つて居る金が無くなつて居ります。其の時に金が潤澤に借りられるか。絶對的に借りられぬこともありますまいけれども今年の四月に、吾々が二億三千萬圓の金を借換へた實際の經驗から見ても、非常に困難であつたことと思ひます。此の度の借換に就ても、或は條件が惡いと云つて非常な非難が或部分にはありますけれども、日本の外國に在る公債は餘り上つて居らない。而して外國の金融の事情は、今日の日本の金融界と殆ど同じことであります。短期の金は非常に安いが長期の金は貸手が無い。それでありますから、獨逸の賠償公債を三億弗出しますとか九十七とか云つて居りましたが、實際發行した所を見ますと、賠償公債で世界各國の者が寄つてやつたものであつても、矢張り五分五厘で三十五弗九十と云ふ發行價格で發行して居ります。

此れ等の事情を見ますと、若しも金解禁をせずにおいて、財政のバランスも得し

めずにおいて、外國で金を借りたならば、非常な惡い條件の金より借りられなかつた。寧ろ私に云はせると、左樣な金は借りるべからず。金は寧ろ借りられませぬといふことの方が、本當であらうと思ひます。今日の經濟界の不況に持つて來て、日本の爲替相場が三十何弗又は四十弗とかいふ所まで下つたらどうであらう。今日の此の日本の不景氣に、一層吾々は悲觀するやうな狀態があつたらうと思ひます。今述べましたことは假設的の問題で、決して實際には無い問題でありますが、よく今日の狀態と比較して考ふべき所があるのではなからうかと考へるのであります。

## 五

然らば今日の經濟界に對して、之れをどう考へたら宜しいか、何か施すべき策があるかと申しますと、私は樂觀もせぬ、悲觀もせぬ、此の世界の事實と其の日本に及ぼした影響とを考へて、凡ての人がよく今日の經濟界に處する途を理解することが最も必要であると考へるのであります。

世の中には物事を極端に悲觀する人もあります。此れ等の人から批評したらば、或は私は樂觀に過ぎると申すかも知れぬが、同時に反對論者の云ふことも非常に悲觀に過ぎるかも知れぬ。併しながら考へて御覽になると、吾々は何が考へ得なかつたか、恐らくは銀が十五片臺に下るといふことの如きは、私等は考へ及ばなかつたのであります。左樣な事實が出て來ましたならば、出て來た後から繹ねると、墨西哥の銀鑛は十九片が銀の生產費だと云つて居ても、今日の進んだ知識から云へば、十八片、十七片にもなるのだ、斯ういふ事も申されませう。併しながら吾々は、銀が二十片に下り十九片に下つても、十五片までも下るであらうといふことは、實は智慧が及ばなかつたのであります。併しながら今日それが下りました。下つて見ると、此の頃新聞で御覽の如く、墨西哥の銀鑛も非常に苦しくて世界のコンファレンスを開いて見ようではないかと云つて居るやうに、名案無しで苦しんで居るやうであります。それで吾々は、何事も餘程正しい考へをつけなければなりませぬ。銀の下落の如きは、日本にとつて大問題でありますから、大いに考へなくてはなりませぬけれども、併しながら物は凡そ考へるのに程度がある、今に銀が無價値になる、斯ういふ事が人間の頭で考へてよいか考へないでよいかと云ふと、吾

吾は考へ得ませぬ。相當のこれまでの經驗、これまでの智慧で考へるより外にないのであります。それで餘りに根據の無い悲觀をすることも、私は斯やうな時代には意義をなさぬことではないかと思ひます。之れと同時に、今日の經濟界をこれまでのやうな時代と同じに考へて、今日の不景氣を考へず社會の成行をも考へずに居りますことも、又是れ非常な問題ではないか。併しながら一方から申すと、斯ういふ物の落ちる時には何時でも極端に悲觀されるものであります。亞米利加でも英吉利でも今日何を問題にして居るかと云ふと、餘り眞相を越えて物を悲觀し過ぎるのぢやないか、又それの反對に、役にも立たぬ樂觀をして、斯やうな時代に非常に紛雜を起して居るのぢやないかといふことでありまして、此の兩極端共に今日の世界の弊害であらうと考へて居ります。殊に日本は歐米諸國と異り、國民一般は今日の經濟組織に對して十分の經驗と知識とが無いのであります。從て此の間に處して、貴方がたのやうな指導の位置に立たれる方は、其の點は餘程よく考へておいて戴きたいと思ふのであります。徒らに悲觀すべからず、徒らに樂觀すべからずといふことが、最も肝要であると考へます。大正八年の十月、十一月



から大正九年の二月位までの間に於て先覺者、指導者と云はれる人の言論の不謹愼であつたことが、日本を如何に害したかといふことに就て、私は非常に深い經驗を持つて居るのであります。あの頃を御覽になると、日本の知名の士の新聞等に出した說を見ると、殆ど皆全部樂觀であります。樂觀のみならず、今日の此の景氣は何時までも續くといふやうな說をはつきり言つて居られます。然るに其の裏面はどうであつたかと云へば、大正八年の十二月頃には外國に輸入の註文が非常に澤山あつて、之れが大正九年の一月には直ちに現れて來て、日本の金融界を破壞したといふやうな事實があるのであります。今日のやうな時代は日本にとつて非常に大事な時代であるのでありますから、餘り樂觀してもいかぬし、又餘りに士臺の無い悲觀をされることも如何かと、私は考へて居るのであります。

## 六

それならば今、日本の此の經濟界に何等か施すべき轉換の策があるか、と斯ういふ問題であります。現政府の緊縮政策は間違つて居る、現政府のやり方は非常に間違つて居ると云ふと同時に、何か經濟界に施すべき救濟策が無くちやならぬと

いふのでありますが、私はそれに對しましては、皆さんに、斯うお考へ下さつたならば中々名案は容易に出ないだらう、と申したいのであります。斯やうな世界を通じた深刻な不景氣を目の前において、之れに對して日本だけが此の不景氣の影響を免れて、唯一人景氣に變るやうな案がありませうかといふことを、一つお考へになつて戴きたい。日本だけの經濟界の事情は澤山あります。これまで世界は何等變らぬのに拘らず、日本だけの事情で日本だけ不景氣であり、日本だけ景氣がよかつた時代がありますが、これならば恐らくは施し得る策もあるのであります。併しながら今日の如く、世界を通じた大なる流れがずつとある場合に、此の日本の經濟界だけを其の大きな流れから取除けて、此の大きな流れの外に置くといふやうなことが出來ませうか、私はそれは經濟の原則が許さぬと考へて居ります。此處に策を施し、彼處に策を施したならば、其の事柄だけは宜しいのでありませう。併しながら其の事柄が日本の全體の經濟界に大なる影響を與へて日本の經濟界を轉換し得るかと云ふと、出來なからうと思ひます。その上やりやう如何、案の如何によつては、百害あつて一利がありませぬ。必ず害を他日に殘すであらうと、私



は考へて居るのであります。從て今日は、日本の經濟界を立直さうと、此處までやつて來た此の狀態を變へてはならぬ。又變へずに此の儘行かなくては、日本の經濟界は立直らない、今日それを變へましたならば、これまで苦勞をしたことは全く無駄になる。無駄になるばかりぢやない。後日に非常に大なる弊害を殘すと、吾吾は考へるのであります。

尙先刻申しました關稅の如き問題も、私はこれと關聯して考へて見なければならぬと考へます。世界の物價が下つた、外國の物が日本に這入つて來る、日本の物が非常な打擊を被る、之れを直ちに關稅によつて保護して、それが果して目的を達するや否や、斯ういふ事を考へますと、先刻云ふやうに其のものだけはそれによつて相當に良い影響を受けるかも知れぬ。併しながら今日、日本の經濟界を立直して行くには、從來の事柄で惡いものは改めねばならぬ、弊害は取除かなくちやならぬ、良い事を十分に取入れなければならぬ。斯ういふ事をして、經濟界が底に沈んだものが浮き上つて來て、其の時に初めて一般に幸福を得、一般に愉快な時代が來ると思ひます。それを顧みずにおいて或方法で保護し、或方法で援助しておいた

なら、再び其のものだけは改革から取除かれます。其のものが又日本の經濟界に殘つて、さうして日本の經濟界に弊害を與へることになると思ひます。唯國民の指導者とか、政府となつて見ましたならば、物を破壞してはならぬ、物をうまく纏めて行かなくちやならぬ、物が全體に或方向に動く場合に落武者があつてはならぬから、さういふ事の起らぬやうに、臨機應變の處置をとらなければならぬことは勿論の事であります。

七

併しながら大局論から申しますならば、私が玆に申上げるやうな事が日本の財界の立直し、世界の不景氣の間に處して爲すべき事ではないか、それによつて初めて日本といふものは此の時代を通り越えて健全な發達をすることが出來るのではないかと思ひます。例へば關稅に於ても、此の時代に於て或一種の事業が纏まる、之れによつて初めて此の仕事は世界に對して立派な仕事になり得るといふことの見込が立ち、整理が立つたならば、それは關稅で保護し、或は助成金を出して保護するのも、私は正當な處置と考へるのであります。併しながら只々漫然と或事



業を保護して行くことは、やりやう如何によりましては、今日の經濟界に寧ろ害があるやうな事を惹起しはせぬかと考へて居ります。

日本に、今日色々な重要な產業があります。之れに就て考へて見ますと、具體的に名前を出して申すことも甚だ穩かでないと思ひますから抽象的に申しますと、日本の過去に於て出來ました工業で、今日の狀態であつては現在持つて居るキャパシティーを到底十分に用ひることが出來ない、假にそれが半分で宜しい、斯ういふやうなものがありましたならば其の事業は半分にそれを減じて宜しい、さうして後の半分は他の事業にも用ひなければならない。さういふ事にして卽ち整理し、合同し、其の需要と供給との狀態を調節して行きましたならば、初めて其の事業は日本に於て成立つことが出來る、其處に初めて金融業者も立行くことが出來ると考へます。今日金融業者の最も困難として居る所は、金を貸したが其の事業が日本に生產過多であつて、貸した金が將來に亙つて活きる途が無いといふ事であります。それならば其の事業が或程度まで合同をして、日本の需要に適當する程度まで切下げて行つて見ますならば、初めて貸した金も活きて來る、又金融業者も、

其の事業に應じて貸金を年賦にするなり利息を下げるなり、或は之れを切捨てるなりして、初めて活きた事業に金を貸すことになるのであらうと思ひます。過去に得ました金は事業に浪費され、貸した金は其の事業と共に活きて居らぬのが澤山あるのでありますから、此の時代に事業を活かし、同時に借りて居る金を整理して活かすといふことが今日最も努むべき所ぢやないか、左様にして初めて此の日本の經濟界といふものは私は立直ると、斯う考へて居るのであります。

今日物價は下ります、物價の下るといふことと外國貿易との關係は先刻私が申上げたのでありますが、それに就きましては大分反對の議論もあるやうに聞きます。併しながらこれは大切な問題と考へますから、重ねて申上げたいのであります。日本の紡績業の如き、非常な經驗と知識とが用ひられて、英吉利の紡績を凌駕する程度までも合理化が出來、多量生産が出來て生産費も安くなり物の値段も安くなるのでありますが、併しながら大體の日本の今日の狀態から云ひますと、事業そのものの改良進歩といふことと、一方には全體の物價が下るといふことと、二つを併せて考へなければならぬのであります。さうして初めて生産費を下げることが出來るのであります。而して今の狀態、又今後の狀態を見ますと、生産費を下げるといふことが、外國貿易を盛にすることの唯一の途でありまして、之れより外に途は無いと考へて居る次第であります。



## 八

尙斯ういふお話を致しますと、最後に失業問題の話を申さなければ完結せぬやうに考へられますから、此の問題に就て一言附加へます。今日世界各國に非常な失職者がありまず。日本にも調査の上で申しましたならば三十五、六萬人あると申して居るのであります。頗る不完全な調査でありまして、大正十四年の國勢調査をした時に十萬人、それを土臺にして今日までずつと調査して居つた數字でありますが、ばつきり致して居らぬのであります。併しながら兎に角、此の一月から後には失業者が殖えつゝあるといふことは確かであります。殊に東京に於きましては、此の三月の末に復興の仕事が一段落を告げたので、萬以上の失業者がそれによつて出て、さうしてまだ歸農して居らぬのであります。其の後段々月々に殖えつゝあるといふことは確かな事實であります。併しながら失業問題の中心地

は、東京と申して宜しいのであらうと考へます。大阪に行きましても其の他の府縣に行きましても、東京のやうに評判は高くありませぬ。失業問題を斯くの如く非常に重要視して考へて居る程度は、東京と非常に違ひます。東京は學校を出て職を得られない若い人が數多く居ります爲めに、此れ等の人の就職の問題と相結んで、失業問題が大變重要視されて居るのであらうと考へます。政府に於きましても、此の點は非常に注意しなければならぬと考へて居る次第であります。然らば其の救濟はどうするか、斯ういふ問題でありますが、大局論から申しますと、吾々は英吉利のやうな失業者に對して日幾らと金をやるといふやうなことは斷じて致さない。先進國に於て之れは非常な弊害で、殆ど弱り切つて居るのであります。日本に於きましても、若し一日に一圓とか、或は無產黨の云はれる如く、一日に二圓もやるからと云つたならば、國に何十萬といふ失業者が殖えぬとは限りませぬ。さういふものを國家で支持して行くことが果して國の爲めになるかならぬか、先進國のやつた事例から推しますと、斷じて致したくない。斯う考へて居るのであります。それならば、どうするかと云へば、官民協力して事業を興すより外にない。



卽ち今日は生產費が安くなつて、殊に土木或は工費等の如きは今日は二割乃至二割五分、物によつては三割位安くなつて居るのであります。さういふ事を考へますと、今日左樣な事業は政府自らもやります。又亞米利加のフーヴァー大統領が云うた如く、「今日は物も安くなつた、勞働者も非常に安く得られる時代であるから、民間に於ても儲ける仕事があるならば是非お遣り下さい」。と、さう云つて民間の士に勸めて居る如く、民間の方々に於かれましても、事業を興すやうに進んで行きたいと思つて居ります。

又物價の下つた今日の狀態から申しますと、私は、事業が興り得る、又物を安く拵へる位需要を喚起するものは世に道理としてはない筈である、又なるたけ良い物で安い物を拵へて送り出すことは、今日の如く需要の少なくなつた時代に之れを轉換する唯一の途であらうと思ふのであります。吾々は、失業に對する大體の方針としては、右のやうに考へて居ります。勿論失業なからしむるといふことが最善の策でありまして、政府の手の及ぶ所はなるたけ失業者の出ないやうにして居りますが、出た失業者に對しては、只今のやうなことを考へて居るのであります。

併しながら失業なからしむるといふことは、官廳の關係する限りに於ては出來ますが、民間の事業では中々困難である。同時に出て來ました失業者に對する對策は、非常にむづかしい問題であります。實際やつて見ますと頗る困難な問題であるといふことは、十分御承知を願つておきたいと考へます。

## 九

外國貿易の事に就て尚一言申しておきたい事は、日本の生絲であります。日本の産業の中で、大阪の方面に於きまして生絲、此の二つのものが相當の程度まで解決致しますれば、日本の經濟界は大體申しますと、相當順調に行くやうな形になつて居るのであります。然るに御承知の如く、紡績は今日、銀が下つて居ります。生絲の事を極く簡單に申上げますと、斯うお考へ下さつて宜しいのであります。今二十萬梱の古絲が横濱に停滯して居ります。現物が高くて先物が安い。新絲は非常に安うございます。一時は千圓のが九百圓になり、今日は八百圓臺までになつて居りますが、安く賣れば餘計賣れて居ります。十月までのデリヴァリーで、恐らくは亞米利加の方では五十萬梱以上賣れて居ります。



ます。卽ち現物が補償法の關係で高くなつて居つて新絲が安いから、從て現物を買はずに先物が賣れて居ります。

之れが七月の初旬から多くの物が出て參りましたならば、外國貿易も相當に轉換するであらうと考へて居ります。昨年の萬梱溜つて居りますもののうち、十萬梱は日本の棉花、小麥、砂糖、伯剌西爾の珈琲と同じことで、數量ははつきり致しませぬけれども、大體申しましたならば、一昨年に比較して昨年の絲は十萬梱餘計出て居ると云つて宜しいのであります。さうして十萬梱は亞米利加の消費量が減つた、亞米利加が少なく買うたと云つて宜しい。此の二十萬梱今停滯して居ります生絲は賣らぬ。さうして新しい絲は安くても出來るだけさつさと賣つてしまふ、斯ういふ方針になるのでありませう。既に其の方針が大體決まつて居るやうであります。さうしたならば此の年度、卽ち昭和五年度の絲は恐らくは安いでせう。亞米利加の狀態から推して安いであります、安ければ賣れる、斯う考へて居ります。生絲が賣れて見ましたならば、外國貿易の狀態も今後さ

う悲觀するには及ばぬと考へます。銀が安くなつたやうに、又吾々の智慧で想像の出來ぬ事情が出て參りましたならばどうか知れませぬが、今日の狀態で押して參りましたならば、本年下半期の貿易の狀態を左程私は悲觀して居らぬのであります。此の頃亞米利加のフーヴァー大統領が演說をして、亞米利加の今日の經濟界も大體此處等が底であらう。」と、言つて居ります。併しながら亞米利加の棉の今年の作柄が良いか悪いかといふことによつて非常な變化もありませう。又亞米利加、加奈陀の穀物等の農作物の作柄も、今年の天候等によつて非常な違ひがありませうから、之れによつて米國の經濟界の狀況も違つて參りませう。此れ等の事情は決して豫測の出來る事では無いのでありますが、今日の狀態から推して、私は日本の貿易の狀況等に就て只今述べましたやうに考へて居るのであります。

今日の日本の經濟界に對しては種々樣々の對策が唱へられて居りますが、私は先刻申上げました如く、容易に贊成の出來ぬ事であります。世界の幅の廣い强いカレントが玆に流れて居る時に、日本だけ之れを無視して不景氣を轉換することが出來るか否やといふ事に就ては、皆さんに十分お考へを願はねばならぬ所であ



ります。輕はづみなことをして、此處に非常な弊害を殘し、非常な過ちをするといふことは、今日の日本にとつては大變な事態を惹起することになります。從て吾吾は今まで採り來りました政府の財政經濟の方針を變へようといふ考へは少しも無いのであります。併しながら先刻申述べます如く、關稅の問題に就ても、又財界の整理に就ても、物事が此處に打立てられ、此の事業は之れによつて基礎が定まるといふことであるならば、吾々は之れに對して援助を與へることを聊かも惜まぬ考へであります。又自分もそれに對して大いに努力して見よう、斯ういふ事を考へて居る次第であります。

# 地方長官會議に於ける訓示演說

（昭和五年十月十日　於内閣總理大臣官邸）

地方長官會議の開催に當り、各位と會同して所見を述ぶる機會を得ましたことは、私の欣幸とする所であります。

昨年七月以來政府は財政を整理、緊縮し、國民は消費節約を行つた結果、國際貸借の均衡も得られ爲替相場も恢復して、本年一月金解禁を決行することが出來たのでありますが、金解禁後の外國貿易の推移を見まするに、本年九月末までの輸入超過額は、内地及び朝鮮、臺灣の分を合せ二億千餘萬圓でありまして、之れを前年同期の輸入超過額に比べますれば、約千三百萬圓の減少であります。勿論世界不景氣の爲め物價が著しく低落致して居りますので、貿易の金額は激減し、本年九月末までの外國貿易は、内地及び朝鮮、臺灣を合せ、輸出十一億四千餘萬圓、輸入十三億五千餘萬圓でありまして、前年同期に比し、輸出に於て五億二千餘萬圓、輸入に於て五億



三千餘萬圓の減少を示して居ります。併しながら輸出入貨物數量の減少は、價額の減少の程度より著しく少ないのでありまして、此の點から見れば、世界不況の際我外國貿易の狀況は相當の成績であると申さねばなりませぬ。尙本年末までの貿易を豫想しまするに、世界不況の爲めに輸出額は減少致しましても輸入額の增加も無いことと思ひますから、本年一年を通じ、貿易の狀況は大體に於て良好の結果をあげ得ることと考へますが、金解禁後の對策として、今後益、外國貿易の增進、内地産業の振興を圖り、國際貸借の改善に努力せねばならぬと考へます。

又金解禁後今日まで金の積出額は二億六千餘萬圓に達して居るのでありますが、今年上半期の輸入時期に於て相當額の金の積出を見たのは、止むを得ざる現象と考へます。然るに下半期の輸出時期に入つても、猶多少の金の積出のありましたことは異例の事に屬しますが、之れは在外の日本の公債に放資した關係であると思はれます。其の後八月に入つてから、政情不安の爲め政變を豫想した者もあつて、來るべき輸入時期に於て爲替の低落することを豫期して、例年より早く輸入爲替を取極めんとする氣配を生じ、先物買の約束が巨額に上つたのであります。

併し政情安定してより斯かることは全く其の跡を絶ち、寧ろ却て買過ぎの結果となり、爲替相場は騰貴したのであります。横濱正金銀行に於ては、前の先物買に賣り應じて居つたのでありますが、今日其の決濟の爲めに、正貨現送を行ひつゝあるのであります。

今日は各國共に不景氣に惱まされて居るのでありますが、其の程度は各國の事情によつておのづから差異があります。我國の如き主として海外貿易によつて立つて居る國は、此の世界不景氣の影響を受けて輸出が減少し、又輸入品の價格が低落した爲め、非常に困難して居ります。又我國に於ては世界戰爭後の財界の整理が他國に比して遲れて居り、金解禁の時期も著しく遲延した事情がありますので、其の影響を感ずる程度が强いのであります。併しながら若し財政の整理緊縮も出來ず、金解禁も出來て居らない間に、此の世界不景氣に遭遇したと致しましたならば、財界の不安は甚だしく、我經濟界は非常なる難局に直面して居つたらうと考へます。

今日の世界不景氣は、各國が戰時中に極端に膨脹したる財政を整理、緊縮し、通貨の收縮を圖つた爲めに、物價は漸次低落する大勢にあつた所に、各國何れも農產物が豐穰であり、其の生產過剩を來して價格が著しく低落したること、英、米兩國の海外投資が著しく減少した爲めに各國の購買力が減殺されたこと等の事情が加はり、各國の物價が激落したことに基くのでありまして、本年九月まで最近一年間の物價指數を見まするに、英國に於ては二割二厘、米國に於ては一割八分九厘、我國に於ては二割一分二厘の低落であります。斯くの如き短期間に大なる割合を以て物價が下落したことは、生產者にとつて非常なる苦痛でありますが、各國に於ては何れも產業の合理化を圖り、生產費を低下して、之れが對策を講じて居るのでありまして、我國に於ても同じ方針を以て努力致さねばならぬと考へます。

或は現下の不景氣對策として、政府は自ら大いに公債を募集し、盛に事業を起すべしとの論もありますが、其の結果は通貨の膨脹、物價の騰貴を來し、輸入超過は增加し、金解禁後の財界の前後措置と逆行することとなるのでありまして、斯かる方策を採ることは出來ぬと考へます。又或は我國が今日不景氣に苦しむのは舊平價を以て金解禁をした爲めであるから、更に金輸出禁止をして新平價解禁を以て

出直すべしといふが如き說をなす者もありますが、舊平價解禁は我經濟界の信用を維持し、其の基礎を安定せしむる唯一の方策であつたのでありまして、金解禁後の今日に於て、平價切下の如き手段を採ることは經濟界の信用を破壞し、其の基礎を動搖せしむる外何等效果の無いことであります。

世界不景氣の影響は本年一月頃より我國に波及し來つたのでありまして、外國に對する輸出品の價格は低落し、其の數量は減少し、又外國よりの輸入品の價格も下落し、之れが爲めに我財界は相當大なる困難に遭遇したのであります。其の間我が商工業は如何に經過し來りたるかを考へまするに、大企業に就ては、過去に高價に仕入れたる原料は已に處分し盡し、又之れを以て製造したる製品の賣捌を了し、生產費も切下げ得て、今日既に收益の基礎が確立したものもあります。又生產の制限をなし、不當の競爭を止め、價格の安定を圖つたものもあります。併しながら尙今後に於て生產の調節をなし、合併、合同等を行ひ、或は統制を必要とするものも多いのであります。此の事柄に就ては政府に於ても之れが促進の爲め大いに努力して居り、當業者に於ても經濟界の大勢を自覺し、此の方向に向つて努力しつ



つある者が多いのでありますが、今後尙一層の努力をして、此の不景氣時代になすべきことを十分に實行しなければならぬのであります。斯くすることは、世界の不景氣に拘らず、我經濟界を安定せしむる唯一の方法でありまして、又次の好景氣時代に對する最も良き準備であります。

今日の如き財界不況の場合に於て、金融に最も困難するものは中小商工農業者等でありまず。此れ等小產業者に對する資金供給に就ては、機會ある毎に各種の金融機關の協力を求めて其の圓滑を期し來つたのでありますが、更に預金部低利資金二千萬圓を融通して、中小商工農業者の資金融通に充てることとし、既に其の實行中であることは諸君御承知の通りであります。然るに其の貸出に當つては相當困難なる事情が存在して居るのであります、種々考究の結果、其の貸出機關の增設、貸出方法の改善等の問題が解決しつゝあるのでありまして、從て今後資金を圓滑に供給し得ることと思はれます。資金融通の方法が確立し、其の效果があがることになりますれば、預金部資金の融通額も增加し得ることと考へて居ります。諸君に於ても中小產業者資金の融通の方法に就ては特に考究せられ、其の貸

付手續も迅速に行はれ、資金供給の目的が完全に達成せらるゝやう、御盡力を願ひたいのであります。

金融の圓滑は不景氣時代の財界の推移に極めて重要の關係ある事項でありますから、此の點に就ては政府の最も注意を拂ひつゝある所であります。然るに我國に於ては大小の企業を通じ、戰爭中及び戰後の膨脹時代に相當多額の借入金をして、其の整理が今日に於ても猶進捗して居ないものがあるのでありますが、此れ等のものは此の不景氣時代に於て、是非とも其の整理を十分に行つておかねばならないのでありますから、政府に於ても此の目的を達せしむる爲めに大いに努力して居るのであります。又一般金融に就ては、廣く金融機關と協力するは勿論、特殊の金融機關をして職責に應じて資金供給の途を講じさせて居るのでありまして、本年歳末に當つては固より、此の不景氣時代を通じて、出來得る限り金融を圓滑ならしめ、苟も其の梗塞を來すが如きことなきを期して居る次第であります。

一般經濟界の不況に伴ひまして、租稅收入、官業收入等が減少することは眞に止むを得ざる所でありますが、之れが對策として、行政の經濟化、官業の合理化を圖り、



經費を節約して歳入の減少に備へねばならぬことは、前回の會議に於て申述べた事であります。中央財政に就ては、本年度豫算の實行に當り、既に此の方針を實施して居るのでありますが、地方財政に就ても、相當歳入の減少を來すことと考へます。而して本年度は既に年度の半ばを經過して居つて、歳入の實績も漸次明かになりつゝあることでありますから、府縣の財政狀況に就て特に留意せられ、中央財政と同樣の方針を以て豫算の實行に當られるは勿論、市町村の財政監督に當つても良く此の點に留意せられ、歳入不足等の爲めに地方財政の困難を來さざるやう十分に努力せられんことを希望する次第であります。

# 第二十九回 關西銀行大會演說

（昭和五年十一月二十五日於大阪中央公會堂）

關西銀行會第二十九回大會の開催に當り、財界の有力者諸君と相會し、所見の一端を述ぶることを得ますることは、私の眞に欣幸とする所であります。

十一月十一日に決定しました來年度の豫算の大綱を簡單に說明しまするに、昭和五年度の政府の歲入は著しき減少を豫想せられますので、政府は之れに應じて行政の經濟化を圖り、歲出を節減して收支の均衡を保たせて居るのでありますが、昭和六年度の歲入も亦同樣減少するものと豫測せられます。仍て昭和六年度の歲入の見積をなすに當りましては、大體昭和五年度の實數より推して計算を立てたのでありまして、其の結果は昭和五年度の實行豫算に比較して、租稅其の他の經常收入に於て一億二千三百餘萬圓の減少を示したのであります。又昭和四年度の決算に於ては殆ど剩餘金を生じないのでありますから、これまでのやうに剩餘



金を以て昭和六年度の歲出の財源に充つることは出來ないのであります。從て來年度豫算の編成に就ては多大の困難を來したのでありますが、此の歲入の減少を補塡する爲めに公債又は借入金等によることは、財政の立て方として最も不堅實であることは申すまでもないのでありますから、斯かる方策は到底採用することが出來ないのでありまして、出來るだけ歲入の減少に應じて歲出を節減致しまして、之れによつて歲入、歲出の均衡を保たせる外、他に健全なる方法は無いのであります。

一方、倫敦海軍條約によつて軍備の制限は出來たのでありますが、元來此の條約は軍備制限による世界平和の確保を目的とすると共に、國民の負擔輕減を目的として居るものでありますから、政府の財政計畫上、從來海軍補充計畫の爲めに留保してありました財源は、之れを倫敦海軍條約に基く軍備の補充確立と國民の負擔輕減とに充當致さねばならぬのであります。而して國民の負擔輕減は、今日の財界に處する對策として考ふるも亦最も緊要なる事柄でありまして、來年度より是非とも之れを實行するの必要があるのであります。仍て今後の財政計畫を立つ

るに當り、此の兩者を適當に按排して、昭和六年度より昭和十一年度に至る間に於て海軍の補充計畫に充當すべき金額を三億七千四百萬圓と定め、又國民負擔の輕減に充當すべき金額を一億三千四百萬圓と定めたのであります。而して減稅の金額は今日の異常なる歲入減少の際、此の程度に止むるは眞に止むを得ざる所であります。

斯くの如く一方に於て歲入は減少し、他方に於て軍備の補充確立と減稅とを實行しなければならぬのでありますから、來年度に於ける一般の經費の節減は多額に上りまして、各省を通じての節減額は一億二千七百餘萬圓となり、之れによつて初めて歲入、歲出の均衡を保たしむることが出來たのであります。斯くして昭和六年度歲入、歲出の概算額は十四億四千餘萬圓となり、之れを昭和四年度の豫算總額十七億七千餘萬圓に比較すれば實に三億二千餘萬圓の減少となつて居ります。尙獨逸國より受取るべき賠償金年額平均六百三十萬圓は之れを一般の經費に使用せず、國債の償還に充つる方針を立て、本年度に於ては之れを實行致したのであります。不時の歲入激減の際に於て、一般經費の節約のみを以て之れに應ずることは行政の上に無理を生じますので、止むを得ず來年度より當分の間、此の賠償金を一般の財源に充當することに變更致したのであります。

國の財政の縮小は今日の我經濟界の情勢を反映して居るものでありまして、世界經濟界の大勢より見ても、眞に止むを得ざる所であります。併しながら極めて急激に國費が減少したのでありますから、國務の執行に就ては常に國費の減少と調和を圖ることに努め、更に進んで今日の行政組織の改革、行政の刷新を圖り、國民經濟の現狀に適應することが刻下の急務であると信じます。又現行の租稅制度に就て考へまするに、國民負擔の實際に相應せざる點が尠なくありませぬので、其の改正を行ふ必要があるのであります。右の趣旨より致しまして、政府に於ては行政、財政及び稅制の整理を實行することに決定し、之れによつて行政の合理化を圖ると共に國民の負擔を公正ならしめ、且つ將來に於ける財政の基礎を鞏固ならしめんことを期して居る次第であります。

次に經濟界の情勢に就て申述べまするに、我國は戰後經濟界の整理が遲れて居り、金解禁も最近に決行せられたやうな事情でありまして、財界の立直しを行ひつ

つある間に此の世界不景氣に遭遇したのであります。其の影響を感ずる程度も一層甚だしく、一時は非常に不安なる氣分に襲はれたのであります。然るに其の後各方面に於て不景氣に處する對策が講ぜられまして、其の所有の高價なる原料品、製品の處分をなし、極力生産費を切下げたる結果、既に今日の不景氣時代に於て收益の基礎が確立した事業もあり、生産の調節、内部の整理により、事業の基礎を鞏固にしたものもあり、又金融難に陷つた爲めに財界に不安の氣分を與へて居つた事業も、其の大部分は最近金融問題の解決が出來るに至つたのであります。此れ等の事情の爲めに財界の不安は餘程除去せられ、商品及び有價證券の價格も稍安定するに至つたのであります。

又他面各國の物價を見まするに、本年十月まで最近一年間に、米國に於ては一割八分九厘、英國に於ては二割三分八厘の低落となつて居ります。而して戰前を一〇〇としたる物價指數は、十月には米國は一一五・五、英國は一〇九・三となつて居るのでありますから、殆ど戰前の物價に立戻つたと申して宜しいのであります。日本の物價指數も十月には一三〇・九となつて居るので



ありまして、餘程戰前に近づいて來たのであります。從て各國物價低落の趨勢も漸次緩和され、これ以上低落する餘地も殆なくなつたのであります。又最近印度の混亂も漸次治まり、支那の内亂も終息し、銀の價格も餘程恢復したる爲め、對印、對支の貿易は稍良好となり、銅は生産制限の爲め、砂糖は販賣調節の爲め、價格騰貴したる等の事情より見るときは、外國の諸事情より此の上更に我國の財界が不安に陷るが如き虞れは餘程薄くなつたのであります。

而して今後財界の推移を見まするに、各種事業の合理化、統制を圖り、生産費を低下せしめて、根本的財界の立直しを圖ることを益、必要とするのであります。政府に於ても之れが助成に努めて居る次第であります。而して之れを達成せしむることは、世界不景氣の潮流の中に於て我經濟界を安定せしむる唯一の方法であると考へます。

此の整理時代に於て最も重要な事は金融問題であります。事業の合理化、統制を圖る上に於て最も大なる故障となるものは、其の事業が負擔して居る借入金であります。又事業の將來の計畫を立てる爲めには資金の十分なる準備が必要で

あります。而して我國に於ては大小の企業を通じ、又都鄙を通じ、戰爭中及び戰爭後の膨脹時代に相當多額の借入金をなし、其の整理が今日に於ても尙進捗して居らぬものが多いのでありますので、其の整理は、個人としても又事業としても、今日是非とも完全に實行してゐかねばならぬのであります。大企業の整理の遲々として進まざるも、中小商工業者の不振も農村の疲弊も、其の原因は皆好景氣時代に負擔したる借入金の整理がつかないことにあると考へらるゝのであります。固より此の問題を解決する爲めには資金の融通を受けたる者が十分の覺悟を以て整理に當らねばならぬことは申すまでもないことでありますが、又金融業者の協力援助に俟つ所が多いのであります。此の問題の解決は財界全般の整理の爲めに缺くべからざるものでありますから、日本經濟界の將來の爲めに諸君の十分なる考慮を煩し、且つ格別の盡力を望む次第であります。

本年一月十一日金解禁決行後の通貨の狀況を見まするに、日本銀行の正貨準備の額は差引二億五千五百萬圓を減少して八億千八百萬圓となつて居ります。此の正貨の減少と不景氣による通貨需要の減少から、日本銀行兌換券の發行高は約



二億圓を減少して、最近は十億圓臺又は十一億圓臺となつて居ります。而して今日此の經濟界不況の時代に於て、今直ぐに資金の需要を喚起すべしとは考へられぬのではありますが、併しながら將來我經濟界の轉換期に對する對策として、今日より通貨政策に就て十分考究を遂げおくの必要があらうと考へます。

本年の外國貿易の狀況は、十月までの實績によれば、內地及び朝鮮、臺灣を合せ、輸出十二億七千六百餘萬圓、輸入十四億六千八百餘萬圓でありまして、一億九千二百餘萬圓の輸入超過となつて居ります。之れを前年同期に比べまするに、輸出に於て五億九千九百餘萬圓、輸入に於て五億八千五百餘萬圓の減少となり、輸入超過に於て千三百餘萬圓の增加となつて居ります。斯くの如く輸出、輸入共に貿易の金額の減少したことは、主として商品の價格が低落したことに基くのであつて、其の數量に於ては左程の減少となつては居らぬのであります。本年十月末の數字により主なる品目に就て調査しまするに、先づ輸出品のうち生絲は、價額は四割七分九厘の減少であるのに、數量は二割三分八厘の減少であります。綿織物は、價額は三割四分三厘の減少であるのに、數量は一割二分六厘の減少であります。又輸入

品のうち棉花は、價額は三割七分二厘の減少であるのに、數量は一割五分の減少であります。羊毛は、價額は三割六厘の減少であるのに、數量は却て七厘の增加であります。又主なる機械類に就ては、價額は三割五分二厘の減少であるのに、數量は僅か九分一厘の減少であります。右のやうな次第であつて、本年の如き異常に物價の下落した年の貿易の實體は、單に價額だけで之れを判斷することは出來ぬのでありまして、數量に重きを置いて考へねばならぬことは明かであると思ひます。從て若し國內產業の狀態が、今日の物價低落に適應して生產費の低下も出來、採算の基礎も立つに至りましたならば、貿易の狀態に就て左程心配する必要は無いと考へます。而して本年の輸入超過額は、前述の通り十月までに一億九千二百餘萬圓でありまして、昨年の同期に比べて約千三百餘萬圓の增加に止まります。此の數字によつて考へまするに、本年一年を通じての輸入超過額は、昨年一年を通じての入超額に比較して、大なる增加となるとも思はれぬのでありますから、本年の貿易は、世界不況に際し、又金解禁の第一年として、相當の成績をあげ得ることと考へます。併しながら海運業の不振等より貿易外の受取勘定は相當減少を免れ得な



いと考へますから、今後一層輸出の增進に就き努力を要するのであります。

金解禁後に於て、最近までに三億八百萬圓の金が海外に積出されたのであります。輸入時期に於て金の積出のあることは當然でありますが、本年の輸出時期に於ても金の積出のありましたのは、七月頃までは內外市場に於ける有價證券相場の差がありました爲めに、外貨證券に投資した者が相當にあつたのによるのでありまして、之れが爲めに內國の會社、銀行等の所有する外貨證券は約六千萬圓も增加して居ります。又其の後は倫敦海軍條約の批准問題に關聯して政局が不安となつたのに際して、或は近く政變あることを豫想して、來るべき輸入期に爲替相場の低落することを見越し、一時輸入爲替の取組が激增し、橫濱正金銀行は之れに賣應じたのであります。然るに其の後政局の安定すると同時に、右の事態は全く終息しました。而して爲替の買過ぎとなり、此の始末をつけることを餘儀なくせられて、爲替相場は却て騰貴したのであります。斯くして爲替市場は安定しました。橫濱正金銀行は八月以來賣應じたる爲替決濟の爲めに金を積出したのでありますが、此の輸出時期の積出は全く政局不安の爲めに生じたものでありますから、畢

竟其の積出したるものは來る輸入時期の輸入資金の一部をなすものと見ることを得るものであります。

最後に失業問題に就て一言致します。財界の不景氣に伴ひ、又事業の合理化に際して失業者の生ずることは止むを得ざることでありますから、政府、公共團體に於ては極力其の救濟に盡力致さねばならぬのであります。現在、失業救濟の爲めには地方公共團體に對する起債許可の方針を緩和し、土木事業を起させて居るのであります。今後更に失業者が增加するや、又其の增加の程度に就き今日未だ見據ゑがつかぬのでありますから確定的に申すことは出來ませぬが、若し必要な事情が起りますれば、政府自ら之れに當るの覺悟を持つて居ります。而して此の失業救濟事業は一時の應急的手段であり、又今日の財政上他に餘裕が無いと致しますれば、其の財源を公債に求める外、他に途は無いのであります。併しながら公債の發行に就ては、現政府の公債に對する既定方針に基き、其の金額は出來るだけ少額として、公債市價に影響を及ぼさざる程度に止め、又其の發行は一般には公募せず、預金部引受と致す考へであります。



## 第三回 日本商工會議所定期總會懇親會演說

（昭和五年十一月二十七日於帝國ホテル）

今夕は日本商工會議所の第三回總會にお招きを蒙つて御馳走に與りまして、誠に有難うございます。只今は座長より濱口首相の負傷に對しまして誠に御同情のあるお言葉を頂戴致しまして、誠に感謝致します次第であります。更に病床に在りまする本人に傳へましたなら、嘸かし悅ぶことと思つて居ります。

商工會議所の總會に於きまして決議されました事項並に只今の會頭よりの御意見は、謹んで拜聽致しました次第でございます。大體に就て申上げますと、吾々内閣に於きまして實行しつゝある事柄であり、又實行せんとして居ります事柄であります。若し强ひて異存のある所を申上げますならば、今後實行せんとして及ばずに居る所とか、或は程度の差であるのでありまして、只今承りまする所によりますと、經濟上全然意見を異にして居りますやうなことは、毛頭無いやうに考へま

す次第であります。從て私は、今晩只今の御意見に對しまして申上げます事柄も、御意見のある所を政府當局として敷衍致しますか、或は多少の程度の差を申上げるに過ぎないのであります。又それで皆さんが政府の意のある所を御理解下さることと考へて居ります。

偖て、それにお答へ致します前に、政府の來年度の財政の事を極く簡單に申上げまして、どういふ事情であるかといふことの御理解を願つておきたいのであります。之れは財政其の儘の御理解を願ひますよりも、吾々の今後の政策の出て參ります所も、財政狀態から割出されることが多いのでありますから、極く簡單に大筋だけを申上げて、御理解を得ておきたいと思ひます。御承知の如く、日本の特殊の事情及び世界的の不景氣の爲めに、今年の一月、二月位より政府の租稅收入及び官業收入は非常に減りました。又今後減る豫想がつきますので、御承知の如く特別議會を過ぎますと、行政の經濟化といふことを試みまして、減る歲入に對して歲出を減して財政の均衡を保たしめることに致したのであります。然るに今日眼の前にあります經濟狀態から來年度の事を推測致しますと、今年よりも來年に於て



は歲入は巨額に減少するのであります。租稅收入其の他の經常收入に於きまして一億二千三百萬圓の金額が減るのでありますから、其の一事でも財政の均衡を得しめることが如何に困難であるかは御承知下さることと思ひます。それかといつて此の歲入、歲出の均衡を得しむる爲め、或は借入金をするとか或は公債を募るとかいふことは、歲入缺陷があるのを借入金で補つて行くといふことでありまして、最も財政上には避けなければならぬ事であります。吾々のやります、又今日まで抱いて居ります財政の立て方としましては、左樣の事はどうしてもようせぬのであります。加之、御承知の如く倫敦の軍縮會議の結果が、一方には海軍の補充計畫を立てなければならぬ。其の餘りの金は減稅に持つて行かなければならぬ。卽ち軍縮をして世界恒久の平和を保ち、一方に國民負擔を輕減するといふことが軍縮會議の條件であります。五億八百萬圓といふものが、昭和六年度から昭和十一年度までに、海軍補充計畫の財源として留保してあつたのであります。其の中で三億七千四百萬圓を補充計畫に當て、殘りの一億三千四百萬圓を減稅に當てることにしたのであります。從て明年度に於きましては約九百萬圓、明後年度から

は二千五百萬圓の減稅をすることになつて居ります。先刻座長より國民の負擔輕減といふお話がありましたので、此の事柄に就て私は觸れておきたいのでありますが、五億八百萬圓の留保財源と申しますと、何となく現金でもそれだけ積んであるやうに思はれる虞れがあるのであります。普通の財政狀態を豫想して、例年通りの租稅の收入があるならば、これだけのものを海軍補充計畫に割當てようといつて、豫めそれだけの計畫を立ててあるのであります。然るに一方に、只今申します如く、一箇年間に一億二千三百萬圓の租稅其の他の經常收入の減收がある。併し之れは差引した結果であつて、財界の不景氣の爲めに租稅の減る金額を申しますと、一億五千五百萬圓の減收である。然るに只今の五億八百萬圓といふのは、六箇年間を通じての金額であります。不景氣の爲めに、一箇年間に一億五千五百萬圓の租稅其の他の經常收入が減つた、然るに歲出の方はぴしつと定まつた金額が定めてあり、之れを補充計畫と減稅との爲めに使はなければならぬので、此の金は減すことが出來なくなつて居るといふ非常に苦しい立場に立つて居るのであります。海軍の補充計畫は相當



にせんければならぬ、國民の負擔も輕減せんければならぬ、斯ういふ立場に立つて居ります爲めに、財政計畫を立てます爲めに非常な困難を感ずるのであります。從て先刻座長より云はれた國民負擔の輕減が二千五百萬圓より外出來ないといふことに就て皆さんに御諒解願つておきたいのは、金額の少ないといふ批評は當然受けます。併しながら斯やうな財政狀態の場合に減稅をするといふことは、非常な困難であります。一億五千五百萬圓の租稅が減つてしまつて居る、其の際に減稅をするといふことは、非常に困難なる問題であります。此の計畫を立てまして、此の金額を計上した時の日本の財政と今日の財政とは、根本から違つて居るのであります。英吉利と雖も、獨逸と雖も、又亞米利加と雖も、今日の租稅收入の減つた場合に增稅こそして居りますが、減稅の計畫は立てて居るところは無いのであります。さういふ事態でありますが、減稅が困難であるといふ點に就ては、十分御諒解を願して申さぬのでありますが、私は減稅を致しますことを誇り顏に決つておきたいと考へて居ります。

左樣な意味に於きまして、財政計畫を立てるのに二重の困難に遭遇致しました

のであります。一般會計の歳入の缺陷を補ふ爲めには借入金もせぬ、公債の發行もせぬ、減税はしなければならぬ。從て歳入の減つたのに應じて歳出を減らして行くより外には何等の途も無いのであります。それで出來ました昭和六年度の概算は、十四億四千餘萬圓といふことになつて居ります。昭和四年度の豫算は十七億七千餘萬圓でありまして、それと來年度の豫算とを比較致して見ますと三億二千餘萬圓の差であります。此の短い間にこれだけの歳出を日本の財政から減じますことは、一方に非常な困難、非常な無理があるといふことも直ちに皆さんの御想像のつくことであらうと考へて居ります。併しながら私は、今の此の日本に適應して行きますのには、此の途より外に仕方が無いと、斯う考へて居るのであります。

併しながら又考へますと、日本の歳入の狀況と歳出の高とが調和がとれて居ないと考へられる點が澤山あります。日本の今日の經濟狀態から云ふと、一方から云へば政府が金を使ひ過ぎるといふこともありませうと思ひます。一方から云へば政府の事業そのものは其の儘において、金だけを減らしたと云ふ形が澤山あ



ります。其處にも非常な無理があります。又一方から申しますと、租税の狀態が今日の如く急激に變化した、經濟狀態が非常に安定を缺いて居るといふ點もあります。從て來年と申さず、私共自分の頭の中では直ちに今からとりかゝつて、昭和七年度までには財政の整理、行政の刷新、行政組織の整理、税制の整理をして見たい、斯う考へて居りますのであります。從て先刻座長よりのお話でありました綜合所得、源泉所得の課税の方法等も、其の砌にはよく根柢から調査致しまして、今日から明言も出來ぬ次第ではありますが、出來るだけ經濟狀態に對應して税の適當な立替をやつて見たいといふ考へを持つて居る次第であります。

尚先刻低金利政策といふことのお話でありましたが、私は、金解禁を致しまして從後今日までの日本の通貨、將來に於ける通貨政策に就きまして、一言お聽きに達しておきたいと思ひますが、金解禁を致しましてから金が三億八百萬圓程外國に積出されたのであります。一方には外國から入つて來るものもあり、日本内地の産金もありまして、差引減りました高は二億五千五百萬圓であります。從て日

本銀行の正貨準備は八億千八百萬圓程ございます。二億五千五百萬圓程日本の正貨準備金が減つたと申しますが、もう一歩進んで之れを分析致して見ますと、今年の一月から今日までに銀行、會社の方々が外國に在ります外國貨幣拂の日本公債を買入れました高が六千萬圓以上あります。之れは賣つたもの買つたものを差引致しまして、昨年の十二月の殘高と此の十月末の殘高とを比較するとこれだけ増加して居ります。之れは立派な調査書によつて調査したのでありますから間違ひはございませぬ。之れは昭和五年の十箇月の間に、日本人が金貨を持出して放資したと考へても宜しいのであります。二億五千萬圓の金が減つたけれども、其の代りに海外の英貨、米貨拂のそれだけの公債を持つて居ると考へても宜しいのであります。尚其の他に、放資と同じ形になつて居りまする金は少なくとも二千萬圓はあります。從て十月末までに八千萬圓以上の金が海外に放資されて居ると見て差支へ無いのであります。加之、最近正金銀行が五千萬圓ばかり金貨を持出したのでありますが、それの大部分は此の十二月から始まります輸入時期の輸入資金に振向けることが出來るのでありますから、先づ金解禁を致しまして



から後の金貨の減り高から申しますと、これまで長らく金の輸出禁止をして居つた日本の金解禁をした後の狀態としては、先づこれ位のものならば然るべきものであらうと、實は私は考へて居るのであります。此の事柄は今後の金利政策に非常な影響を與へることであります。只今申しますが如く、二億圓足らずの金が日本から云へば無くなつて居る。日本銀行の正貨準備で云へば、二億五千五百萬圓の正貨準備が減つて居る。又一方に不景氣の爲めに資金の需要が無い爲め、以前よりも二億圓ばかりの通貨が減つて居ります。御承知の如く今日は十億乃至十一億位の通貨を維持して居ります爲めに、先づ二億位は以前から見ると減つて居ると云つてよからうと思ひます。併し今日の經濟狀態から見ると、直ちに多額の資金の需要があるとも考へられないのです。併しながら日本の今日の經濟界が或程度まで恢復して、資金の需要が喚起せられ、世界の不景氣が或程度までで止まつたといふ時を考へて見ますと、通貨政策は果して之れでよいかといふやうなことは、今日から大いに研究をしておかなければならぬことだと、斯う考へて居る次第であります。之れは座長が云はれた金利政策、低金利政策といふものに就て、直接

影響のある事でありまして、廣く日本の金融業者或は企業者、總ての階級の國民が十分に研究すべき問題だと考へて居ります。今日以後の金利政策に此の通貨政策といふことが一番重要なる問題と考へて居るのでありまして、商工會議所の諸君には、此の事柄に就きまして御考究を願つておきたいと考へて居ります。

勞働組合法の問題に就ては、只今座長よりの御意見でありましたが、お說の通りに考へます。今日の如く急激に現狀の變化した場合には、勞働組合法といふものは非常な重要な關係のものであるといふことは、從來當局でも十分承知致して居るのであります。度々繰返して申します次第でありますが、勞働組合法はまだ其の內容に對して十分の考究をする必要がある。又議會に提出されるまでには今日相當なる考究を致しまして、時勢に相當するだけの法案と致しまして、議會に提出したい積りで居るのであります。今云はれたやうな考へは、責任のある內務大臣にも決して違つたお考へがあるとも考へて居りませぬ。私も亦十分の研究をして、相當なる意見を抱懷して居る次第であります。

これは座長からの御意見も無かつたのでありまして、餘談のやうでありますが、



皆樣に一つお聽きを願つておきたいと思ふのでありますが、それは他でもありませぬ、今獨逸で非常に困つて居る事がありますので、其のお話を致しまして、之れを日本の事に對照して皆樣のお考へを願つておきたいのであります。獨逸は世界の不景氣が來て又獨逸自體の現象から、今日世界各國の中で一番困つて居るのであります。漸く先日議會を閉ぢて、此の十二月再び開會するのでありますが、獨逸には非常な困難がある。何に困難をして居るか、其の重大なる事情は、獨逸に於きましては租稅收入が非常に減りました。日本などと比較の出來ない程の巨額なる歲入が減つて居ります。然るに獨逸で申しますと日本と違つて、一方には失業者が三百萬人あります。其の中で百九十何萬人といふものは、失業保險を全額貰つて居るものであります。從て稅が減る一方に、非常に歲出が殖えなければならぬといふやうな事情でありまして、財政上非常な困難をしたのであります。前內閣は其の爲めに潰れて、次の內閣にブリューニングといふ人が出て來まして、增稅案を出したのであります。所が議會に於て之れが否決されましたから、議會を解散して增稅案を緊急勅令によつて實行したのであります。さうして總選擧が終

つて見ますると、豈圖らんや、自分の黨派は殖えずして一方に國粹黨が非常に殖え、又極く左傾な無產黨の黨派がうんと殖えたのであります。從て政治上非常なる困難な立場に立つた。其の結果はどうであるかと云ひますと、毎日の如く獨逸のマルクは下つて、獨逸國內からずん〳〵海外に逃げてしまつたのであります。ブリューニングが總選擧後の議會開會の劈頭に於て何を云つたかといふと、獨逸の政情が定まらぬ以上は獨逸の經濟界は毎日破壞されて行くのだといふことを云つて、ブリューニングは非常に歎いて訴へたことがあります。私の友達で最近獨逸を視て歸つた人のお話によりましても、獨逸といふものは外國人が見て居つても何か事が起りはせぬかといふやうな非常に怖い氣持がする處だと云つて居ります が、私はさうであらうと思ひます。斯やうな緣の遠いお話をしたやうでありますが、併しながら日本に於ても此の事柄に就て皆さんのお考へを願つておきたいことは、去る月の倫敦の條約の批准が樞密院に引掛つて、日本にも政變を豫想されましたのであります。若しあの時に政變があつたならば爲替相場は非常に下つたであらう。只今座長よりのお話の如く、種々樣々の說が出ますからして、爲替相場が非常に下るだらう、下るならば八月の末か九月の初めに於て、十二月、一月の爲替を其の頃から約束をしておく方が得である。斯ういふ事の爲めに、非常な巨額なる爲替を買ふものが出來て來たのであります。之れを賣らなければ日本の圓は下る、丁度獨逸の馬克が他所に逃げて行くといふやうな、形は變つて居りますけれども、日本の經濟界に惡影響を與へることは殆ど同じであります。私は決して政權に戀々とする者でも何でもありませぬが、併しながら此の事柄を獨逸の現狀と對照して見ますといふと、今日の如く日本の經濟界の大事な際に政變を豫想したならば、斯くの如き惡い結果が出て來る。又政治のやり方が如何に經濟界に惡い影響を與へて來るかといふことは、若し私が此處で貴方がたに一から十までお話をすることが出來ますならば、獨逸の例を俟たずしても、皆さんが首肯されることであらうと思ひます。從て今般の豫算を拵へますに就きましても、海軍の補充計畫を立てます上にも、種々樣々の計畫を立てます上にも、吾々は政府を引受けて居つて、今日の大事な此の經濟界に處して行く上に一部の變動も豫想されてもいかぬ、出

來るだけ政界を安定せしめなければならぬといふことばかりを考へて、一生懸命にやつて居るやうな次第であります。幸ひに萬事諸君の御後援によつて今日政治上も都合よく行つて居る次第でありますから、どうか政治と經濟とが共に與に非常に深い關係がある、殊に今日の如き場合には、斯やうな重大なる影響があるといふ私の體驗した事を、一つ唯此處に挾んで皆樣にお話を申上げておいた次第でございます。

先刻座長から、失業公債と國債の不增加といふことに就てお話があつたのでありますが、之れも何も座長のお話に私が異論を挾む次第でも何でもない、吾々のやつて居る事を寧ろ裏書をして戴いたやうな次第で、吾々は愈、元氣をつけて尙此の主義を恪守して行くのであります。よく世の中には、不景氣が來た、それならば大いに政府が公債を募つて政府事業を盛にして行けば不景氣は景氣に代ることが出來る、少なくとも不景氣の進行を止めることが出來る、斯ういふ說が大分あるやうに考へます。私は之れに就きまして、公債を巨額に募つて政府が事業をすれば今日の世界的の不景氣、日本の今日の特殊の事情から出て來た不景氣を防ぎ得るといふことは考へぬのでありますが、併し之れを議論しまして皆樣に食後の演說にうるさく申上げるよりも、もう一つ私は之れも外國の例を皆樣にお話したならば一番はつきりすると思ひます。御承知の如く濠太剌利といふ處は農產物が非常に出る處で、羊毛と穀物が主たる物產でありまして、之れを海外に出して製造品を海外から買ふので大體貿易のバランスがとれて居る處であります。併しながら濠洲と云ふ處は、大體申しますと、勞働黨の勢力の盛な處でありまして、第一の主義から云へば、物價を下げることは嫌ひであります。物價は下げたくない、もう一つは勞働賃銀を下げたくない、結論から推して來ると、さういふ政策をずつと採り來つた處であります。それならばどうするかと云へば、戰爭中はよかつたのでありますが、戰爭後は大體世界の物價は下つて行く、世界の物價が下るのに濠洲だけの物價を下げたくない。其の結果どうしたかと云へば、世界の物價が下れば世界の安いものが濠洲に這入つて來るから、遠慮會釋なく何でも這入つて來るものには關稅をかけるより仕方が無い。もう一つ云へば、勞働賃銀を下げることはいやだ、失業者を出すことはいやだといふ政策でありますから、各州に於きまして、公債

をうんと募つて儲からない鐵道を架けたのであります。それで物價も比較的下らず、失業者も出來ずして昨年、一昨年位までではどうか斯うか其の政策を行つて來たのであります。然るに御承知の如く著しく變化を來したのは、今年は、例へば、米は半値位に下つたのであります。のみならず、穀物は濠洲に於ては不作であるが、世界は豊作で非常に安いので、外國から安いものが來るのは關稅で止めて居りましたけれども、自國から出來るものを高く賣る譯に行かぬのであるからして、濠洲の輸出入のバランスはうんと變化致しまして、其の結果は外國にある公債の利拂をすることも出來なくなつたのであります。もう一つ申しますと、非常な不幸なことには、一九三〇年に期限の切れる公債があつた爲めに、其の借換に應じてくれないといふことの爲めに、非常に濠洲は困つたのであります。そこで一昨年位まで濠洲だけで考へて見たときには、物價も下げない、失業者も出さない、勞働賃銀も下げずに無理をしてやつて來ましたので、今年になると全く立ちやうが無くなつて、斯やうな結果、なんとか整理をせんければならぬといふことで、最も巨額な公債を持つて居る英吉利の英蘭銀



行の重役を連れて來て、非常な整理案を立てて貰つた結果がどうか。今のやうな濠洲内地に於ける政策を採つて居るならば、何時までも此の國際貸借は直る氣遣ひは無い。それならばどうすれば宜しいかと云ふと、政府は財布をうんと思切つて緊縮しなければならぬ、官吏の俸給もうんと減俸しなければならぬ。官吏の數も減ずるのみならず、儲からない鐵道を架けて居るのをずん〳〵止めなければならぬ。公債の募集高を減らさなければならぬ。斯ういふ整理案を出しましたのは、今から凡そ三箇月前で、其の間に爲替は下る、濠洲の海外に在る公債の値段は下るといふやうに、只今悲慘な狀況を呈して居ります。斯ういふ事を考へて、日本の現狀に之れを照して、斯やうな不景氣の狀態の時に政府が巨額な公債を募つて、さうして日本の不景氣を止めることが出來るや否やといふことを私は考へて見ますると、濠洲が日本と餘り變らない狀況でありますのです。それで吾々は、今日の狀態で申しますと、左樣な事に耳を傾けずに今日までの方針を持續して、此の經濟界の根本的の立直しを致しましたならば、此の次に來る時代は、非常に繁榮する、非常な心持の好い時代が來るであらうと考へて居るのであります。

尙座長の申しました金の輸出再禁止或は平價切下の如きは、當日本商工會議所で既に十月に之れに就ての決議がありましたので、私が茲に意見を申す必要も無いのでありますが、唯之れも海外の例を一つ申上げて見たいと考へます。金の輸出解禁をしたから此の不景氣が日本に來たのだ、何も急いで金の解禁をする必要は無かつたのぢやないか、あの時に金の解禁をせずにおいたらよかつたらうといふ議論が澤山ありますが、之れに就ては適當な海外の例があります。之れは度々申上げた事でありますが、西班牙が殆ど日本と事情が似て居ります。貨幣制度は微妙な點に差がありますけれども、輸入超過の國でありまして、巨額な金貨を內地に持つて居るのであります。それが矢張り金解禁をせずにおいて、此の不景氣に遭遇したのであります。爲替相場は半値に下りました。二十五ペセタといふものが十圓之れが、最近のレコードで云へば、五十一まで下つて居ります。殆ど半値まで、爲替相場が下つて居ります。日本の事情と比較致しまして何等の差の無い、西班牙が左樣でありますが、若し假に日本があの時に金の解禁をせずにおいて、此の世界の不景氣に遇ひましたならば、恐らくは日本の爲替相場は二十弗、二十五弗



といふやうな所まで確かに下つて居つたらうと思ひます。日本の爲替相場が二十五弗まで下つて居つたと想像されたならば、此の日本の經濟界の不安の狀態に一層不安の狀態を附加へるであらうといふことは、大正十三年の暮に、或は十四年にかけまして、日本の爲替相場が三十八弗半まで下つて居りました時の事情をお考へになつて、今日の世界の不景氣と相對照してお考へになりましたならば、私がかれこれ申さぬとも、諸君は十分御理解下さることであらうと考へて居ります。

話が區々になりまして恐縮しますが、失業公債の問題に就て座長からのお話でありましたが、之れはまだはつきり決めて居りませぬ。唯私自分の頭の中に考へて居ります事を皆さんにお聽きを願つておきますならば、斯ういふ事であります。今日までの失業救濟は、地方の公共團體に多くは委してあつたのであります。併しながら失業の狀態は今後どうなるであらうかといふことを考へて見ますといふと、種々樣々の考へ方もありませうが、もう一つ極く具體的の事を考へて見ますと、華盛頓會議の後には日本の造船界、海軍の工廠等に於きましても可なり仕事が減りました。今日とても、日本の軍艦の保有量は五萬噸以上減つて居ります。其

の五萬噸以上減つて居ることは、海軍工廠なり日本の造船に影響せざるを得ぬのであります。之れが漸次現れて來るだらうといふことも考へられる。其の他に、斯やうな事があるか無いか知りませぬが、今日の失業者の數が一層增加し、狀態の深刻になるやうなことがあつたならば、只今の儘では滿足が出來ないのみならず、之れが對策に對しても十分な努力をしなければならぬと、私共は考へて居るのであります。それならばそれに對する施設として何をするか、斯ういふ事になりますと、やる事柄は別と致しましても、金はどうするかといふ最後の問題になりましたならば、之れは非常特別の場合として、公債を發行してでも此の事柄に對する救濟策を講じよう。吾々政府と致しましては、先刻座長の云はれる如く、國債の不增加といふことを決めて居ります。其の吾々の公債政策の範圍內に於きまして、卽ち吾々の公債に對する政策を根本から破壞するやうな事をせずに、此の非常特別な場合でありますから、之れに對する對策として公債を發行しよう。從て出來るだけ放慢な公債の發行の仕方はしたくない、又公債の市價に關係しないやうに、吾は預金部の金を以て之れに應じて、一般市場には此の公債を出すやうにしない。



斯ういふ事の大綱だけは考へて居るのであります。從て失業者の狀態によりまして此の金額も決まることでありますから、さう御承知を願つておきたうございます。

尙緊縮政策に就てお言葉がありましたのでありますが、之れは大分世の中に議論を惹起して居る所でありますから、私は座長の非常に明快なる御意見に對して一言申しておきたいと思ひます。吾々は斯う考へました。物價が下る、卽ち日本の經濟を根本的に立直す、斯ういふ事を考へて見ますと、世界の物價に對して日本の物價が高過ぎる、之れを漸次餘り無理のないやうな風に段々下げて、さうして此の世界の不景氣に應じて行かなければならぬ、其の場合に政府は財政を緊縮するといふこと、之れは當然の義であります。一方から云ひますれば、緊縮といふ政策を立てなければならぬが、只今申上ぐる如く、歲入の減つたに應じて歲出の均衡を得しめる所謂緊縮は、餘儀なくして或程度まで行かざるを得ぬといふことになります。併しながら一方から申しますと、消費を節約せずに一體日本の經濟界の立直しが出來るであらうか、假に國民の消費が依然として變らなかつたな

らば、物價を下げることが出來るであらうかがら經濟界の整理をし、物の値段を下げるといふことが果して出來るものであらうかどうか、私は或程度まで不可能だと考へたのであります。從て政府が財政緊縮をすると同時に、國民にも其の覺悟がついて來ることが必要であると、斯う考へて今日までずつと來て居ります。其の結果を見まするといふと、所謂一應緊縮して消費の量が減つた。同時に生產費も下げた、物が安く出來るやうに今日はなつて居ります。物が安く出來るやうになりましたらどうなるかと云ふと、物の安い爲めに一般國民の需要を喚起するといふことは、これは經濟學の原則であります。又實際の事情から見ましても、今日は、例へば織物の產地にお出になりますと、織物の値段はうんと下りましたが、桐生、足利、八王子でも或は普通の織物の產地に行きましても、數量は一割五分や二割殖えて居る處が多いのであります。物の値段が下れば需要を喚起するといふことは、既に今日出て來て居りませう。從て此の調子が段々ついて來ましたならば、座長の言はれる通りかも知れぬ。併しながら一應政府は財政を緊縮し、國民は消費節約をして、それで物價



が下り、物價が下れば物が安く出來るやうになつて需要が喚起されるといふことは其の通りであります。從て消費の節約は絕對的にいかぬ、生產を殖やさなければならぬ、斯ういふ議論もありますが、消費が盛になり同時に生產が盛になつて、眼の前にあつたやうな日本の經濟界の調節、整理が果してついたかどうか、私はついたとは考へられぬのであります。

最後に整理に關する金融の問題でありますきませう。之れに就ては、政府當局者も一般金融業者も努力せなければならぬ所であります。尙合理化といふ事を段々やつて見ますと、事業の合理化に對して何が一番故障であるかと云ひますと、過去に持つて居る借金であります。借りて居る金の始末がつかぬ爲めに合理化が出來ないといふことは、どの事業にも共通の事情であります。それは日本に限つた事ではありませぬ。英吉利でも同じやうな經驗をして居るのでありますが、現在事業に負擔して居る借金が比較的多過ぎる爲め、合理化が大層困難である。斯ういふ事が確かにあるのであります。同時

に座長の言はれる如く、合理化の出來た後の資金が潤澤になり、又資金の確定したる見込が立たぬならば、合理化をしても何等の效果は無いといふことになります。其の點に就きましては、今後の日本の推移を見ますと、此の事柄が最も重要な問題になるだらうと思ふのであります。兎に角、私は現在の日本の中小商工業でも農村でも、今持つて居る借金の整理といふことが非常な重大な問題であらうと考へて居ります。戰後から市街地の中小商工業者の金融の非常な苦勞を見ましても、今までよりも借金の始末に困る者が一番多いのであります。財界が段々安定致しまして、九月までは非常な不安定と云はれましたが、其の後段々安定して來て不當な恐怖心、不當な價格の下落が無くなつた今日、極く平つたい言葉で云ひますれば、今日仕入れましても明日下る、明後日はもつと下るといふやうな事情は、今日は大分無くなつて居ります。何が困るかと云へば、今持つて居る借金の利息に一番困る。之れさへ無ければ今日の經濟界の狀態でも立派な商賣が出來るといふのが、中小商工業者の經濟の狀態であります。農村でも、農村の疲弊と云ひますが、之れを詮じ詰めるといふと、農村には不生產的な借入金をして居る者が比較的多いのであります。今日の經濟界の變動であります から、地方の物持で不動產を持つて居る人が借金をして、段々經濟狀態が根本的に變化して行くことは止むを得ないであらうと思ひますが、農村の一番根柢の疲弊といふことは、借金の多いことにあるのぢやないか。之れを何とかして始末をしてやるといふことが、今日の非常な財界に處し、明日の日本の財界が安定して本當の繁昌を持來すのには、此の點に就て餘程注意をせんければならぬと、政府當局者としては大いに苦心して居る次第でございます。



只今座長の申さるゝ事に對し、順序も無く雜然たることをお答へ申上げました が、實は今晩商工大臣が臨席あつて、何か御挨拶を申上げることと思ひまして、無用意で參りました次第です。長時間の御靜聽に對して深く感謝する次第であります。

# 第五十九回 帝國議會に於ける財政演說

（昭和六年一月二十二日 於衆議院）

茲に昭和六年度歳入、歳出總豫算及び財政計畫の大要を述べ、併せて我國經濟界の現狀を說明致しまするることは、私の最も光榮とする所であります。

昭和五年度に於ては、財界の不況により政府の歳入は著しく減少するものと豫想せられますので、政府は之れに應じて行政の經濟化を圖り、歳出を節減して收支の均衡を保たせて居るのでありますが、昭和六年度の歳入も亦同樣減少するものと豫測せられます。從て昭和六年度の歳入の見積りをなすに當つては、大體昭和五年度の實數より推して計算を立てたのであります。其の結果は、昭和六年度の租稅其の他の經常收入に於ては、昭和五年度の實行豫算に比較して多額の自然減收を示し、其の見積額は一億五千五百餘萬圓に上ります。今其の主要なるものに就き減少額を擧げますれば、租稅收入に於て一億千五百餘萬圓の減收であり、其の



うち所得稅に於て四千餘萬圓、營業收益稅に於て千三百餘萬圓、酒稅に於て千八百餘萬圓、砂糖消費稅に於て五百餘萬圓、織物消費稅に於て三百餘萬圓、關稅に於て千二百餘萬圓の減少であります。又印紙收入に於て千三百餘萬圓、郵便電信電話收入に於て千四百餘萬圓、森林收入に於て七百餘萬圓の減收であります。併しながら專賣收入に於て二千餘萬圓、特別會計恩給負擔金に於て千百餘萬圓、大藏省預金部繰入に於て二百七十萬圓、其の他收入の增加するものがありますから、此れ等を差引し、更に減稅の金額を減じまするると、昭和六年度歳入經常部に於ては、昭和五年度實行豫算に比べまして一億二千餘萬圓の減少となります。尙臨時部に於ては、昭和六年度の歳入は、昭和五年度實行豫算に比し、差引二千九百餘萬圓の減少でありまして、其の增減の主なるものは、來年度豫算に於ては前年度剩餘金繰入ばなくありませぬから、其の關係に於て四千八百餘萬圓の歳入の減少であり、又賠償金特別會計資金殘金繰入は千二百餘萬圓の歳入の減少であり、合計致しますと、昭和六年度の歳入豫算は、昭和五年度實行豫算に比し一億四千九百餘萬圓の減少となります。右の如き歳入狀況であり、加ふるに昭和四年度の決

算に於ては殆ど剩餘金を生ぜず、從て從前の如く前年度剩餘金を以て昭和六年度の歳出の財源に充つることは出來ないのであります。而して此の歳入の減少に對しては歳出を節減し、又新規事項に就ても極力其の計上を見合せ、之れによつて歳入、歳出の均衡を保たしむることが財政計畫の堅實を圖る上に於て唯一の途であると考へ、此の方針によつたのであります。

一方倫敦海軍條約によつて軍備の制限は出來たのでありますが、元來此の條約は軍備制限による世界平和の確保を目的とすると共に、國民の負擔輕減を目的としても居るものであります。從來政府の財政計畫上、海軍補充計畫の爲めに留保してありました財源は、昭和六年より同十一年に至る六年間に於て、五億八百餘萬圓となつて居るのでありますが、此の財源は、之れを倫敦海軍條約に基く軍備の補充確立と、國民の負擔輕減とに充當致さねばなりませぬ。而して國民の負擔輕減は今日の財界に處する對策としても亦最も緊要なる事柄でありまして、來年度より是非とも之れを實行するの必要があります。仍て今後の財政計畫を立つるに當



り、此の兩者を適當に按排して、右の六年間に於て海軍の補充計畫に充當すべき金額を三億七千四百萬圓と定め、又國民負擔の輕減に充當すべき金額を一億三千四百餘萬圓と定めたのであります。

斯くの如く、一方に於て歳入は減少し、他方に於て軍備の補充確立と減稅とを實行しなければならぬのでありますから、來年度に於ける一般の經費の節約は多額に上りまして、各省を通じての節減額六千三百餘萬圓、繰延額六千五百餘萬圓、合計一億二千九百餘萬圓となり、之れによつて初めて歳入歳出の均衡を保たしむることが出來たのであります。斯くして昭和六年度歳出の豫算額は十四億四千八百萬圓となり、之れを昭和五年度實行豫算に比すれば、經常部に於て四千四百餘萬圓、臨時部に於て一億千五百餘萬圓、合計一億六千餘萬圓を減少して居ります。尙昭和四年度の豫算總額十七億七千餘萬圓に比較すれば、實に三億二千餘萬圓の減少となつて居ります。而して昭和六年度の歳入と歳出とを對照しまするに、千餘萬圓の歳入超過となつて居りますが、此の超過額は昭和六年度追加豫算の財源等に充つる考へであります。尙獨逸國より受取るべき賠償金年額平均六百三十萬圓

に就ては、之れを一般の經費に使用せず、國債の償還に充つる方針を立て、本年度に於ては之れを實行致したのでありますが、此の際の歳入激減の場合、一般經費の節約のみを以て之れに應ずることは行政の上に無理を生じますので、止むを得ず來年度より當分の間、此の賠償金を一般の財源に充當することに變更致したのであります。

右に述べたるが如き歳入減少の際でありますから、財政の縮小は眞に止むを得ざる所であります。併しながら極めて急激に國費が減少したのでありますから、國務の執行に就ては常に國費の減少と調和を圖ることに努め、更に進んで今日の行政組織の改革、行政の刷新を圖り、國民經濟の現狀に適應することが刻下の急務であると信じます。又現行の租稅制度に就て考へまするに、國民負擔の實際に相應せざる點が尠なくありませぬので、其の改正を行ふ必要があるのであります。右の趣旨より致しまして、政府に於ては行政、財政及び稅制の整理を實行することを決定し、之れによつて行政の合理化を圖ると共に國民負擔を公正ならしめ、且つ將來に於ける財政の基礎を鞏固ならしめんことを期して居る次第でありまして、



來年度豫算に於て、行政及び財政整理調査會に關する經費を計上致したのであります。

昭和六年度の豫算に就て特に說明を要する點は、地租法の改正、減稅の計畫及び海軍補充計畫であります。

地租の課稅標準を賃貸價格に改め、地租負擔の公正を期する計畫は大正十五年の稅制整理の一として決定せられて居り、第五十一議會に於て土地賃貸價格調査法の協贊を得まして、昭和二年末までに全國土地の賃貸價格の調査が完了したのであります。當初の計畫では、昭和三年から賃貸價格を基礎として地租の改正を行ふ筈でありましたが、內閣更迭等の事情により今日まで其の實行を見ずに居りますが、今回昭和六年分より之れが改正を實施することとし、之れが改正法律案を今期議會に提案することと致し、必要なる經費を豫算に計上致したのであります。

倫敦海軍條約の成立の結果生じたる財源を以てする減稅は、地租、營業收益稅、砂糖消費稅及び織物消費稅の四種の稅目に就て之れを行ふことと致したのであります。此の減稅計畫によつて、平年度に於ては、地租に於て千八十餘萬圓、營業收益

稅に於て四百六十餘萬圓、砂糖消費稅に於て六百餘萬圓、繊物消費稅に於て四百十餘萬圓、合計二千五百六十餘萬圓の減稅となるのでありますが、昭和六年度に於ては、地租に於て六百七十餘萬圓、營業收益稅に於て百二十餘萬圓、砂糖消費稅に於て二十餘萬圓、繊物消費稅に於て九十餘萬圓、合計九百十餘萬圓の減稅を致すのであります。尙地租法の改正及び減稅計畫の詳細に就ては、法律案提出の際に說明致したいと考へます。

海軍補充計畫の總額は昭和六年度より昭和十一年度まで六箇年度の間に於て、經常部に於て三億三千五百餘萬圓、臨時部に於て三億七千四百萬圓に上るのでありまして、之れによつて海軍主要兵力整備及び內容充實の計畫を立てたのであります。其の內容は艦船建造補充に關する經費、航空兵力充實增勢に關する經費、其の他內容充實に關する經費でありまして、昭和六年度の豫算に計上せる金額は九百五十四萬圓であります。

國債に就て申述べますれば、昭和六年度に於て特別會計歲出豫算の財源として發行すべき公債の總額は五千六百六十萬圓でありまして、卽ち帝國鐵道建設及び



改良費の分四千二百萬圓、朝鮮總督府特別會計の分千三百五十萬圓、臺灣總督府特別會計の分五十萬圓、關東廳特別會計の分六十萬圓でありますが、之れは總て旣定の分であります。而して昨年來の財界不況の結果增加する失業者の救濟に就ては、從來主として地方公共團體をして土木事業を起さしめて之れに當らしめて居つたのでありますが、目下の情勢に於ては、失業救濟の爲めに政府自らも事業を施行し、又地方公共團體の事業に對する補助の範圍を擴張する必要を認めるのでありますが、今日の財政狀態に於ては、之れに要する金額を一般財源に求むることは不可能であります。且つ失業救濟は一時的應急の手段でありますから、之れが財源を公債に求むることは眞に止むを得ざることと考へます。仍て政府は失業救濟の趣旨を以て帝國鐵道改良費の財源として千二百萬圓の公債を發行することとし、尙追加豫算に於て失業救濟事業費の財源に充つる爲めに、一般會計に於て二千二百萬圓、樺太廳特別會計に於て百五十萬圓の公債を發行する計畫を立てゝ居るのでありますが、政府の從來採り來りたる方針に基き、其の計畫に就ては苟も放慢に流るゝが如きこと無きやう十分の注意を拂ひ、從て公債の金額もなるべく多

額に上らざるやうに致したのであります。

今日の經濟界の不況の時期に於て中小產業者に對する金融を圓滑ならしむることは、失業對策と相並んで最も必要なる事であります。政府は昨年三月、預金部より信用組合を通じて、中小商工農業者等に對して二千萬圓を融通することを決定し、其の後五百萬圓の增額をなし、爾來其の貸付は大分進捗して居ります。其の外、農山漁村の失業救濟資金として預金部より融通を決定せられました資金七千萬圓の一部は、農山漁村に於ける中小產業者に對する金融の援助となるのであります。併しながら全國に亙る中小產業者に對する金融援助の如き、到底政府のみの力を以て解決し得るものではないことは明かであります、幸ひに多數の銀行は時局に鑑みて小口の貸出を特別に便利に實行することとなしたる爲めに、中小商工業者の金融は幾分緩和されることとなりました。尙政府は將來の對策の一として、貯蓄銀行法、無盡業法等の改正法律案を今期議會に提出する考へであります。

次に經濟界の情勢に就て申述べます。我國は戰後經濟界の整理が遲れて居り、



金解禁も最近に決行せられたやうな事情であります、財界の立直しを行ひつゝある間に此の世界不景氣に遭遇したのであるから、其の影響を感ずる程度も一層甚だしく、一時は非常に不安の氣分に襲はれたのであります。世界不景氣が日本に影響して來たのは昨年一月以來のことでありまして、日本に最も關係の深い國際的商品の急激なる値下りは、我經濟界に大なる苦痛を與へたのであります。例へば棉花の價格は、昨年一月初めには一封度十七仙四五であつたものが、昨年中の最低相場は九仙八〇となり、又銀の價格は昨年一月初めには一オンス二十一片八分の五であつたものが、昨年中の最低相場は十四片十六分の七となりました。更に印度に於ける關稅引上の問題、支那の動亂等外部より悲觀材料が頻々として襲來したる爲めに、我經濟界は昨年三、四月頃より不安の念に襲はれ、八、九月頃には其の極點に達したのであります。然るに其の後各方面に於て不景氣に處する對策が講ぜられまして、其の所有の高價なる原料品、製品の處分をなし、極力生產費を切下げたる結果、既に今日の不景氣時代に於て收益の基礎が確立した事業もあり、生產の調節、內部の整理により事業の基礎を鞏固にしたものもあり、又金融難に陷つ

た爲めに財界に不安の氣分を與へて居つた事業も、其の大部分は金融問題の解決が出來るに至つたのであります。尙印度及び支那の動亂も稍治まり、對印、對支の貿易は幾分良好となり、銅は生產制限の爲め、砂糖は販賣調節の爲めに價格騰貴したる等の事情により、昨年十一月頃より財界の不安は餘程除去せられ、商品及び有價證券の價格も稍安定するに至り、昨年末の金融界も平穩に經過することが出來たのであります。

御承知の通り今日の不景氣は世界全般に亙つて居り、各國何れも困難して居るのであります。之れを物價下落の狀況によつて說明致しますに、昨年一箇年間に、米國に於ては一割八分六厘、英國に於ては二割一分六厘、日本に於ては二割二分二厘、日本に於ては二割一分六厘の物價指數の低落でありまして、戰前を一〇〇としたる物價指數は、昨年十二月には、米國は一〇九・二、英國は一〇三・七となつて居るのであります。日本の物價指數も昨年十二月には一二七・八となり、餘程戰前に近づいて來たのであります。一昨年六月以降一年半に於ける物價指數低落の割合は二割七分五厘に達し、同期間に於ける英、米の低



落割合よりも多いのであります。此の物價指數の低落の急激なりしことを見ても世界不景氣の程度を判斷することが出來、又之れに比較して日本の不景氣の程度をも知ることを得ると同時に、物價が殆ど戰前に立戻つたことを見ますると、此の上物價が低落する餘地の縮小せられたることをも察することが出來るのであります。

以上各種の事情を綜合して考へますに、我經濟界も不當なる恐怖の念に驅られた極端なる不安時代は既に經過し、漸次正常なる狀態に向ひつゝあると考へます。尙又、前述の如く世界物價低落の餘地が縮小せられたることによつて、昨年の如く外來の惡材料が頻出することの無かるべき豫想がつくのであります。勿論此の不景氣が急に好景氣になるとは何人も妄斷が出來ぬのでありますが、併しながら今日は徐々に堅實なる步調を以て經濟界の恢復して行く傾向が各方面に現れて居ると思ひます。之れを促進するには、各種事業の合理化統制を圖り、生產費を低下して根本的財界の立直しを圖ると共に、金融對策に十分注意を拂ひ、財界の立直しを容易ならしむることに力を注がねばならぬと考へます。卽ち生產費が低下

せられ、物價が低落すれば自然に需要は喚起せられ、從て生產の增加が起るのであ
りまして、之れが經濟界の健全なる恢復の道程であると考へます。
金解禁後に於ける金の流出入の關係を見まするに、昨年中に三億八百萬圓の金
が海外に積出されたのでありまして、併しながら日本銀行の正貨準備の關係に於
ては、其の受入れたものを差引きまするに、昨年十二月までに二億四千七百萬圓の
減少であつて、昨年末の同行の金保有高は八億二千四百萬圓であります。而して
一方には內國の會社、銀行等の所有する外貨證券は著しく增加し、昨年中に其の增
加額は一億圓餘に達して居ります。之れは主として、昨年の七月頃までは內外市
場に於ける有價證券の價格の差がありましたので、外貨證券に投資したものが比
較的巨額に上つた爲めであります。日本銀行は金を二億四千七百萬圓失ひまし
たが、日本は常に容易に英、米の市場に於て換價し得べき證券を一億圓所有するに
至つたのでありますから、此の金額は國際決濟の爲めに拂ひ果したものとは大差
があるのであります。又昨年七月には、倫敦海軍條約の批准問題に關聯し、政局不
安より政變來を豫想して、次の輸入期に爲替相場の低落することを見越し、一時先



物の輸入爲替の取組が激增したのでありまして、橫濱正金銀行は之れに賣應じた
のであります。然るに九月に至り、批准問題の解決により此の事態は全く終息し、
爲替の買過ぎとなり、却て爲替相場は騰貴し、爲替市場は安定しました。橫濱正金
銀行は七月以來賣應じた爲替決濟の爲め、金を積出した額が六千萬圓に上りまし
たが、其の積出したる資金は昨年の國際貸借決濟の爲めにあらずして、寧ろ本年の
輸入資金の一部と見るべきものでありまして、從て昨年中の日本銀行の金の保有
額の減少が二億四千七百萬圓に達したることも、金解禁後の第一年として、さして
憂ふべきことでは無いと考へます。
昨年の外國貿易の狀況は、內地及び朝鮮、臺灣を合せ輸出十五億千八百餘萬圓、輸
入十六億八千餘萬圓でありまして、一億六千百餘萬圓の輸入超過となつて居りま
す。之れを前年に比べまするに、輸出に於て六億九千九百餘萬圓、輸入に於て七億
八百餘萬圓の減少となり、輸入超過に於て九百餘萬圓の減少となつて居ります。
斯くの如く輸出輸入共に貿易の金額の減少したことは、主として商品の價格が低
落したことに基くのであつて、其の數量に於ては左程の減少となつては居らぬの

であります。今、主なる輸出入品に就て調査しまするに、先づ輸出品のうち生絲は、價額は四割六分七厘の減少なるに、數量は一割八分三厘の減少であります。綿織物は、價額は三割四分一厘の減少なるに、數量は一割二分二厘の減少であります。又輸入品のうち棉花は、價額は三割六分八厘の減少なるに、數量は一割一分三厘の減少であります。右のやうな次第であつて、昨年の如き非常に物價の下落した年の貿易の實體は單に價額のみを以て之れを判斷することは出來ぬのでありまして、數量に重きを置いて考へねばならぬことは明かであると思ひます。從て若し國內產業の狀態が今日の物價低落に適應して、生產費の低下も出來、採算の基礎も立つに至りましたならば、貿易の狀態は寧ろ大いに改善せらるゝものと考へます。而して輸入超過額は、前述の通り一昨年に比べて九百餘萬圓の減少となつて居ります。從て昨年の貿易は、世界不況に際し、又金解禁の第一年として、敢て悲觀の要無きものと考へます。併しながら貿易外の受取勘定は、昨年來相當減少を免れ得ないと考へますから、今後一層國際貸借の改善に就き努力を要することと考へます。



之れを要しまするに、昨年世界不景氣の最も深刻なる影響を受けたる時期に於て、我國民は堅忍不拔の精神を以て之れに對する方策を講じたのでありますが、今後は更に財界立直しの完成に向つて邁進致さねばならぬのであります。固より此の事は容易ならざる大事業でありますが、過去一年の經驗に徵し、我國民は必ず完全に之れを成し遂げ得ることを確く信じて疑はぬ次第であります。

終りに臨み、政府の提出致しました豫算案に就ては、御審議の上速かに御協贊あらんことを切望する次第であります。

# 第五十九回帝國議會に於ける 地租法案外三件說明演說

（昭和六年一月二十七日 衆議院）

茲に議題となりました地租法、營業收益稅法、砂糖消費稅法及び織物消費稅法中改正法律案に就て大體の說明を致します。

倫敦海軍條約の成立によりまして生じたる餘剩財源は、同條約の趣旨に從ひ、之れを國民負擔の輕減に充當するを適當なりと認めまして、今回地租、營業收益稅、砂糖消費稅及び織物消費稅に就て、それ〳〵法律を改正致し、國民負擔を輕減し、併せて其の公正を期することに致しました。尙地租に就きましては、其の課稅標準たる地價を賃貸價格に改むると共に、地租制度の全般に亙り、相當廣汎なる改正を加ふるの必要を認めましたので、地租條例を廢止し、新に地租法を制定することに致したのであります。これより各法律案に就き順次說明を致します。

先づ地租の改正に就て述べますれば、我國現行地租の課稅標準たる地價は、明治



初年地租改正の際に於ける調査に係ります。布せられ、同八年地租改正事務局を設置せられ、同十五年に至り完成したるものであります。其の後田畑の地價に就ては、數次部分的修正を加へ、宅地の地價に就ては明治四十三年其の修正を行ひましたが、既に長年月を經過して居ります。其の間時勢の進展、經濟事情の變遷、交通機關の發達其の他諸般の事情によりまして、土地の利用狀況が著しく變動して居るに拘らず、全國各地目に亙り、一般的に地價の修正を行ふことなくして今日に及んで居ります結果、我國地租の負擔が甚だ公平を失するに至りまして、之れを根本的に改正する必要のあることは申すまでもないことであります。

是れを以て、大正十五年稅制整理を行ふに際し、政府は地租の課稅標準たる地價を賃貸價格に改め、以て現行制度の缺點を除き、土地の負擔の公平を得しむる計畫の下に土地賃貸價格調査法案を第五十一回帝國議會に提出致し、御協贊を得ましたので、大正十五年四月より全國稅務機關の全力を擧げて賃貸價格の調査に當り、昭和二年末までに全國各地に於て、土地賃貸價格の決定を見ることを得まして、豫

定の如く調査の完了を告げたのであります。而して當初の計畫に從へば、昭和三年に於て此の賃貸價格を課稅標準として、地租の改正を爲すべき筈でありましたが、內閣の更迭等の事情によりまして、其の實現を見ずして今日に及んで居ります。併しながら、我國土地負擔の甚だしく不公平なる現況に鑑み、地租改正の急務なるを信じ、政府は當初計畫の如く、地租の課稅標準を賃貸價格に改正することに致し、尙地租制度の全般に亙り、適當なる改正を加ふるの必要あるを認め、地租條例を廢止し、新たに地租法を制定して昭和六年度より之れを實施することに致した次第であります。今其の主要なる點を擧げますれば、

第一、地租の課稅標準たる地價を賃貸價格に改むると共に、之れを十年毎に改訂することに致しました。

地租の課稅標準としては、土地の賃貸價格が最も適當なるものであると信じますが、將來久しきに亙り之れが修正を行はざれば、現行地租の如く負擔の不公平なる結果を來すこととなりますので、相當の期間毎に一般的賃貸價格を修正し、時勢の變遷に適應せしむるの必要がありますので、十年毎に之れを改訂することに致



しました。而して第一回の改訂は昭和十三年に之れを行ふのであります。

第二、稅率は各地目共之れを百分の三·八と致しました。

現行の稅率は數回改正の沿革によりまして、宅地百分の二·五、田畑百分の四·五、其の他百分の五·五と區別し、尙北海道に於ける宅地以外の土地に就ては、特別の稅率を設けて居りますが、一般的に課稅標準を改正し、全國に亙り、各地目共、同一の方法により調査したる新課稅標準を採用することになりますれば、地目を異にするが爲めに、又地域を異にするが爲めに、其の稅率を異にすべき理由は無いと認めまして、總て同一稅率に致しました。而して今回調査したる賃貸價格を基礎として、現在地租總額の限度に於て其の稅率を算定しますれば、百分の四·五となるのでありますが、倫敦海軍條約の成立の結果生じたる餘剩財源の一部を以て其の負擔を輕減することに致し、稅率を百分の三·八と定め、約一割五分の引下げを行つたのであります。

第三、自作農地の免稅點は賃貸價格二百圓と致しました。

現在に於ける免稅點は、住所地市町村及び隣接市町村に於ける田畑合計地價二

百圓でありますが、之れを田畑合計賃貸價格二百圓に改めました。而して田畑賃貸價格は、大體に於て現在の地價に比し相當減じて居りますので、此の改正の結果免稅を受くべき納稅者の數及び土地の面積は、相當增加することとなるのであります。

第四、地租改正による負擔の激增を緩和する爲め、適當なる方法を講じました。地租の課稅標準及び稅率を改正するが爲めに、地租の負擔に增減あるべきは固より當然のことでありますが、負擔の激增を緩和することを穩當と認めまして、新地租額が現在地租額の三倍八割を超ゆる土地に就ては、三倍八割を超過せざるやう賃貸價格を制限致すのであります。

第五、土地の異動により、課稅標準の設定又は修正をなす場合、必要と認むる外、土地の測量を省略することと致しました。

現行法に於きましては、土地の異動する毎に必ず之れを測量する制度でありますが、實際上其の必要無き場合もありますし、又之れが爲めに、土地異動の處理を遲延せしむる虞れもありますので、土地の測量を省略し得る場合を認むることに改



正しまして、官民相互の手數を省くことに致したのであります。

第六、土地の異動による課稅標準の設定又は修正の方法、各種年期地の取扱納期及び徵收方法に就きましては、大體現行の制度に則りましたが、多少の改正を加へたのであります。

以上の改正により平年度に於て千八十餘萬圓の減稅となるのであります。

次に營業收益稅に就ては、法人、個人を通じ、其の稅率を引下ぐることと致しました。即ち法人の稅率百分の三・六を百分の二・六に引下ぐると共に、更に個人の純益千圓以下の金額に對し、特に其の負擔を輕減する必要を認め、低き稅率を適用することに改正致しまして、其の稅率を百分の二・二と致しました。從て純益千圓以下の個人の營業收益稅納稅者は、從來に比し二割餘の負擔の輕減を受くることになるのであります。營業所得は資產、勤勞の共働所得でありますが、小營業者にありましては、大營業者に比し勤勞の部分概して多きものあるを認めましたので、個人の營業收益稅の稅率を單一なる比例稅の儘之れを引下ぐることは適當ならずと信じまして、特に小營業者の負擔を一

層輕減した次第であります。此の改正により、平年度に於て四百六十餘萬圓の減稅となります。

次に砂糖消費稅に就きましては、各種別を通じて稅率の引下を行ふことと致しました。而して稅率の引下を行ふに當りましては、下級糖に對しては輕減割合を多くし、上級糖には減稅割合を少なくするやうに按排したのであります。卽ち第一種糖は甲、乙、丙を通じ稅率一割を引下げ、第二種糖は九分、第三種糖は八分、第四種糖は七分を引下げ、第五種糖に對しては其の輕減率を五分に止めたのであります。糖蜜に就きましては砂糖の稅率改正に伴ひ、それ〳〵適當なる改正を加へた次第であります。

此の改正によりまして、平年度に於て六百餘萬圓の減稅となるのであります。

次に織物消費稅に就ては、其の稅率百分の十を百分の九に引下げ、總ての課稅織物に對し一割の減稅を行ふ外、免稅織物の範圍を擴張することに致したのであります。

大正十五年の改正に當りまして、綿織物を免稅と致しましたが、絹、人造絹等を混



織したるものは、其の分量が僅少でありましても、總て課稅することになつて居ります。今回之れを改正致しまして、少量の絹、人造絹等を混織しても之れを免稅織物とすることに改め、更に麻織物及び毛織物中の下級品は之れを免稅することに致しました。此の改正により、平年度に於て四百十餘萬圓の減稅となります。

右は今回の減稅計畫の大要でありますが、昭和六年度に於きましては、財源の關係上地租の稅率は賃貸價格百分の四とし、營業收益稅は個人の純益千圓以下の金額に限り、稅率百分の二・五を適用することとし、砂糖消費稅の改正は昭和七年一月一日より、織物消費稅の改正は昭和六年十二月一日より、之れを施行することと致しました。

此の結果は昭和六年度に於て、地租六百七十餘萬圓、營業收益稅百二十餘萬圓、砂糖消費稅二十餘萬圓、織物消費稅九十餘萬圓の減稅となります。

以上申述べたる減稅金額を合計しますれば、平年度に於て二千五百六十餘萬圓、昭和六年度に於て九百十餘萬圓となるのであります。何卒十分御審議の上、速かに御協贊あらんことを希望致します。

# 第二十七回 全國手形交換所聯合會演說

（昭和六年四月十七日 於名古屋市公會堂）

全國手形交換所聯合會の開催に當り、所見の一端を述ぶる機會を得ましたことは、私の深く感謝する所であります。

一般經濟界の不況に伴つて國の歳入の減少することは、眞に止むを得ざる結果でありまして、之れに應じて財政計畫を立てることは當然の成行であり、又斯くすることが財政の安固を保つ所以であると考へます。昭和六年度の豫算は、追加豫算の金額を合せて十四億八千八百餘萬圓であります、之れを昭和四年度の豫算總額十七億七千三百餘萬圓に比べますれば、二億八千四百餘萬圓の減少であり、昭和五年度の實行豫算額十六億八百餘萬圓に比べましても、一億千九百餘萬圓の減少であります。而して同豫算に於ては、倫敦海軍條約に基く軍備の補充計畫と、國民負擔の輕減とが實現せらるゝに至つたのであります。減稅の種類は地租、營業



收益稅、砂糖消費稅及び織物消費稅の四種でありまして、其の金額は平年度に於ては二千五百六十餘萬圓となるのでありますが、昭和六年度に於ては留保財源の年度割が少額である結果、九百十餘萬圓となるのであります。今日の如き不況の深刻なる經濟界に對する對策として、減稅は最も有效適切なる策であると考へます。又其の金額もなるべく多額なることを望むのは固よりでありますが、歳入激減の今日、此の程度の減稅に止むることは止むを得ざる所であります。

今回は減稅と共に地租の改正を行つたのでありますが、元來地租條例による地價は明治初年地租改正の際の調査を基としたものでありまして、其の後田畑の地價に就ては數次部分的修正を加へ、宅地の地價に就ては明治四十三年其の修正を行ひましたが、既に長年月を經過して居ります。其の間時勢の進展、經濟事情の變遷、交通機關の發達其の他諸般の事情によりまして、土地の利用狀況が著しく變動して居るに拘らず、全國各地目に亙り一般的に地價の修正を行はなかつた結果、地租の負擔は甚だ公平を失するに至りまして、之れを根本的に改正する必要に迫られて居つたのであります。之れを以て、大正十五年の稅制整理に際し、地租の課稅

標準たる地價を賃貸價格に改め、之れによつて現行制度の缺點を除き、土地の負擔の公平を得しむる計畫の下に、土地賃貸價格調査法を制定し、大正十五年四月より二箇年の間、全國稅務機關の全力を擧げて賃貸價格の調査に當り、昭和二年末までに全國の土地賃貸價格の決定を見るに至つたのであります。而して當初の計畫では、昭和三年に此の賃貸價格を課稅標準として地租の改正をなす筈でありましたが、內閣の更迭等の事情によりまして其の實現を見ず、今回初めて多年の懸案を解決して、我國稅制の上に一大改革を行ふことが出來たのであります。地租の減稅の金額は平年度に於て千八十餘萬圓となるのでありますが、之れを宅地と田畑とに區分しますれば、宅地に於て五百四十餘萬圓の負擔增加となり、田畑に於て千五百五十餘萬圓の負擔減少となるのであります。

昭和五年度の決算に就て簡單に申述べたいと考へます。昭和五年度の財政計畫は昭和四年の秋に於て其の大綱を決定し、之れに基いて政府は豫算を編成し、之れを議會に提出致したのでありますが、衆議院解散の結果豫算不成立となつたのでありますから、實行豫算を編成して更に必要なる經費に就ては、特別議會に於て



追加豫算として協贊を經たのであります。然るに昨年の初めより襲來しつゝある世界不景氣の影響は益〻甚だしく、殊に五月に至りては生絲價格の急激なる下落等、財界の不況其の極に達し、從て多額の歲入減少を豫想せられましたので、政府は八月に六千萬圓の歲出の節約を申合せて、之れによつて歲入の不足の補塡に充て、尙其の後に於ても豫算經理に就て最善の注意を拂ひ、歲入不足を約八千萬圓と豫定して、之れに對し決算上過誤なきを期したのであります。然るに本年三月末の狀況に於ては、歲入不足は總計約一億二千萬圓と推定せられ、結局尙四千餘萬圓の補塡を要することが略〻明瞭となつたのであります。仍て政府は、震災善後公債四千八百萬圓を以て之れに充てることと致しました。元來我國に於ては、歲入不足の場合に處する特別の制度が無いのであります。最近十數年間、常に巨額の剩餘金を持つて居つた財政に於ては其の必要も無いのでありますが、今日の如く剩餘金が皆無でありまする狀態に於ては、歲入減少の場合には出來得る限り歲出を節約して、之れに對應することと致さねばなりませぬ。仍て政府は極力歲出の節減に努めたのでありますが、尙不足を生じましたので、恰も曩に公債の發行額を減

少する爲めに、帝都復興費及び震災復舊費を普通の財源に振替へておきました爲め、震災善後公債の發行に餘力がありますから、取敢へず之れを元通り公債財源に移すことと致した次第であります。右の如く歳入の減少に應じて歳出を節約することに努力したのでありますが、經濟界の變化は餘りに急激でありまして、歳入の減少は豫想外に多く、斯くの如く豫定外の借入金をなすことを餘儀なくせられたことは、財政の局に當る者として眞に遺憾に感じて居ります。

前述の如く歳入が極めて短い期間に激減したる結果は、從來の行政機關の上に相當の整理を加ふるの必要があり、又經濟界の急激なる變化の爲めに國民負擔の公正を缺くことを認めますから、行政、財政及び稅制の立直しを行はなければならないのであります。仍て政府は今後中央、地方を通じて行政、財政及び稅制の整理を決行し、國務執行の合理化を圖ると共に、國民の負擔を一層公正ならしむるに就き、一大努力を致したい考へであります。

偖て過日、濱口內閣は若槻內閣と更りましたが、財政經濟政策には何等の差異がありませぬ。金解禁の後始末として財政緊縮、財界の立直しを主要の政策とするのであります。



金解禁と兌換制度の關係を述べますれば、昨年一月金解禁後正貨は約二億四千萬圓を減少しましたが、本年の上半期の輸入期に於ては殆ど金の積出を見ず、却て一方には支那方面より其の輸入を見るの狀況であります。而して今日の貿易及び爲替市場の狀況より見れば、今後金の積出があるとしましても、決して巨額に上ることは無かるべく、又海外の我國市場に對する信用も確立しつゝありますから、先づ金解禁後一年有半の狀況としては滿足すべきものと信じます。

金解禁と兌換制度の狀況は右の如くでありまして、今後は財界の整理を完成して以て金解禁後の兌換制度が自然に運行せられ、財界自然の調節が行はるゝに至ることを期さなければなりませぬ。之れが爲めには財政の緊縮を持續することが必要であり、又財政の緊縮は財界の根本の立直しを促進する所以であると考ふる次第であります。

今日まで各種の事業に於て、內部の整理、生產の調節、生產費の低下等に就き相當の努力が拂はれたのでありまして、何れも生產費は可なり低下せられ、其の基礎の

確立せられたるものも少なくないのでありますが、併しながら我財界の實狀を見ますするに尙整理を徹底的に行ふ必要がありますから、從來の通り大決心を以て根本的整理立直しを完成することに努力しなければならぬのであります。固より現下の如き世界的不況の影響を受け急激の變化をなしたる我財界に於ては、整理を主要の方策として進むべきでありまして、積極的に不景氣を景氣に轉回せしめんとする如き方策のあるべき筈なく、斯かる方策は皆百害あつて一利無きもので あることは、世界諸國に於て實行したる成績によりて明かに證明せられた所であります。

此の財界の整理時代に於て最も必要なる事は金融の疏通を圖ることでありまして、財界の急變により各種の事業が金融に苦しむことは常に見る所でありますから、金融業者諸君の十分の注意と努力とを願ふ次第であります。之れが卽ち財界の破壞を防ぐ所以であり、又今日の整理完成は企業者が他日進出する素地を作る唯一の方法であると考へます。

一方、金融界の狀況を見ますするに、財界不振の爲め資金の需要が起らず、又物價低



落の爲め資金の所要額が減少しました等の事情に基き、最近金融は極めて緩慢であり、短期資金の金利は著しく低落して居ります。卽ちコール・マネーの利率と云ひ、大藏省證券の割引歩合と云ひ、非常に低落しました。之れが爲めに近時公債、社債、株式等の有價證券の相場も上つて參り、市債、社債等の發行も段々計畫さるゝに至つたのであります。之れを昨年の八、九月頃の財界の狀況と比較すれば、可なり大なる差異を認むるものでありまして、其の由つて來たる所を尋ねますれば、前述の如く各種企業の實質的の改善より來るものも多いことを認めますが、併しながら之れよりも寧ろ財界の恐怖心が取去られたる結果、人心が安定したることより來る所が多いのを認むるのであります。斯くの如き金利の低下、財界人心の安定は目下財界に於ける最大の喫緊事たる財界整理の進捗に寄與する所多く、大局の上より非常に歡迎すべき事項でありますけれども、又一面に金融の緩慢が有價證券の價格を財界の實際に卽せざる程度まで騰貴せしめ、却て財界の整理を妨ぐることは常に見る所でありますから、此の點に就き大なる注意を要することは勿論であります。又金融緩慢、金利低下は銀行の利益の減少を來し、此の間に處する銀

行業者の態度は最も愼重の注意を要するものでありまして、斯業界の災は多く斯くの如き場合に生ずるものでありますから、諸君の深甚なる御考慮を煩す次第であります。

次に世界不景氣と物價低落との關係を見ますするに、過去約一箇年半に亙り世界の物價は可なり急激に低落し、各國共に過剩なる物資の處分、失業者の增加等に苦しんで來たのでありますが、此の世界不景氣が今後如何に轉換せらるゝやは、固より何人も之れを豫斷することが出來ぬのであります。併しながら今日、世界主要國の物價指數は殆ど戰前の狀態に復しました。從て物價の動き方も最近は非常に變つて參つたことは、最も注目すべき現象であります。卽ち物價指數は、英國に於ては丁度一〇〇となつて、全く戰前に復歸しました。而して二月は一月に比べて〇・三の騰貴となり、三月は二月に比し〇・四の下落であります。米國に於ては指數は一〇六となり、戰前と殆ど大差無きに至り、二月は一月に比べて一・六の下落であつて、三月は二月に比べて〇・七の騰貴であります。我國に於ては指數は一二五・九となり戰前に餘程近づきまして、二月は一月に比べ〇・四の下落であつ



て、三月は二月に比べ〇・三の騰貴となつて居ります。此の數字を見て直ちに物價低落の趨勢が止んだと申すことは早計でありますが、少なくとも物價低落の餘地は極めて縮小されたと申して差支へ無いと考へます。從て世界全般の經濟界は餘程落著いて來、昨年の如く外來の悲觀材料の頻出することは少なかるべきことと信じます。

財界不況の時に當つて最も解決に困難なる問題は、中小產業者に對する金融と、不動產金融との二つであることは、私の屢、申述べた所であります。元來中小產業者は、財界の好景氣の時代に於ては最も早く良好なる影響を受けると同時に、財界不況の際にも亦最も早く打擊を受けるのであります。從て今日の如き場合に於ては非常に困難な地位に陷り、就中金融問題に就て最も苦しんで居るのであります。之れに對し政府は、預金部資金の運用によつて出來得るだけ金融の援助を致して居りますが、斯くの如き問題は、政府の力のみで解決することの出來ぬことは明かなことであります。仍て政府は貯蓄銀行法及び無盡業法を改正して、少額の保證貸付の途を拓き、又契約給付金を限度とする貸付制限の擴張を行ひ、日本勸業

銀行法、農工銀行法、北海道拓殖銀行法を改正して、農業者又は漁業者に對する十人連帶の無擔保年賦償還貸付を認むる等、法制の改正も行うたのであります。然るに普通銀行に於ても特に中小產業者に對する金融に意を用ひ、小口貸付を特別便利に實行して居るものもありまして、之れが爲め中小產業者の得る利便も多大であると考へます。尙今後に於ても、諸君の一層の御努力をお願ひする次第であります。

不動產に對する金融は兎角固定し易く、從て財界の變動に當つては常に多大の困難を生ずるのであります。我國に於ける不動產擔保債權の總額は、六十億圓を超ゆる巨額に達して居るのでありまして、此の不動產擔保債權の資金化の方法を講ずることが出來ますれば、我金融上非常なる便益を齎すのであります。今日、不動產金融に就き困難なる原因は、主として過去に於て不動產價格が異常に高價でありましたものが、經濟界の變動に伴ひ其の價格が著しく低落したことによるものがあると考へます。仍て政府は今回抵當證券制度を創設して不動產抵當附債權の證券化、流動化を圖つたのであります。世間一般に本制度の運用に慣熟するに至りますれば、我國不動產金融に就き、非常なる好結果のあることと考へます。又此の制度を立てますと共に、不動產金融機關である日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行に對し、抵當證券の賣買並に之れを擔保とする貸付を業務として認めたのであります。尙抵當證券制度は一齊に全國に實施することは困難でありますから、差當り市制施行地、借地法施行地に限つて實行することと致しました。併しながら地方農村の不動產金融を解決することは當面の急務でありますから、之れが對策として日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行の三銀行に於て、不動產を抵當とする債權を質とする貸付を行ふことが出來るやうに法律を改正したのであります。此れ等の改正によつて一般不動產金融の圓滑を圖ると共に、不動產に資金を固定して居る地方銀行に對しても、多大の便宜を與へることが出來ると考へます。而して其の實施も間もないことでありますから、諸君に於ても改正制度の運用に就き豫め十分なる考究を遂げられ、法律の目的を達成するやう格別なる御盡力を希望する次第であります。

# 地方長官會議に於ける訓示演說

（昭和六年四月二十七日　於內閣總理大臣官邸）

地方長官會議の開催に當り、所見の一端を述ぶる機會を得ましたことは、私の欣幸とする所であります。

今期議會を通過しました昭和六年度の豫算によりまして、倫敦海軍條約に基く軍備の補充計畫と國民負擔の輕減とが實現せらるゝに至つたのであります。減稅の種類は地租、營業收益稅、砂糖消費稅及び織物消費稅の四種でありまして、其の金額は、平年度に於ては二千五百六十餘萬圓となりますが、昭和六年度に於ては留保財源の年度割が少額である結果九百十餘萬圓となるのであります。今日の如き不況の深刻なる經濟界に對する對策として、減稅は最も有效適切なる方策であり、其の金額もなるべく多額なることを望むのは固よりでありますが、歲入激減の今日、此の程度の減稅に止むることは止むを得ざる所であります。



今回は減稅と共に地租の改正を行つたのでありますが、元來地租條例による地價は明治初年地租改正の際の調査を基としたるものにして、其の後部分的の修正はありましたが、全國各地目に亙り一般的に地價の修正を行はなかつた結果、地租の負擔は甚だ公正を失するに至りまして、之れを根本的に改正する必要に迫られて居つたのであります。是れを以て、大正十五年の稅制整理に際し、地租の課稅標準たる地價を賃貸價格に改むる計畫の下に土地賃貸價格調査法を制定し、大正十五年四月より二箇年の間、全國稅務機關の全力を擧げて賃貸價格の調査に當ると共に、地方當局の多大なる援助を得て、昭和二年末までに全國の土地賃貸價格の決定を見るに至つたのであります。而して當初の計畫では、昭和三年に此の賃貸價格を課稅標準として地租の改正をなす筈でありましたが、內閣の更迭等の事情により其の實現を見ず、今回始めて多年の懸案を解決して、我國稅制の上に一大改革を行ふことが出來たのであります。地租の減稅の金額は、平年度に於て千八十餘萬圓となるのでありますが、之れを宅地と田畑とに區分すれば、宅地に於て五百四十餘萬圓の負擔增加となり、田畑に於て千五百五十餘萬圓の負擔減少となります。

宅地租の增加は、地租の改正の主要の目的たる負擔の公正を期する上より、止むを得ざる結果であります。尙地租の改正に伴ひ、地租附加稅に就き各府縣市町村に亙り急激なる異動を生じますので、之れを七年間に整理することに致して居りまず。而して經濟界不況の今日、出來得る限り地方財政を緊縮し、負擔の輕減を圖るべきでありますから、地租附加稅制限の限度の遞增する府縣に於て、從來の賦課率を實際に增加する場合には、其の增收額を以て他の稅を輕減することとし、又地租附加稅の減少する府縣に於ては、每年度の遞減額は極力經費の節約によつて補塡し、其の代り財源を他の增稅に求めないやうに努められたいのであります。市町村に於ても右と同樣の事柄を生ずるのでありますから、管下市町村に對しては此の趣旨により指導、監督あらんことを望む次第であります。

昭和五年度の決算に就て簡單に申述べたいと考へます。昭和五年度の財政計畫は、昭和四年の秋に於て其の大綱を決定し、之れに基いて政府は豫算を編成し、之れを議會に提出致したのでありますが、衆議院解散の結果豫算不成立となつたのでありますから、實行豫算を編成して、更に必要なる經費に就ては、特別議會に於て



追加豫算として協贊を經たのであります。

りたる世界不景氣の影響は益、甚だしく、殊に五月に至りては生絲價格の急激なる下落等、財界の不況其の極に達し、從て多額の歲入減少を豫想せられましたので、政府は八月に六千萬圓の歲出の節約を申合せて、之れにようて歲入の不足の補塡に充て、尙其の後に於ても豫算經理に就て最善の注意を拂ひ、歲入不足を約八千萬圓と豫定して、之れに對し決算上過誤なきを期したのであります。然るに本年三月末の狀況に於ては、歲入不足は總計約一億二千萬圓と推定せられ、結局尙四千餘萬圓の補塡を要することが略、明瞭となつたのであります。仍て政府は、震災善後公債四千八百萬圓を以て之れに充てることと致しました。元來我國に於ては、歲入不足の場合に處する特別の制度が無いのであります。最近十數年間、常に巨額の剩餘金を持つて居つた財政に於ては其の必要も無いのでありますが、今日の如く剩餘金が皆無である狀態に於ては、歲入減少の場合には出來得る限り歲出を節約して之れに對應することと致さねばなりませぬ。仍て政府は極力歲出の節減に努めたのでありますが、尙不足を生じましたので、恰も曩に公債の發行額を減少す

る爲めに、帝都復興費及び震災復舊費を普通の財源に振替へておきました爲め、震災善後公債の發行に餘力がありますから、取敢へず之れを元通り公債財源に移すことと致した次第であります。右の如く歳入の減少に應じて歳出を節約することに努力したのでありますが、經濟界の變化は餘りに急激でありまして、歳入の減少は豫想外に多く、斯くの如く豫定外の借入金をなすことを餘儀なくせられたことは、財政の局に當る者として眞に遺憾に感じて居ります。地方財政に就ても、歳入の激減により非常に困難して居るのでありますから、諸君に於ては豫算經理に當り、十分注意を怠られざることを切望する次第であります。

一般經濟界の不況に伴ひ、國及び地方自治團體の歳入が短期間内に激減することは止むを得ざる結果でありまして、之れに應じて財政計畫を立つることは自然の成行であり、又斯くすることが財政の安固を圖る所以であると考へます。而して之れが爲めには、從來の行政機關の上に相當の整理を加ふるの必要があります。一方經濟界の急激なる變化の爲めに國民負擔の公正を缺くことを認めますから、行政、財政及び稅制の立直しを行はなければならないのであります。仍て政府は、



今後中央、地方を通じて行政、財政及び稅制の整理を決行し、國務執行の合理化を圖ると共に、國民の負擔を一層公正ならしむるに就き一大努力を致したい考へであります。本整理に就ては既に調査會の組織を閣議に於て決定し、其の調査を開始して居るのでありまして、中央政府及び地方自治團體各、の行政、財政及び稅制の整理を調査すると共に、兩者の分界、關係に就ても十分に考究の上整理致したいのでありますから、諸君に於て意見の存する所は腹藏なく開陳せられて調査の參考に供せられ、又整理實行に當つては十分に御盡力あらんことを切望する次第であります。

今期議會を通過しました抵當證券法及び各種の銀行關係の法規の改正等に就て申述べたいと考へます。此れ等の法律は、主として不動產金融及び中小產業者に對する金融の圓滑を圖ることを目的とするものであります。元來我國に於ける不動產擔保債務總額は六十億圓を超ゆる巨額に達して居るのでありますが、經濟界の變動に伴ひ不動產價格が急激に低落した爲め、不動產金融に就き非常なる困難を來して居ります。又不動產貸付は固定し易く、從て資金の供給圓滑を缺く

のでありまして、之れを緩和する爲めに、現在の制度に就て改善を要するものと認めましたので、抵當證券法を制定することと致したのであります。而して世間一般に本制度の運用に慣熟するに至りますれば、一般不動産金融に好影響があるのみならず、今日地方銀行が不動産に資金を固定した爲めに金融の圓滑を缺き、困難して居る狀態を改善することが出來ると考へます。又日本勸業銀行法、農工銀行法、北海道拓殖銀行法を改正して、此れ等の銀行に對し抵當證券の賣買及び之れを擔保とする貸付を業務として認めたのであります。尙抵當證券制度は當初より全國一齊に實行することは困難でありますから、差當り市制施行地及び借地法施行地に限り之れを實行することと致しました。併しながら地方農村の不動産金融を解決することは當面の急務でありますから、日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行に於て、不動産を抵當とする債權を質とする貸付を行ふことが出來るやうに法律を改正したのであります。

又今日の經濟界の不況に當り、最も困難を感じて居る中小産業者に對する金融に就き、政府は預金部資金の運用により出來得る限り對策を講じて居るのであります



が、尙今回貯蓄銀行法、無盡業法の改正により少額の保證貸付を認め、又契約給付金を限度とする貸付金額の制限を擴張し、更に日本勸業銀行法、農工銀行法、北海道拓殖銀行法の改正により、農業者又は漁業者に對し十人連帶の無擔保年賦償還貸付を認むることと致したのであります。諸君は常に地方銀行の狀況に就て意を用ひられ、又中小産業者の金融に就て苦心して居らるゝことと考へますので、此れ等の法律の改正の結果が完全に實現せらるゝやう十分御盡力を願ひたいのであります。

尙經濟界の現狀に就き一言しまするに、昨年の我經濟界は、何人にも殆ど豫想の出來なかつた程の急激なる變化をなしたのでありまして、五月頃より外來の悲觀材料は頻々として襲來し、八、九月頃には財界の不安其の極に達したのでありますが、其の間各種の對策も行はれ、又其の後は外來の悲觀材料も著しく減少しましたので、財界の不安も餘程除去せらるゝに至り、目下の狀況と昨年八、九月頃の狀況とを比較すれば可なりの差違を認むるのであります。而して此の急激に變化したる我國の經濟界の推移を回顧して精細に點檢しまするに、各事業に亙りて生産費

の低下せられたることは著しき現象でありまして、殊に其の内容の堅實なるもの及び其の經營者に人を得たるものは、生産費の低下に就て苦心、努力の跡を十分に認むるのであります。此の生産費低下は消費の減退、物價低落等、一般財界不況に對する方策として最善無二のものでありまして、之れによりて財界は安定し、又堅實となるのであります。併しながら多くの企業の中には、財政的に鞏固ならざる爲めに、又各種の事情に妨げられて其の整理徹底を缺き、未だ基礎の確立せざるものも勘なくありませぬ。從て今後に於ては此れ等企業の徹底的の整理、合理化に向つて邁進し、財界根本の立直しを完成しなければならぬのであります。

現下我國の經濟界は非常に重大なる時期に遭遇して居るのでありまして、此の時期に於て更生の途を講ずることに專念しなければならぬのであります。卽ち政府の財政に就ては緊縮方針を持續して其の基礎を確立し、又一般財界に就ては根本的立直しを完成して其の安固を圖らねばならぬのであります。其の方策を謬りたる爲め經濟上の混亂を來し、其の結果終には社會上の不安をも惹起するに至りたる事例は、現に一、二の國に於て之れを目擊する所であります。仍て此の點



に就き、最も愼重なる考慮を廻らさねばならぬと考へます。又此の際積極政策を採りて不景氣を景氣に轉ずる策を講ずべしと主唱する者もありますが、現下の如き世界不況の影響を受け急激の變化をなしつゝある我財界は、整理を主要の方策として進むべきでありまして、積極的に不景氣を景氣に轉回せしめんとする如き人爲的の方策のあるべき筈なく、又斯かる方策は皆百害あつて一利無きものであることは、世界諸國に於て實行したる成績によりて明かに證明せられた所であります。諸君に於ても十分此の點を考慮せられ、其の趣旨が一般に徹底して財界の根本的整理の完成するやう御援助を願ひたいのであります。

# 第十回 全國無盡集會所定時總會演說

（昭和六年四月二十七日 於東京生命保險會社協會）

## 一

本日は全國の無盡業の總會に御招待を蒙りまして、私の所見の一端を申述べる機會を得ましたことを誠に感謝致します。

無盡業の改正を前議會に企てまして、都合好く通過したのであります。一方から申しますと、無盡業關係の諸君の御希望もありましたやうに承知致しますが、一方から申しますと、現在の最も困難と致して居ります中小産業者の金融を圓滑にするため改正したやうな次第でありまして、無盡業の外に貯蓄銀行にも改正を企て、其の外、勸業、農工、北海道拓殖銀行等に於きましても、之れを實行される諸君が其のお考へにならなければ、其の效果をあげ得ないのでありますから、私から過去に於きましても度々お願ひしたのでありますが、此の機會に於て重ねて諸君にお願ひしておきたい次第であります。

中小産業者の金融は、言ふに易くして行ふに非常に難いのであります。御承知の如く、過去の貴族院に於きましても決議案が出ました。議會の討論の場合に於きましても、衆議院に於ても、可なり此の點に就て非難があつたのであります。口で言ふことは頗る易いのでありますが、其の實效をあげることは中々困難な事であります。事態そのものが非常に困難でありまして、中小産業者が必ずしも金融機關から援助を仰いで居らぬ。又それ以外の中小産業者の金融機關を目的として居る貯蓄銀行或は無盡等からも仰いで居らぬといふやうな狀況が多いのであります。左樣な本來の性質である中小産業者が、今日の如き經濟界の狀態に遭遇したのでありますから、困ることは非常に困つて居るのであります。此の點に就ては最も同情をして、何か方法があるならばといふことで、頻りに研究をするのでありますけれども、所謂何と申しますか、過去に於て途が開けて居ない。斯ういふ事を申してよいのであります。銀行家から資金の融通を仰いで居る譯で

はない。或は庶民金融機關の諸君の關係して居るものから、主として仰いで居る譯でもない。殆ど斯ういふ風の事態になりますと、所謂組織的に之れに對する設備をして、此の時局を過して行くといふことは餘程困難であります。從て大藏省に於ては、預金部から出來るだけ組合等を通して金を出さう、斯う考へて居るのであります。それはどういふ事かと云ふと、新しき庶民金融機關をこしらへても間に合はぬ。出來るならば從來相當の基礎を持つて居る信用組合等によつて、と斯う考へて見ると、信用組合自體の事情からして、餘りこちらの目的を達し得ないこともあります。之れには種々樣々の內部の故障もあつて中々容易に出來ない。それならば新しく此處に信用組合をこしらへて見ようといふことを考へて、それに著手して見ましても中々目的を達しない。さういふやうな事態でありまして非常に困難であります。又一方には或特殊の機關ばかりによつて、此の目的を達するといふことは到底不可能で、凡ての機關によつて目的を達するより外にないといふことを考へ、諸君にも御依賴をし、貯蓄銀行當局者にも說明をし、法制も變へると同時に普通の銀行にしても、非常な關係があるのでありまして、日本全國の銀



行業者に向つても此の事態を述べて、之れに對する對策を考究するやうに私からも度々述べて、其の點に就きましては今日では餘程其の考へになつて居ります。又實績もあがつたところもあります。何も特殊に中小產業者の金融を特別に施設をする必要も無いので、其の心持で地方等に於きましては實行致しますれば、當然效果のあがることでありまして、此の點に就ては私は日本全國の銀行業者に非常な感謝をして居る次第であります。左樣な風で從來の機關を通して此の目的を達しよう、此の機會に中小產業者の金融の狀態を一つ改善して見ようといふ考へを以て、過去一年間やつて見ましたが、中々思ふやうに參りませぬ。尙此の點に就きましては、法制の改正も出來たのでありますから、大藏省に於きましても、此の後絕えず此の點に就ては努力をする積りでありますし、又諸君に於きましても無盡業法、其れ以外の點に就て斯やうにしたならばといふやうなお考へもありましたならば、遠慮無く知らして戴くことが出來るであります。

日本のみならず世界各國に於きましても、此の庶民金融といふことは非常なむづかしい問題であります。非常に必要な問題であると同時にむづかしい問題、—むづかしいといふことは數が多いといふこと、信用の少ない人が金を借りるといふことでありますから、貸す方から云へば數が多くて口が小さくて、さうして相手方は擔保物が無い、寧ろ對人信用であつて、其の日常の業務の監視、監督をする必要がある、所謂骨の折れる仕事であります。のみならず、過去二十箇年と申しますか、十七、八年か、歐洲大戰爭後の如く、斯う世界の金融狀態、經濟狀態が變つて、物價が上つたり下つたり致します場合には、最もむづかしい仕事であります。一つの例をとつてお考へになつて御覽になると、今度商工業者でこしらへた、或は貿易輸出組合、或は工業組合とかいふものはまだ〳〵餘程金融の途はつき易いのであります。併しながら市街地に於ける小賣業者、店に僅か何百圓乃至何千圓位の品物を並べて居りますものを一々に勘定して、其の事態を考へて見ますと、金融を與へるといふことは餘程困難であります。併しながら斯やうな日本の經濟狀態から云ふと、此の種類の中小の產業者といふものが、國の健全な發達を希望する上から云



ふと非常に必要な事柄であります。何とかして之れを健全に發達せしめたい。金に困る場合は、貸す人の損にならぬ程度に於て、骨折つたら出來るやうな事があるならやつて見たい。斯ういふ精神は十分あります。併しながら中々十分な途が見つからぬのであります。貴方がたは日常此の方面に就て非常に苦勞されて居る方々でありますから、どうぞ一つ遠慮無く意見がありましたならば教へて戴けば喜んで承りまして、其の途を講じます。

## 二

尙無盡業には直接關係無いかも知れませぬが、今日は折角此の機會に參りましたから、全體の日本の經濟上の狀態の段々に移り變つて行きつゝあることを、一つお話して見たいと思ひます。

昨年の九月、十月位と只今の日本の經濟界は大分相違があります。之れは皆樣も十分お認めになつて居ることだと思ふ。之れは根本の良くなつた所もあります。又一方から云ふと、昨年の九月には非常に國民全體が恐怖心に驅られて居つたが、其の恐怖心が今日は取去られたから、斯やうに昨年の九月頃と今日と餘程違

つて來たといふ二つの原因があります。昨年の九月に何故左樣に惡かつたか、それがどうして今日實質的に、又精神的に二つの方面から斯う變つて來たか、斯ういふ事に就て、私の見る所を申上げて見ようと思ひます。

昨年の正月位から段々日本の狀態は變つて來て、世界中の狀態も變つて來たのであります。非常な議論があります。一昨年位から世界の不景氣が來ることは分り切つて居つたのである、それが分らぬやうなぼんくらは役に立たぬものであるといふ非難もあります。併しながら知らないこと、先の見えなかつたことは人間にあり勝の事であつて、隱すこともなく申上げますと、昨年から段々世界的に不景氣が來るが、去年の五月から九月まで來たやうな經濟界の急激な變化があらうとは、吾々は分らなかつたのです。恐らくは後から過去の事を考へて見るとはつきり分ります。置いた物を取るやうに、後から前の事を見ればよく分りますが、偖て昨年の一月から三、四月位まで毎日斯う變化して行く所に立つて、流れの中に立つて先の事を見渡して見ると、左樣に今から考へるやうに、はつきり分らなかつたのであります。併しながら事實としては、五月位から極端に來まして、日本の生絲がうんと下る。千圓以下に段々下つて來て、結局五百圓臺までも五月から九月位までの間に下つて來たのであります。其の間に他の世界的商品で日本に現實に輸入される品物、例へば棉であるとか、或は南洋の護謨であるとか、或は鐵であるとか、或は日本に最も關係のある銀の値段といふやうなものが、四月位から、最も激しいのは五月からでありますが、それが九月までずつと下つて來た。それによつてどういふ風に日本の全體に響いたかと云ふと、今日生絲が下れば明日は棉の値段が下る。或は同時に銀の値段も下れば米の値段も下る。或は印度に內亂が起るとか、或は歐羅巴諸國に非常な失業者が殖えるとか、或は亞米利加の有價證券がうんと極端に下るとかいふやうな事が、二つも三つも一緒になつて吾々の耳に這入ることもある。又實際は自分の取引をして買つて居る品物が、これも下ればあれも下るといふやうな風に、其の間にずつと下つて來たのであります。そこで其の間にどういふ事が出來たかと云ふと、一番極端に目につくのは、此の調子で何もかも下つて來たならば、何處まで一體世界の經濟界の狀態は變るであらうか。斯ういふ事を考へて、非常な恐怖心に驅られたのであります。卽ち恐怖心に驅られた

といふことはどういふ事かと云へば、實際の悪い狀態よりは精神的に悪く感じた。斯ういふ事が九月、十月までにはうんとあつたのであります。それが十月初めまでの狀態でありまするが、そこで其の間に實際的に、それならばどれだけ日本の經濟界は其の頃と今日とを比較して見たら良くなつて居るか、斯ういふ事を調べて見ますと、之れは貴方がた直接の御關係の無い事でありますが、日本に於て大小の企業を問はず、生産費が昨年の五月から今日までにずつと非常に下りました。原料を除いて——外國からの原料の下ることは勿論でありまするが、原料を除いて非常に生産費が下つたのであります。或ものになりますと、私が實際調べて居るものには半値になつて居る生産費もあります。併しながら平均を致して見ましたならば、事業そのものの非常に堅實なもの、内容の堅實なもの、具體的に云へば借金で困つて居らない事業であつて、經營者に其の宜しきを得て居るものならば、恐らくは今日では少なくとも二割五分、多いものは三割から三割五分位の生産費が下つて居ります。其の狀態を見るといふと、想像して理想的に考へて何とかして生産費を下げなくてはならないといふことを考へて居つても、實際に此の狀態に



遭遇せぬと生産費は下らなかつた。勞働賃銀を下げることも、勞働者を解雇することも、其の他非常な苦勞をして所謂冗費を省くことが、到底平時の場合では出來なかつたのが、左樣に出來たのであります。併しながら今申します事は内容の比較的堅實なもの、人の非常に宜しきを得て居るものであります。其の點になりますと、日本の不景氣に對する對策と致しましては、世界各國に比較して決して劣る所は無いのであります。根本から考へて見て、不景氣が來た、不景氣に對する對策としては何事をすれば一番宜しいかと云へば、不景氣に對して自己のやるべき事、他人のやるべき事は、貴方がたの希望もあらう、色々と政府當局者のやるべき事もありませうが、事業家、物を經營して居る人の自らやるべき事は何かと云ひますれば、不景氣に對する對策を講ずるのである。不景氣と云へば何か、物が安くなつた、買手が少なくなつた、斯ういふ事であります。大體申しますと、物が安くなりましたならば、自分の物をそれに應じて安く拵へるより外には途が無いのであります。買手が少なくなつたならば、急場の處置としては生産調節をして、さうして物を安くしておいて段々需要を喚起する、それで行くより外には途が無いのであります。

それより外に何も不景氣に對する對策は無いのでありますが、只今私が言ふが如く、左様なものは實質的に日本の經濟界が改善した證據であります。それ以外に、内容が不堅實で借金が多くて困つて居る會社、事業又は當業者に宜しきを得ないものは、相當に生產費は自然の大勢によつて下つたものでありますが、私に云はせると、思ひ切つてどうしても出來て居らぬ、生產費を十分に下げることが出來て居りませぬ。併しながら今日の事態でありますから、相當には出來て居ります。出來て居りますが、今の如く完全に出來た所と、不十分で徹底しない所とありますが、其れ等にしても事業の調節をして此の時代相當のことが出來て居りますから、相當の改善はされたと思ひます。それが實質的の改善であります。品物を擧げますれば、各種の商品に亙つて左様なものは澤山あります。非常に物が安くなつて居るが、それでもどうか斯うか今日儲かつて居る商品が可なり澤山出來たのであります。それなら精神的の方はどうか、斯う云ひますと、九月、十月位までになりますと、今度は世界から餘り頻々として悲觀すべき材料が來なくなりました。これが今日下る、明日これが下る、或は同時に惡いものが頻々としてやつて來たものが、



十月初め位から餘程少なくなりました。貴方がたが新聞をひろげて御覽になつても、一方には惡いものが來るが、一方には又好いものも來るといふやうな風に段段變化して行つた爲めに、大體云ふと、十月の初め位までは此の調子で行つたら何處まで行くのか、世界中潰れてしまひはせぬかと思ふ程の事態であつたのが、稍さうでもない、左様に悲觀すべきことでも無いといふ考へが段々出て來た。其の傍ら、只今云ふ如く實質的の改善をされて採算が出來る、出來れば株の値段もはつきりして來る、商品値段も、仕入れておいても左程値段も下らぬであらうといふやうな見込が立つて來た爲め、昨年の十月初めと今日とは餘程違つて居ります。それは、併しながら一方から云ふと、實質的の改善から云へばそれで宜しいが、今の精神的に恐怖心が無くなつたといふことは、實際の經濟狀態には、惡くなつた時も何等の影響は無い、好くなつた今日と雖も何等實質的には關係して居りませぬ。併しながら此の經濟界といふものは、さういふ風に動くものであります。人間程四圍の事情に影響されるものはありませぬ。私は銀行屋育ちだから銀行者諸君をよく批評致しますのに、銀行者位自分の影に驚いて世の中に一生涯を暮す者は無い、

といふ風に私は感じて居る。西からでも東からでもよいが、陽の入る頃に自分が田圃の道に立つて歩きますと、自分の影は始終長く映りますが、自分が走れば影も走る、影も走るから自分も一生懸命に走るといふやうな事が始終あります。之れは、經濟界に生ずる現象が何時でもさういふ所から來ます。金利を下げる、彌が上に金利を下げるのは金融業者であります。物が下ると云へば、彌が上に下らぬでも宜しいものまでも下げるのは其の當業者であります。上る時も或は左樣な事態を惹起するのでありますが、其の事柄が何時でも經濟界の重要なる狀況になるのでありますが、兎に角昨年の九月位と今日とは餘程違つて居ります。

## 三

それならば世界の大勢はどうなるか。これから先、日本はどうなるか。斯う考へて見ますと、日本の事態から先に述べれば、只今言ふ如く最早此の事態で生產費を下げ得ない程徹底的に下つて居るものがありますが、今申す如く可なりまだ不徹底に殘つて居るものも澤山あります。貴方がたは私からさう云はれて、一つ貴方がたの持つて居られる株なり、關係者の持つて居られる事業なりを考へて御覽になると、もう何とかしさうなものであるが、うつら〳〵何等の處置をせずに、今日まで過ぎて居る人もあります。之れを此の際どうしても一つ完結しておかぬと、日本の此の不景氣は直らないのみならず、次の不景氣が來たときには、さういふ人は一番難儀をします、落伍者になります。何故かならば、今日物價を下げます。假に綿絲なら綿絲をとつて、一俵三十圓なら三十圓で生產費が出來て居る、それが五十圓のものが三十圓に下つたと斯うします。經濟界は終始動いて居りますから、今度經濟界の動きが來た場合に、二十圓だけは其の事業は安全である、儲けが殖えて充實して居ないし、又人其の人を得て居らぬから、其の生產費は下らずに段々經過して行くとしたらどうであるか。斯う考へて見たならば、經濟界の動きが段々上向いて來た場合には、左樣なものは到底整理の出來る時代は來ませぬ。物が落ちて行く、物が底に沈む時代であればこそ世間と共に動いて行くといふことで、種々樣々の整理も出來ますけれども、今度一朝經濟界が多少上向いて來た時代には、決して出來るものではありませぬ。人が承知致しませぬ。さういふ事は貴方がた

が個人としての暮しに於て、はつきり了解されて居ることと思ひます。世界の大勢を考へて見ても、何處の國と雖も生産費を下げて世界的商品として競爭が出來るが、其の生産費が下らずにおいて日本全體の經濟界が好くならう筈はありませぬ。それからもう一つ云ふと、それならば政府の財政はどうか。斯う考へて見ますと、今日民間の經濟の立直しを完成しよう、斯ういふ場合には、政府の財政の方針といふものは、一方から云へば、依然として從來の方針を守つて行くより外ありませぬ。一方から云へば、今日は經濟界が不況である。不況であるならば歲入がうんと減ります。減つた歲入に應じて政府自體の暮しを立てて行かなければなりませぬ。歲入は減つたが暮しは多い。多くして行つたら何處の國でも何處の人間でも潰れます。さういふやうな狀態である。それから世の中といふものは、人は空氣に制せられるものである。四圍の事情に一番影響を受けるものは人間であります。從て政府唯獨り積極政策を採つて、民間の方は一つ財界の立直しの整理をなさい、貴方がたは大いに徹底的に整理をなさい、私は一つうんと積極政策を採つて、借金をして樂をしますからといふことでは、世



間の人が動きませぬ。さういふ事で、決して世の中といふものは動くものぢやありませぬ。御主人一人贅澤をして外に行つて道樂をして金を十分使つておいて、家に歸つて內の臺所だけを締めろと云つても、中々家族の方が肯かぬと同じことであらうと思ひます。例は惡いけれども、私は國と國民とは共生きでないと出來ないと、斯う考へて居る。精神の入れ所がさうならなければ實效があがりませぬ。それで吾々は、今のやうに考へて居ります。經濟界は變ります。惡い事が常に何年も何年もと續く氣遣ひはありませぬ。好くなつた時代の事を考へて見ると、自分が只今のやうに財政を堅固にしておく、經濟を立直しておくといふ事が一番安全な策であつて、それでなくてはならない。又一方から云ふと、國の財政が堅固になつて、經濟界のものが生產費が下つて整理が整うたならば、其の國だけでも不景氣は景氣に直ります。外國に賣る物は、外國が景氣が好くなりませぬと日本の物をうんと買つてくれますまい。併しながら內地だけの事を考へて見ますと、此の經濟界に對して生產費を下げる、さうして整理をしておくといふことが將來に備へる唯一の途であつて、同時に此の時代を改善せしむる途はそれより外に無いと

考へるのであります。外國の狀態を私が簡單に申述べますと、日本とちつとも變りませぬ。日本と外國の事態とを比較して見たならば、日本が少し好いとか外國が惡いとかいふことは恐らくはありませぬけれども、九月、十月に日本が不安の極に達したといふことの原因は何處にあるかと云へば、世界各國の商品がうんと下つて、それが日本に直接、間接に影響を與へて居るのであります。卽ち他の國では物が下つて困つて居る。其の下つて困つた事態が日本にも及んで居るのであります。さうして何處の國でも昨年の十月位までが一番困つた所であります。さうしてますから、其の結果がどういふ事になつて居るかと云へば、物の値段から云ふと、昨年の十二月までが一番物價がずつと下りました。亞米利加で云へば、戰爭前の高い時を一〇〇とすると、一〇五とかいふ所まで下つた。英吉利はきちつと一〇〇まで下つて來た。日本は今百二十幾つまで下つて居ります。それで一月、二月、三月になるとどうかと云へば、下つても下る率は殆ど僅かであつて、三月になると日本もさうですが、英吉利も亞米利加も、寧ろ物價指數から云ふと、少し上り側になつたのであります。下りましても一月から三月までは誠に僅かで、上つても僅かであります



が、下る大勢は止まつて居ります。卽ち吾々が云へば、これ程まで世界の物價が下つて來た。これから先は物が縱し下つても下る幅は非常に狹くなつたぞといふことを、私は一月の議會に申しておきましたが、矢張り事情はさういふ風に推し移つて來て居ります。それで亞米利加でも斯ういふ事を云つて居ります。亞米利加で云ふと、日本よりか寧ろ幾らか惡いのでせう。亞米利加で云へば、具體的に昨年と今年と比較してこれ程好くなつたと云つて指摘し得る事柄は餘程少ないのである。併しながら一體に、亞米利加人の考へが餘程好くなつて居る。好くなつて居る反對から云へば、私が此處に云ふ如く、昨年の十月にあつたやうな恐怖心は亞米利加ではずつと取去られて、尙恐怖心が取去られたと云ふだけでなしに、積極的に各國民の考へが餘程愉快になつて居る。斯う云つて居ります。日本でも、さう亞米利加のやうに說明して見ると、日本も殆ど同じかと考へます。今どれだけ此處に好くなつたといふことは云ひ難いが、物價が下り生產費が下つて、此の上生產費が下り得ない、之れでもう世界各國と競爭が出來るといふ所まで行つた。確かに之れだけ具體的に改善されたと申して宜しいのでありますが、左樣なものは

日本にあります、可なり多數あります。それを見ると、或は亞米利加よりは幾らか好いかも知れませぬ。英吉利に於ても殆ど同じであります。最近の獨逸の事情は寧ろ却て好くないでせう。亞米利加、英吉利よりも、獨逸は寧ろ却て困難をして居ります。之れは最近非常に獨逸は金に困つて居る、資金に困つて居るのであります。日本は金融緩慢で困つて居るのでありますが、獨逸は資金に不足を生じて非常に困つて居るのであります。それが英、米と違ひます。違ひますだけ、獨逸は少し惡からうと、吾々は考へて居ります。

## 四

左樣な風でありますから、世界と日本とは大體云ふと同じことと見て、日本がどれだけ違ふかと云ふと、これは私の說ではありますが、何も證據立てられた說ではないからして、或はひよつとすると私一人の私見に止まるかも知れませぬが、經濟界が英、米、獨と比較すると、日本の經濟界は小さく、狹いのです、それから非常に單純であります。假に英吉利、佛蘭西、獨逸で云ふと、金利が安ければ直ぐに其の日でも金が出て行く、佛蘭西の金が英吉利にも行けば、英吉利の金が佛蘭西にも行くといふやうな



次第でありますが、日本は非常に單純で、日本の市場は日本だけの市場、斯ういふ事でありますから非常に小さくて狹い。經濟界には、不景氣が外部から來ますと、廣い他國の經濟界よりも逸早く餘計な影響を受けます。それは確かであらうと思ひます。其の代り、狹くて小さいからして、好くなる時は恐らくは亞米利加や英吉利や佛蘭西、獨逸よりも先に影響を致します。さういふ事は之れまでも經驗して居る所でありますが、私は今日でもさう考へて居る。さう考へて居るだけ、日本の經濟界には影響が敏速に來ますから、今の整理の殘りの品物があるならば早く片附けておかなければ今に出來なくなるぞ、斯ういふ事を私が頻りに聲を大きくして唱へる所は其處にあります。英、米、佛、獨等は其の點に就ては大變違ひますから、其の事を考へて居るのであります。從て先づ今の狀態で行きましたならば、私は、左程急激に此の不景氣が景氣になるやうな時代も來ますまいけれども、世界の大體の大勢から云ふと、左程今後惡くなるであらうといふことは無いと考へて居る、段々好くなるのぢやないかと思ひます。併しながらよく斯ういふ事はありま す。日本でも株が一箇月、二箇月の間に段々上つて行きますけれども、今日上つた

株が明日下る、又明後日も下る、今度は上る、其の時々に變化するのであります。今日の亞米利加の事情は其の通りであります。段々好くなつたが、好くなつて居ると又ひよつと下つて、之れまで伸びただけが一度に縮むやうなことがあります。之れは經濟界に常にある事であります。併し亞米利加の株も幾ら宛か好くなりつゝあります。棉の値段の如きも、一時から見ると可なり好くなつて居ります。さういふ事でありまして、長い間の大勢を見て行はれなくちやならぬのであります。まあこれから先は餘程むづかしい時代であらうと思ひます。貴方がたの中にも、さういふ御意見がありませう。よく世間で聞きます。何か手品使ひ見たやうな名案があつたならば、此の不景氣が景氣になるやうな案がありさうなものだ、さういふ事をやらなくちやいかぬ、といふやうな議論が中々あります。併しながら物は斯ういふ事を考へなくてはいけませぬ。人間の力といふものは、天然自然の力に反した場合は非常に力の弱いものであります、天然自然の力に乘つて行くときは、人間の力程強いものはありませぬ。さういふ事を誰も考へてゐかなくちやならぬのであります。世の中には伸びることもあれば縮むこともある。經濟



界の常に經驗する所でありますが、伸びる經濟界の時に縮まつて損した例は澤山あります。其の代り、縮むべき時に伸びようとして見て損をした者は殆ど全部と云つても宜しいのであります。其處のところは、これ程世界中の人が寄つて人氣ある市場を造つた場合に、其の人氣ある市場に逆らつて物を計畫するといふことは殆ど出來ませぬ。一つ土臺を變へてゐかなくちやならぬ。貴方がたが昨年の五月から十月の初めに非常な恐怖心に襲はれて毎日のやうに沈んで行く場合に、神樣であらうとも、どんな人間であらうとも、之れは大丈夫であるなんて言つても人が耳に入れるものぢやありませぬ。それなら一度何か好くなつた時、大勢がわつと伸びて行く時に、又之れを縮めるといふ事も非常に困難でありませう。これは人間のこしらへて居る社會でありますから、經濟といふことは人間を本にして計らつて行くのでありますから、其處が非常にむづかしい所であります。從て吾吾は、今日は世界中が惡くなつた、日本も惡くなつた、惡くなつた時に無盡業法では、無盡業でも宜しいが、茲に無いものをこしらへて居る人の事を一つ拾ひあげて考へて見ると、どうすれば一番宜しいかといふことを考へると、私は抽象的に云へば、

今日は、昨年の正月位から今日までずつと經來つて居る所を仔細に點檢して見ますと、整理をすべき時代で物を片附けて行く時で、此の時代に應じてやるべき時であります。さうしておいて生產費を下げ、無駄を省いて、さうして自己の仕事が自立するやうにちやんと押へて行けば、時勢が轉換して來れば、非常に從來よりも利益率が殖えます。さういふ事が今日最も適當である。それには、今日は、整理時代に物を破壞しまいとするのには、金融といふことが一番大事であります。金融の疏通を圖らんければ、整理時代には潰さぬでよいものが潰れます。あの時に何とか金融しておけば潰れなかつたといふやうな仕事が澤山あります。つまり今日は世の中が開けて、昔のやうに錢を抱いて饑饉が來たら餓死したといふやうな時代ではありませぬ。金があれば米を買つて食つて、餓死せぬでもよいだけの設備は出來て居る時代であります。併しながら今云ふ如く、世界の人間が寄つて此の經濟界に對する强い空氣をこしらへた場合には、將來に於て生きる仕事であるか死ぬ仕事であるかといふことの見極めが非常につき難い。其の場合に、斯やうな時代に金融の疏通を圖つて生きるべきものならば生かさなくてはならぬ、いけないものなら半分にしても生かすか、三分の一にしても生かしておかなくちやならぬといふのが、今日のやうな時代であらうと、私等は考へて居ります。唯先刻云ひかけた何か非常な名案を出して、不景氣が景氣に直るやうな事を出せ、出されなくちやいかぬといふ說がありますが、誰か非常な大人物でも出て來て、此の世界の景氣を變へ得るならば左樣な名案も出ませう。併しながら今日の世界の空氣では左樣な事は、私は出來ぬと思ひます。人爲的にやりますことは非常な害が殘つて利益がありませぬ。世界各國で皆やつて見た。殊に亞米利加大統領のフーヴァーといふ人は各種の試みをやつて見て、一つも成功しなかつたのであります。一つも成功せずに、就任當時あれ程の人氣があつたフーヴァー先生も、何もやらずにおいたならば亞米利加の改善も早かつたものを、今日は各種の救濟策を講じてそれが皆不成功に終つた。害だけが玆にずつと殘つて來て居る。それで以て非常に困つて居るのであります。それであります、不景氣を景氣に變へるやうな人爲策を見附けようとしても、中々今日の世界の大勢から云ふと無いのみならず、世界の强國が試みて皆失敗をして居るといふことだけは、貴方がたも御承知を願

ひたい。今日は、經濟界で云ふと非常に日本は重大なる時機であります。獨逸の如きは、經濟上の窮迫からして政治上非常な不安を生じて、其の不安が今日經濟上に及んで、英、米、佛よりも獨逸は今日うんと困つて居るのであります。

五

西班牙の改革、之れは軍閥跋扈の爲めに斯やうな事になつたのであります。必ずしも經濟上の事が唯一の原因ではないのでありますが、日本が金の解禁をしたにも拘らず、西班牙は相變らず金の解禁をせずに、爲替相場で非常な變動を起して、外國の銀行の援助を求めんければならないやうな事態を惹起しました。恐らくは左樣な一般人心に與へた不安は、今般の大革命の原動力となつて居ることを想像するに難くないのであります。又私が何時も例に述べます濠太剌利の如きは、最近の事情で申しますと、殆ど濠洲全體が收拾すべからざるやうな事態になつて居ります。之れはどういふ經濟上の政策を採つたかと云へば、物の値段を下げることがいやだ、勞働賃銀を下げることもいやだ、失業者をこしらへることもいやだ、斯ういふやうな政策を採つた。外國から安い物が來るから、それを防ぐ爲めに關



稅を上げる。失業者が出來るのがいやだから、政府が儲からない鐵道を架ける。鐵道を架けようとするのには、公債をうんと募らなければ鐵道は架けられない。さういふ事をして失業者の無いやうに、勞働賃銀の下らぬやうに、物價の下らぬやうにだけは成功したのであります。今度濠洲から外國に出す物は、世界の事情からして世界なみにうんと下げて來て、さうなつた結果はどうかと云へば、外國に於ける公債の利息が拂へなくなつたのであります。內地に於ける財政窮乏の結果、內地の公債の利拂も出來なくなつたのであります。其の結果、濠洲の一ステートであるニュー・サウス・ウェールスでは、今後外國に公債の利拂は一切せぬといふことを發表して、最近世界の市場たる倫敦で大騷動をしたのであります。其の結果左樣な信用を落してはならぬといふことで、聯邦政府で此の利拂を止むを得ぬからすると言ふ。そんなら內地ではどうかと云へば、ニュー・サウス・ウェールスでは自分が獨立するといふやうなことをして、之れは全く經濟上の關係からして、社會的にも或は政治的にも殆ど收拾すべからざる所まで行つて居ります。さういふ事を考へると、今日の日本は非常な重大な時機であつて、此の時局に於ては國民全

體が一つ生れ更り、これまでの日本の經濟は嘘であるから、これから世界の大勢に應じて生れ更らうといふ自覺心を起して、大奮發をせんければなりませぬ。さうしないといふと、今云ふ如く、世界各國の經驗をして居る如く、經濟上、社會上、政治上に及ぼして收拾すべからざるやうに至る虞れがあるのであります。昔と違つて今日は、國民の食ふとか著るとか、金といふ問題が一番ひどく刺戟する問題でありますから、出來もしないやうな名案を出しても、それは行はれない。唯徒らに國民に容易い姑息的な一時の考へを起さすに過ぎませぬ。害があつて益が無いのでありまます。日本の經濟界は非常な重大なる時機である。斯ういふ事を一つ御了解下さるやうに、私は切に願つておく次第であります。餘り氣焰を吐いて大變長くお喋べりを致しまして、甚だ相濟みませぬ。

五三一頁＊印以下二行の意味稍不明なるも速記の儘となしおきたり。



## 第三十回 關西銀行大會演說

（昭和六年十一月二十五日於大阪中央公會堂）

關西銀行會第三十回大會の開催に當り、財界の有力者諸君と相會し、所見の一端を述ぶることを得ますのは、私の誠に欣幸とする所であります。

例年でありますれば、今頃は已に明年度の豫算の大綱は確定致し、諸君に御說明申すことが出來る時期でありますが、本年は財政、行政の整理、稅法改正の調査等の爲めに豫算の編成が遲れて居りまして、本月二十一日に漸く昭和七年度の歲出豫算だけが確定致したやうな次第でありますから、此處には唯來年度豫算の大體に就て申述べます。

世界各國經濟界の不景氣は容易に恢復の曙光を見ざるのみならず、本年九月には滿洲に於て日支間に紛爭事件が突發し、又殆ど同時に英國の金本位停止の如き豫期せざる重要事件が起りましたので、我國の經濟界は多大の打擊を受け、相當困

難なる立場に立つて居るのであります。斯くの如き經濟界の實情は直ちに政府の歳入に影響を與ふるのであります。政府は曩に昭和六年度歳入の實績は豫算より相當減少することを免れざるを認めましたから、之れに對應する爲めに、事務費の節約を行ひ、事業を繰延べ、又一般物價低落に伴ひ官吏の俸給を減額して極力歳出を節減し、八月に各省の歳出の節約額を決定しました。其の金額は、一般會計に於て總計四千三百萬圓に達します。然るに、滿洲事件及び英國の金本位の停止が行はれたる九月以降の狀況に於ては、租稅、官業收入等の減少は更に著しきものがあります。從て昭和七年度の豫算編成に當つても、歳入の見積に於て多額の減少は免れざる所であります。

右の如き歳入狀況でありますから、昭和七年度の豫算編成に當つては、歳出に於て多額の節約を必要とするのであります。故に政府は大いに努力を致し、財政、行政の整理をなし、官吏の減俸、恩給法の改正、省及び局、課の廢合、人員の整理を實行し、其の結果昭和七年度に於て六千九百萬圓を節減し得たのであります。此の整理額は豫期の金額に達しなかつたのでありますが、併しながら濱口内閣の組織せら



れたる昭和四年度以來三年間に亙り已に節約に節約を重ね、昭和四年度に於て十七億七千三百萬圓であつた豫算は、昭和六年度に於て十四億八千八百萬圓となつて居りますので、各省に於ける節約は非常に困難なる事情に在るのであります。又豫算編成に於きまして、新規事項としては失業救濟事業以外は前年度より引續きたるものにして、遽に打切り得ざる事業の經費、法律の結果當然に增加する經費等を除き、殆ど之れを豫算に計上せざることと致したのであります。此の方針によりて決定したる昭和七年度の歳出豫算の概數は十四億七千九百餘萬圓であつて、之れより、失業救濟事業費四千百二十萬圓、及び樺太廳特別會計を昭和七年度より廢止する結果一般會計に於て歳出の增加する金額千四百四十萬圓を差引くときは十四億二千四百餘萬圓となり、之れを昭和六年度豫算十四億八千八百餘萬圓より失業救濟事業費二千七百五十萬圓及び樺太關係の經費三百二十萬圓を差引きたる金額十四億五千八百餘萬圓に比較致しますと三千三百餘萬圓の減少であります。

右に述べたる通り、政府は財政、行政の整理により極力歳出を切詰めたのであり

ますが、多年の間に膨脹し來つた財政であ
化に伴ふ歳入の激減に應ずるだけの縮小を短時日の間に行ふことは殆ど不可能
であります。從て相當巨額の不足額が豫期せらるゝのであります。而して此の
不足額全部を公債財源により補塡することと致すときは、別に失業救濟事業の爲
めにも公債を募集する必要がありますから多額の公債を增發することとなり、內
外經濟界の情勢は之れを許さぬのであり
めて將來我國財政に大なる累を殘すもの
一部は公債財源を以て之れを補ひ、一部は
てたのであります。固より今日の如き經
加することは頗る遺憾でありますが、歳入
るに出でたる所であります。尙增徵又は
就ては目下尙調査中でありまして、今日ま
ります。

次に經濟界の狀況に就て申述べまする
ますが、多年の間に膨脹し來つた財政であ
化に伴ふ歳入の激減に應ずるだけの縮小を短時日の間に行ふことは殆ど不可能
であります。從て相當巨額の不足額が豫期せらるゝのであります。而して此の
不足額全部を公債財源により補塡することと致すときは、別に失業救濟事業の爲
めにも公債を募集する必要がありますから多額の公債を增發することとなり、內
外經濟界の情勢は之れを許さぬのであり
めて將來我國財政に大なる累を殘すもの
一部は公債財源を以て之れを補ひ、一部は
てたのであります。固より今日の如き經
加することは頗る遺憾でありますが、歳入
るに出でたる所であります。尙增徵又は
就ては目下尙調査中でありまして、今日ま
ります。

次に經濟界の狀況に就て申述べまする


氣の影響は漸次緩和せられ、我經濟界も次第に安定するものと考へられたのであ
りますが、其の後七月に至り獨逸財界の恐慌が起り、更に九月下旬には英吉利が金
本位を停止することとなりまして、之れが爲めに世界經濟界に大なる動搖を生じ
たのであります。從て我が經濟界も影響を受け、滿洲事件の突發と共に相當打撃
を被るに至つたのであります。御承知の通り、英國は世界金融の中心市場であり
まして、英國の磅は殆ど世界の通貨であり、之れを基礎として各國間の取引が定め
られて居るのであります。其の上、從來日本は英國と最も密接の關係に立つて居
りますから、我國も亦英國の例に倣ひ金本位を停止するであらうとの懸念を抱く
者もありますので、私は此の點に就て所信を申述べたいと考へます。

世界大戰前に於きましては、我國の經濟界は英國と特に非常に密接なる關係に
在つたのでありまして、或時期には我國は英國に多額の在外正貨を所有し、之れを
兌換準備の一部として居つたのであります。斯かる時代に英國が金本位を停
止するやうなことがありますれば、我國も直ちに兌換停止を餘儀なくせらるゝこと
もありませうが、世界戰爭後は此の關係は變化しまして、今日英國の經濟狀況が

我國に及ぼす影響は寧ろ米國を通じて來るのであります。從て英國の金本位制停止により、我國も亦金本位制を停止せざるを得ざるが如き必然の關係は無いのであります。

然らば我國の經濟狀況の實勢が、金本位制の基礎に就て危懼の念を抱くべき事情ありやと申すに、斯くの如き事情は今日一として存しないのであります。

世界不況の結果、各國の財政は何れも急激なる歲入の減少に遇ひ、巨額なる歲計の不足に苦しんで居るのであります。而して英國に於ては失業救濟事業に多額の支出をなし、歲出の膨脹を來して居つた所に歲入の激減に遇つたのであります から、財政上非常なる不安を生じ、之れが經濟界に反映するに至つたのであります。然るに我國に於ては前述の通り昭和四年度以來三年に亙り、極力財政の緊縮を行つたのでありまして、財政の放慢より通貨膨脹を來し、終に金の流出を招く如き懸念は無いのであります。

又昭和四年以來外國貿易の狀況は、價格低落の爲めに輸出、輸入共に減少して居りますが、輸出入の均衡は著しく改善せられ、本年の如き十月末までの實績によれ



ば、內地及び朝鮮、臺灣を合せ輸出十億千四百餘萬圓、輸入十一億千四百餘萬圓であります が、輸入超過の金額は九千九百餘萬圓であつて、之れを前年同期に比べます と殆ど半額に減少したのであります。而して英國の金本位の停止、滿洲事變等の影響を考慮に入れましても、本年の貿易上の輸入超過は貿易外の受取超過を以て支拂ひ得るのでありますから、貿易決濟の爲めに多額の金を積出す必要は無いのであります。

又英吉利、獨逸等の如く常に多額の外國短期資金が流入して居る國に於ては、今日の如き國際間に信賴を缺いて居る時代には、其の國の政界、財界の不安は直ちに急激なる資金の引揚となり、其の國の市場を危地に陷れるのでありまして、此の事は、最近世界の多くの市場に於て見る所であります が、我國に於ては斯くの如き外國よりの短期資金は存在しないのであります から、此の點より來る經濟不安は無いのであります。

正貨の狀況を見ますると、昨年一月十一日に金輸出禁止を解除して以來、日本銀行保有の正貨は昨年中に二億四千六百萬圓を減少して居り、本年に於ては最近二

十一日までに二億二千四百萬圓を減少して居ります。此の正貨の減少は、一部は貿易上の決濟の爲めに使用されたものもありますが、其の大部分は外貨證券に對する投資となり、又は海外に於ける資金として存在するのであります。從て政府及び民間所有の外貨證券の金額は、昭和四年末に六億六千五百萬圓であつたものが本年八月末には八億五千萬圓の增加であります。而して本年の正貨の積出は殆ど全部、英國の金本位停止後の特殊の事情の下に行はれつゝあるものでありますから、八月以前の正貨の積出と放資の狀況とを比較して見まするに、積出されたる正貨は貿易決濟の爲めに使ひ果されたものではないことが事實により明かでありまして、敢て悲觀することを要しないのであります。

右の如き經濟事情でありますから、我國に於ては、今日貨幣制度の根本に對し危懼の念を抱く必要は毫も無いのであります。或は最近英國の金本位停止に刺戟せられて圓を賣り弗を買ふ額が巨額に上り、之れに賣應じた爲めに、橫濱正金銀行が最近二十一日までに二億二千百萬圓の金を積出したることより金本位の停止を豫想する者もありますが、併しながら今日に於ては、圓を賣り弗を買ふことは全



然止まつたのであつて、金の積出自體及び日本銀行の金利の引上により圓資金の調達困難となり、圓の爲替相場も騰貴したる結果、爲替も漸次解合となる大勢であります。從て今後尙ほ既往の約束の爲めに金を積出すことがありとしても、其の額は確定的に豫想のついて居るものであります。

又景氣恢復の爲めに金本位の停止を唱へる者もありますが、金本位を停止しますれば、爲替相場の下落する結果として輸出入品及び之れに關係ある物品の價格は一時騰貴することとなりますから、一部の事業家は一時の利益を得るのであります。併しながら之れは單に手持品に限ることであつて、次には高き原料品を仕入れることとなり、國內に於ける物價騰貴、生產費の增嵩により其の利益は消滅し、又輸出貿易上の利益も消失するに至るのであります。從て永久の景氣恢復は固より望み得ざる所であるのみならず、却て爲替不安の爲めに國內の物價も動搖し、經濟界は不安定となり、國民は多大の損害を被るのであります。

元來一國の貨幣制度は經濟界の基礎を成し、信用の基本でありまして、一時の便宜、一部の者の利益の爲めに之れが改變を許さざるものであります。若し斯くの

如き事が計畫されまするならば、我國財界の安定する時期は無いと申して差支へ無いのであります。而して金本位の維持は國民全體の協力を必要とするもので ありまして、唯に政府及び日本銀行のみの力を以てしては到底之れを行ふことは出來ぬのであります。殊に金融業者としては、此の金本位維持に最も深い關係があるのでありますから、此の點に就き愼重の御考慮を煩す次第であります。

最後に本年の年末金融に就て一言致しまするに、本年十月以來相當多額の金の積出がありました爲めに內地資金が減少して參り、又資金の海外流出を防止する爲めに、日本銀行が十月六日及び十一月五日の二回に亙つて割引歩合の引上を行つた結果、最近金融は著しく引締つたのであります。年末に近く金利が昂騰し、金融が引締ることは甚だ遺憾の事でありますが、今日の如き內外の情勢に於ては、誠に止むを得ない次第と考へます。從て本年の年末金融に就ては特に御注意になり、支障を來さざるやう、十分御盡力を願ふ次第であります。



## 第四回 日本商工會議所定期總會懇親會演說

（昭和六年十一月二十七日於東京會館）

座長並に諸君、今晩は御鄭重なる御馳走にあづかりまして、誠に有難うございました。感謝致します。只今は座長より我國の經濟界の狀況、其の他現在の金融狀態に就ての御意見、最後に金本位擁護に就ての御覺悟のある所のお話がありましたので、私は簡單ながら此れ等の事項に就て、私自分の意見を申述べる考へであります。其の中で最も今日の問題になつて居りまして、諸君に於ても御研究をなされ、又度々御意見の御發表もありました金本位擁護言葉を換へて言ひますれば、金の輸出再禁止の問題が、最も今日の問題であらうと考へますから、此の點に就きまして、大體の事情及び政府の之れに就て考へて居りまする所を申述べてお聽きに達したいと思ひます。

大體の事情を申述べますと、九月二十一日に英吉利が金本位の停止を致しまし

てから後に、我國に於きまして、日本も英吉利の例に倣つて金本位の停止をするであらうといふ豫想の爲めに、亞米利加の弗の爲替を買ふ者が非常に多く出て參つたのであります。それが九月二十一日から二十六日までの極く短時日の間に、可なり巨額な取引がありましたのであります。さうして其の後、九月末から十月の初めまで極く僅かな取引がありましてまつたのであります。さうして今日まで既に一箇月間、弗の爲替を買ふ人は全く無くなつて居ります。日本銀行と正金銀行との相談の上で弗の爲替を賣りました爲めに、正金銀行自らの資金で此の義務を果し得るものは自分の金でやりますが、それに不足をするものは日本銀行の金貨を亞米利加に持出して資金をこしらへる譯で、それが既に今日まで二億六千萬圓餘に達して居ります。斯ういふのが今日までの事情でございます。外國の爲替の事は考へやうで色々な誤解もあり、又理解し惡い所もあるのでありますから、之れに就て私は多少說明を申しておきます。

元來金本位といふものは、其の國の通貨を持つて來て、それを金貨に換へて輸出



することが出來れば、それが卽ち金本位が完全に行はれる譯であります。日本から申しますれば、金貨を積出し、十八日か二十日後にはそれが紐育に著く、從て爲替を先物を取組まうとも賣らうとも、金を持出しておけば、十八日か二十日後には何時でも外國の市場で金が渡せるのであります。金本位の制度はそれで十分でありますが、併しながら實際の商賣となりますと、或は三箇月先、或は二箇月先、或は一箇月先といふやうにして取引がありますから、正金銀行は自分の資金のある範圍内に於ては何時でも先物を渡せる。又日本から金貨を持出して間に合ふだけの時日があれば、それによつて爲替を賣つてもちつとも差支へ無いのであります。さういふ事の爲めに今日まで取引が出來て居るのでありまして、九月二十一日から十月の末までに弗爲替を賣つた其の義務を果す爲めに、九月の末から正金銀行が金貨を段々積出して居る、斯ういふ事實であります。之れによつて世間の考へる所は、英吉利の金本位の停止の例に倣つて日本も金本位の停止をするであらうといふ想像が一つ、もう一つは今日の如く正金銀行が金貨を積出す以上は、其の積出した高によつては、此の爲に金本位の停止をするであらう、斯ういふ二つの事柄

を考へて居るのであります。從て此の考へに對します私の考へを申上げておきます。

英吉利が金本位を停止したら日本も金本位を停止するであらう。斯ういふ想像が果して正しきや否やを考へて見ますと、御承知の如く英吉利は世界の金融の中心市場であります、英吉利の貨幣の磅は殆ど世界の通貨と云つても宜しい。世界中の取引の大部分は磅によつて取引されます。從て英吉利が金本位停止をすれば、此の意味に於ての影響は世界中何處でも受けます。次に英吉利の金本位停止が特別に日本にどれだけの影響があるか。斯ういふ事を考へて見ますと、之れは世界戰爭の前と後とは非常に違つて居ります。御承知の如く世界戰爭前は英吉利が世界の金融市場である、さうして世界の金融市場は一つである。從て日本銀行の正貨準備は多い時は一億二、三千萬圓、或は平均一億圓位の正貨準備は、在外正貨として英吉利に置いてあつたことが多いのであります。若し左樣な時に英吉利が金本位を停止したならば、日本は其の事自體の爲めに金本位を停止せんければならなくなります。何故ならば、其の時に日本の正貨準備は二億圓から二億



五千萬圓、それに對して三億五千萬圓か四億圓の兌換券を發行して居つたのであります。從て其の事自體の影響を受けて、日本銀行は金本位を停止しなければならぬやうな結果が來て居つたかも知れませぬ。併し世界戰爭後に於ては、左樣な事情は少しも無いのであります。我國との關係は、今日では寧ろ亞米利加の方が英吉利よりも密接である。世界戰爭によつて紐育の地位が高くなつた爲めに左樣になつて居りまして、今日では英吉利の日本に及ぼす影響は寧ろ間接である、亞米利加を通して來るのであります。論より證據は、英吉利の金本位停止を致しましてから後に、亞米利加は一時は非常な危機に瀕して、亞米利加の狀態はどうなるか分らぬやうな心配をしたことがありますが、其の影響は日本に可なり大きな影響が來たのであります。併しながら英吉利の金本位の停止は卽ち間接に亞米利加を通して來るのであります。例を述べますと、戰爭前には生絲の取引の八割までの金融は英吉利でやつて居つたのであります。生絲は

亞米利加に送りますが、金融は八割までは英吉利でやつて居つたのであります。今日は生絲の金融の九割までは亞米利加で濟むのであります。一割位を漸く英吉利で金融をする位の程度になつて居るのであります。從て英吉利が金本位の停止をしても、横濱の生絲取引には何等の影響を及ぼさなかつたやうな事情であります。

もう一つの考へは、英吉利が金本位停止をしたらば、丁抹、瑞典、諾威等、北歐羅巴の國は此の例に倣つて金本位の停止をしたから、日本も金本位を停止するだらうといふ考へが大分あつたやうでありますが、此れ等の國の英吉利との關係は、日本の戰爭前の英吉利との關係と同じことでありまして、日本は金本位を停止するだらうとりの中央銀行の中に入つて居る手形といふものは、英吉利拂の手形が大部分である。白耳義や和蘭も同じ事情であります。私自分の如きは、英吉利が金本位を停止したならば和蘭、白耳義も其の例に倣ひはしないかと心配した位であります。此の中に若し白耳義の中央銀行の狀態でも御研究になつた方がありましたならば、容易くさういふ想像がつくのであります。從て只今申すやうに、英吉利の金本



位制度に最も關係が厚い所の或部分は、同時に金本位を停止したのでありますが、日本は必ずしも左樣な影響は無いと信じて居ります。

それからもう一つの想像は、今日金の現送を斯やうに巨額にするから、今に日本も金の輸出禁止を餘儀なくせられるであらう、斯ういふ說があります。それは只今私が說明したことによつてよく分つて居りますが、十月の末までは僅かながらでも弗の爲替を買ふ取引が毎日續いて居つたのであります。從て今日は十月の末以前に取組んだ取引の義務を果す爲めに金貨を送つて居るのであります。從て今日は十月の末以前に取組んだ取引の義務を果す爲めに金貨を送つて居るのであります。日本銀行はそれに對する全部の金貨を送つても金本位維持には差支へ無いと、斯ういふ事がはつきりして居ります。從てにはどれだけ金貨を送れば宜しいか、斯ういふ事がはつきりして居ります。從て日本銀行はそれに對する全部の金貨を送つても金本位維持には差支へ無いと、斯う考へて居るのであります。況や御承知の如く、斯う、取引といふものは何と申しますか、見込、スペキュレーションであるのでありますから、儲からないといふことの見極めがついたならば、取消すのも澤山ありますから、今の現送は或程度まで多額に上居て、現在は減るとも殖えないのでありますから、

りましても、すつかり見込がついて居る高であります。毎日のやうに殖えるのならばどれだけ殖えるか分らぬのでありますが、今日までの數字は減るとも殖えないといふことを考へますと、今日の狀況に於ては、其の爲めに金本位の停止をするといふ必要は毛頭認めて居らぬのであります。

これまでは事實をお話したのでありますが、それならば九月二十一日から十月の末まで左樣な大きな弗の取引があつたといふことはどういふ譯か、どういふ事情であるかといふ說明、私の解釋を申しますと、第一は日本の爲替銀行或は外國貿易をする人の今日まで出來た金、持つて居る金、今後出來る金は、英吉利に行くのが一番多かつたのであります。又最近の事情で云ひますと、亞米利加の金利よりも英吉利の金利が高かつた爲めに、日本の金が英吉利に行くことが最も便利であつたのであります。從て日本の勘定に屬するもので、英吉利に置いてあるものが可なり多い。それが突然と二十一日から金本位の停止をしましたから、外國に持つて行くことが出來ない。持つて行くとすれば二割か、今日は二割九分、三割と下つて居ります。それだけ覿面に損をしなければならぬ。それを動かすことはやう



しないから此の儘でおかうといふのは人情であります。又これまで英吉利に置いた金は卽日でも紐育で使へて居つたのであるが、今日は紐育と倫敦との間に壁を拵へられて、所謂世界の共通性を失つたのでありますから、二重に金融の用意をせんければならぬ。英吉利に置いた外に紐育に金を置かなければならぬ。斯ういふやうに迫られた事情があります。もう一つは卽ち九月二十一日から云ひますと、十二月末まで三箇月十日間に於ける多くの取引のうちで、實際の必要があるから爲替を買つたといふことがあります。其れ以外のものは所謂見込であります、スペキュレーションであります。日本が金本位を停止するであらう、さういふ論があります。どうして左樣な見込が云へるか、今まで送つてある金は、卽ち弗の爲替を買うた金は全部正當な取引であるといふ世間の議論もありますが、それはさうは考へられませぬ。何故かと申しますと、前に說明しておきましたが、九月二十一日から二十六日までに此の巨額の取引が大部分出來た。左樣な取引は實際の必要に適應した取引でありませぬ。それと、三箇月と十日間の

割合と致しましては、出來た高が普通の取引に必要な高から云ふと何倍と多いのであります。乃ちそれによつて考へて見れば、日本が金本位停止をするであらう、さうしたならば爲替の上で二割、三割儲かるであらうといふ見込の金が、其の中に可なり澤山這入つて居ると、斯う見て差支へ無いのであります。

其の次は日本の金本位擁護といふものは、根本に於て擁護の出來ない事情があるや否や。斯ういふ議論であります。日本の金本位の根本から維持が出來ないといふならば、左樣に考へるのも止むを得ない事情でありますが、此の點に就きましては、私は左樣な事情は根本に於て無いと、斯う考へて居るのであります。

第一は、最も金本位維持に困難を來すものは通貨膨脹であります。國々によつて其の結果は違ひますが、通貨膨脹を來した結果は輸入が殖える、其の爲めに結局は金が外國に出て行く。それで何年か經つうちには金本位維持が困難になるといふ事情があるのであります。通貨膨脹の一つの例から申しますと、財政であります。財政の上に通貨膨脹を來すや否や、斯ういふ事を考へて見ますに、英吉利の



例をとつて述べて見ますと、英吉利は御承知の如く非常な堅固な財政經濟狀態の國であつたのでありますが、世界の戰爭によつて殆ど以前の狀態と變つて居ります。御承知の如く、政府紙幣を英蘭銀行が受けて保證準備を多額に殖やして居ります。批評致しますと、戰爭中に非常な通貨膨脹があつたのが、戰後に十分の整理が出來て居らなかつたのであります。從て根本に於て非常な困難な狀態になつて居つた所に、最近此の世界の不景氣が來たのであります。財政の整理が十分に出來ない一方には、失業者に拂ふ金が非常に多い、さうして歲出の節約が出來ずに居る。本年度に於て七億圓、來年度に於て十七億圓といふやうな缺陷を生じて來て居つたのであります。此の點に就て世界から非常に疑はれた、卽ち通貨の整理が出來て居らないのであります。根本に於て、目前に左樣な結果を生じて來たのであります。日本と比較を致しますと、日本の財政は勿論小さいのでありますが、昭和四年から數回に亙つて歲出の節減を致しました結果が、非常な財政困難に遭遇して居りますけれども、其の意味から云ふと、膨脹を來して居るといふことは、今日の日本の財政には無いと考へて差支へ無いのであります。

それから第二は貿易の結果はどうかと云ふと、先刻座長からお話のありましたやうに、昭和四年、五年と年を經るに從ひまして、貿易は輸出、輸入共に減りましたけれども、今年の如きは十月の末に輸入超過の高が九千九百萬圓になつて居ります。恐らくは今年の如きは、年末まで行きましても、輸入超過の高は貿易外の受取勘定で十分拂ひ得るのであります。さう考へると、貿易の上から巨額に金を外國に拂出さなければならぬといふことは、毛頭無いのであります。

もう一つの直接の事情を申しますと、獨逸及び英吉利が最近に何故にあれ程困つたか、英吉利の如きは金本位制度を何故に抛棄しなければならなかつたかと云ひますと、外國から這入つて居ります短期の資金が巨額にある爲めであります。丁度銀行の預金が巨額にあるのと同じやうな形で、英吉利や獨逸は澤山短期の資金があるのであります。然るに今日はどういふ時代かと云ひますと、世界中を通じて總ての部分に信頼を失つて居るのであります。英語で云へば、コンフィデンスを失つて居る時でありますから、英吉利に歳入缺陷が非常に多い、英吉利の財政は非常に困難をするといふと、何人と雖もコンフィデンスを失つて居るのであり



ますから、そら期限だから皆持つて歸れと云つて、外國は短期資金を、當座預金を取出すやうに取つて行つたのであります。これは事實で、金本位制度を停止した時には二十億圓の金を取られた。さうして停止を致しましたあの當座には、英蘭銀行の庫の中に在る金貨全部を持つて行かれても尚足りない程の要求が外國から來たと、斯ういふ事を云はれて居ります。それは皆短期資金でありますが、日本には左樣な短期資金は全く無いと云うてもよいのであります。卽ち外國人が日本の金融界に信頼を失つて、さうして外國に理不盡に金を持出すといふやうな狀況は一つも無いのであります。さう考へますと、根本に於て金本位擁護の出來ない事情は私は無いと、斯う考へて居るのであります。

もう一つの事情を申述べますと、昨年金解禁を致しましてから本年八月末まで に、日本銀行の庫から、差引致しまして、約二億五千萬圓の金貨が外國に出て居る。然るに一方にはどうかと云へば、一昨年末から本年八月の末までに日本の勘定で、外國貨拂の公債、卽ち日本の政府の公債、英吉利の公債、大藏省證券、亞米利加の大藏省證券、或はリバティー・ボンド等を買つて、日本の勘定として增加した額が一億八

千五百萬圓程あるのであります。さうして本年八月末現在、日本の勘定全體でもつて外貨證券の額は八億五千萬圓程あるのであります。一箇年と八箇月の間に二億五千萬圓の金貨が日本銀行の庫の中から出て行つたが、併し其の間に日本人の勘定の外貨等が一億八千五百萬圓增加した。日本全體から云へば、八億五千萬圓位を拂ふ金を持つて居る。斯ういふ事になります。日本銀行の庫の中から金貨が出て行きますことは、金本位の制度の上から申しまして頗る遺憾な事でありますが、廣く日本全體から云ふと、左程悲觀すべき狀態ではない。二億五千萬圓から一億八千五百萬圓を引いた六千五百萬圓位が色々外國貿易に使ひ捨てた金である。一億八千五百萬圓は日本の勘定で外國に殘つて居る。斯う考へれば敢へて悲觀すべき事情でない。然るに本年九月の末から後今日まで、更に二億六千萬圓餘り正金銀行が現送して居ります。此の金がどんな形になるか、日本に歸るか、外國に其の儘預金になるか、外國拂ひの公債の形になるか、之れは今後でないと分りませぬ。私は何れにしても過去の事實を考へて見ますと、左程悲觀すべき事情とは考へぬのであります。さういふ風に推論をして見ますと、日本の金本位の根



本に危懼の念を抱く要はない、金本位制度に就て何等變へるやうな考へは持つて居りませぬ、又今日の現狀に於て之れを立派に維持し得る決心と覺悟とを持つて居るといふことを、皆さんの前に申上げておいて宜しいのであります。世の中に種々の議論がありますから、皆さんは十分御承知の事と考へますが、尙私自分の卑見を申述べて見たいと思ふのであります。

只今座長の云はれるやうに今日は世界の非常な不景氣で皆困る。何とか之れに對する救濟策が欲しい。何か名案は無いかと、皆が探して居る今日の狀況でありますから、斯やうな迷論が出るのも當り前かも知れませぬが、金本位停止をすれば日本の不景氣が景氣になる。所謂不景氣救濟策として、金本位制度を停止しようと云ふ議論がありますが、之れは私は非常な誤りだと考へて居ります。又此の點に就て總ての事情をお考へになりますと、各人の立場によつて事情が違ひますけれども、日本國の利害關係を考へて、さうして之れに對する考へをお決め下さることを切に希望するのであります。何故かと申しますと、金本位を停止致しますと一時的には利益を得る人があります。又一部の事業は此の爲めに利益を得ま

す。併しながら之れを要するに全く一時的のものでありまして、結局は其の利益は元通りとなつてしまひ、さうして他方には日本の經濟界は混亂されます。一般の人は非常な不利益を被ります。一部の市場は宜しいのであるが、全體の市場は非常な危害を被ります。私が細かく申上ぐるまでもなく、金本位停止を致しますれば爲替相場は下ります。今日は、日本から見ました時には、英吉利の爲替相場は二割九分下つて居ります。英吉利の十磅は百圓の筈が七十一圓にしか通用して居りませぬ。從て外國から來るものの事を考へると、棉を例にとりますれば、棉で拵へた綿絲、綿布の如きは二割九分だけ翌日は上ります。爲替が下れば外國から買うた金はそれだけ上る譯であります。百圓の棉は百二十九圓に上るのは當然であります。綿絲、綿布も左樣な譯であります。從て棉を持ち、綿絲を持つて居る人は獨り儲かります。併しながら其の翌日は、亞米利加なり印度なりから買はなければならぬ棉はどうかと云へば、以前は百圓で買うたら二十九圓儲かつたが、翌日は矢張り百二十九圓の金を出さなければ棉が買へなくなる。卽ち一時的のストックを持つて居る人は儲かるといふことになります。或は棉に限らず鐵の如



きも、外國から來るものと同じ商賣をして居る者は、矢張り其の爲めに利益を得る。何故ならば外國から來るものが二十九圓、二割九分程高くなるから、それと同一な品物はそれだけ高くなる譯であります。併しながら其の結果は、私が議論をするよりか、英吉利の事情を述べればよく分りまありますから、食料品、棉等輸入品は全部卽日から上つたのであります。今のやうに輸入の多い英吉利で今日は輸入品だけではない、英吉利の全體の物價指數に現れて毎日の如く上りつつあります。其の結果はどうかと云ひますと、生活費が上り生産費が上つて、結局の所外國に輸出が便利と考へて居つたのが、元の默阿彌になつてしまふ、斯ういふ事になることは當然の義と考へます。さうして一方にはどうかと云へば、色々な例を私が述べるまでもなく、外國貿易の事を考へて御覽になれば、英吉利の金本位といふものは無くなつたから、英吉利の爲替相場は毎日動いて居ります。棉を買つたと云へば下るのであります。英蘭銀行が外國にクレディットを得たと云へば上る。何かに就て毎日下つたり上つたりして居ります。故に取引する尺度が常に動くのでありますから、其の爲めに此の國の經濟狀態に警戒を與へるといふこ

とは、私が説明をするまでもなく、皆様が一番よくお分りであります。よく世間の人は、金本位を停止すれば爲替が下る、其の下つただけの事を考へますが、下つても三割ならば三割、二割ならば二割と確定して安定すればそれで取引は出來ますが、決して安定致しませぬ。上つたり下つたりして非常な變化を來す所に、非常な困難を生ずるのであります。金本位停止にしても何にしても、安定して一定すればそれで結構でありますが、決して安定致さないのは、九月二十一日から今日までの英吉利の磅の相場が動いて居る所を御覽になるとすぐ分ります。

それからもう一つ、之れは私の議論と申して宜しいのでありますが、政治上でも經濟上でも安定をして居るといふことが、國民生活には一番必要な事と考へるのであります。故に經濟上では見込をし、スペキュレーションをする人は、物の値段が動かぬと滿足せぬ人が澤山ありますけれども、全體の國民から考へて見ますと、經濟界は安定するといふことが一番望ましい事であります。從て物を計る尺度の如きは、之れを動かさぬといふことが當然の義と考へます。之れは日本だけでなく、一國の貨幣法といふものは、所謂經濟界の根本をなす組織の根本法であります。其の根本法を動かすといふことは、非常なる大事件と考へなくてはなりませぬ。所謂一時の便宜、或は一部の人の利益、或は一部の事情の爲めとかいふやうに、便宜、或は便利とかいふやうな事で經濟界の基礎になる法制を動かすことは、絶對的に避けなくてはならぬと思ふのであります。英吉利が金本位制を停止したのは、先刻座長から言はれた如く、先刻私が數字的に說明したるが如く、非常に困難をして守り守つて來たけれども、舊來の不信用の爲めに止むを得ず之れを棄てたのであります。不景氣を景氣に變へるといふ暴論の爲めに、或は一時の便宜の爲めに、之れを止めたのでは決してないのであります。私はそれが卽ち根本法、經濟上の安定を必要とする根本法に對する觀念でなくてはならぬと考へるのであります。從て私の結論から言へば、金本位の如きは政府や日本銀行が之れを擁護するものではなくして、國民全體が之れを擁護しなければならぬと考へるのであります。況や金融業者並に金融に關係のある人は、自己の商賣、自己の立場から最も直接に金本位に責任がある者であります。從て金融業者といふ者は重大なる關係のあるといふことを考へて、之れが擁護に當らなければならぬと考へるのであり

ます。一つ例を私が申述べますと、日本の銀行及び信託會社を集めて預金の高を考へて見ると百億圓以上あります。常に勝手になる金が、其の中の一割か約二割は必ずあるのであります。所謂アヴェーラブル・ファンドがあります。それが十億圓、二十億圓あるのであります。遊金でさへも日本銀行には三億圓、四億圓の預金が集まつて居る時があります。左様な大きな力を持つて居る金融業者が之れを擁護せずに、此の金本位を破壊しようとすれば出來る力があるのであります。若しさういふ事になりまするならば、日本には未來永劫金本位制といふものは維持が出來ぬといふことになります。さう考へますと私は、今日のやうな狀態にあつて、國民全體、殊に事業に關係されて居る皆樣には、斯ういふ事情を逐一公平な立場から判斷して戴きたいと考へるのであります。其の人の立場、其の關係したる事業から斯やうな問題を割出しますと、又再び取返しのつかないやうな國民的の損害を來すことがあるのであります。

先刻座長より金融の關係に就て、今日の金融の梗塞に就てお話がありました。誠に御尤もと考へるのであります。日本銀行は金貨が出て行く、弗の爲替を買手があつてそれを賣つた。正金銀行としましては金貨を持出さなくてはならぬ。從て日本銀行には、何箇月まではどれだけの金貨を持出すといふことは、はつきり頭の中に這入つて居ります。昨年軍縮の條約に就て樞密院で問題の起りました時にも、丁度斯やうな事情が出て來ましたが、其の時は二億圓近くの弗の爲替を買うた人がありました。併しながら僅か五千萬圓位の正貨を送つて、後は殆ど取消されたのであります。從て今般も相當巨額なものがあるが、之れを全部送らう、斯う考へておけば、それ以上送ることになる氣遣ひは無い。斯う考へます。從て日本銀行の眼には此の年末にはどういふ狀態になるか分つて居りますから、其處に金本位を擁護する爲めに、金利を二度程上げたのであります。先刻の說明を繰返して申しますが、今正金銀行が金貨を送つて居るのは、丁度弗の爲替を買うた人の代理で送つて居るのと同じことであります。卽ち正金銀行から云へば弗を賣つた、賣つたから今之れを送つておかう、若し賣らずにおいたならば買うた人が今日は金貨を送る譯である。何故に金利を上げるかと云ひますと、一方から云へば外國よりも日本の金利が高くなるといふことは、外國に金を送ることが必要が無く

なるといふ事情もあります。一方から云へば、金無しで見込のスペキュレーションをした人が金をこしらへることが非常に不便になれば、スペキュレーションが當らずに之れを見棄ててしまふといふことになります。從て日本銀行としては、金利を上げて之れを擁護しよう、斯ういふ覺悟から上げたのであります。上げた結果は、相當の結果を生じて好成績をあげつゝあります。只今座長のお話で、今日は金利が上つたので事業家は困る、斯ういふ事を言はれて居りまするが、之れは非常に遺憾のことと思ふのであります。何故かならば、英吉利が金本位を停止したから、日本も金本位を停止するであらうといふ考への下に、斯やうな事態が生じて居つて、國の立場から云へば、何等の實際的の必要の無い金が多額に海外に送られたといふことを考へますと、其の爲めに金利が此處まで上つて來たといふことは非常に遺憾至極であります。事業家に非常に迷惑をかけることは遺憾至極でありますが、此處が卽ち私が言ふ經濟界の根本をなす貨幣法を維持するといふことは止むを得ない事である、經濟界の安定を保つて行く上に於きまして止むを得ない事であります。之れを見棄てたならば非常な經濟界の混亂を來すといふことは當然でありますから、之れは止むを得ない事であります。併し止むを得ないと云ひましても、現在の金融界は非常に困る。斯ういふ事からして、日本銀行としては、金利は高くせんければならぬ事情があります。併しながら各處々々に起つて來る金融の梗塞に就ては、日本銀行は大いに努力する覺悟で居りまして、日本銀行の當局者も、數回に亙つて此の事柄は責任を以て意見を發表して居るのであります。金利の高くなるのは此の事態を惹起した以上は止むを得ぬが、各種の金融の梗塞を來し之れが疏通を必要とする場合には、疏通を圖る覺悟を持つて居るのであります。斯ういふ點に就きましては、當局者の眼に見えず、耳にも入らぬ所もあらうと考へて居りますので、皆さんの協力を得て、此の金融の疏通を圖つて行きたいと考へて居ります。

尙經濟界の事情は、座長から先刻申されたが如く、本年六月までは可なりに世界の不景氣も轉回して行くであらうと考へて居つたのでありますが、七月に獨逸があの事情となりました。之れは根柢に於ては、非常に世界の不景氣に影響を與へて居ります。何處に影響を與へたかと申しますと、唯獨逸の經濟界が崩壞したの

ではないのです。獨逸には亞米利加、英吉利の短期の資金が巨額に行つて居ります。して、其の額は亞米利加から十六億馬克、英吉利から十億馬克と云はれて居ります。其の金の大部分が一時獨逸に封鎖せられて、之れが亞米利加にも歸つて來ぬ、英吉利にも歸つて來ぬのであります。亞米利加が最近非常に困難したのも、獨逸が左樣な金を斯うして居るから亞米利加の經濟界も非常に疑はれて、銀行を注意して見ますと、預金が一割或は一割五分、二割も減つたやうなものが數多いのであります。卽ちこれは決して、空漠として獨逸の經濟界が崩壞されたから、それで世界の不景氣が深刻になつたのではない。具體的に、英吉利にも亞米利加にも、同樣に影響を與へて居るのであります。英吉利が九月二十一日から金本位の停止をして、世界中に大なる影響を與へたのであります。まだ〳〵日本の如きは影響が少ないのでありまして、亞米利加の如き、或は歐羅巴、中央歐羅巴の如き、非常な影響を蒙つて居ります。印度や濠洲の如きは貴方がたが直接關係されて、影響の大なることは御承知の通りであります。日本の狀況に於きましても、七月から九月、殊に滿洲事件が始まりましてから、實質的及び人氣と相俟つて、中々經濟界の狀況に影響



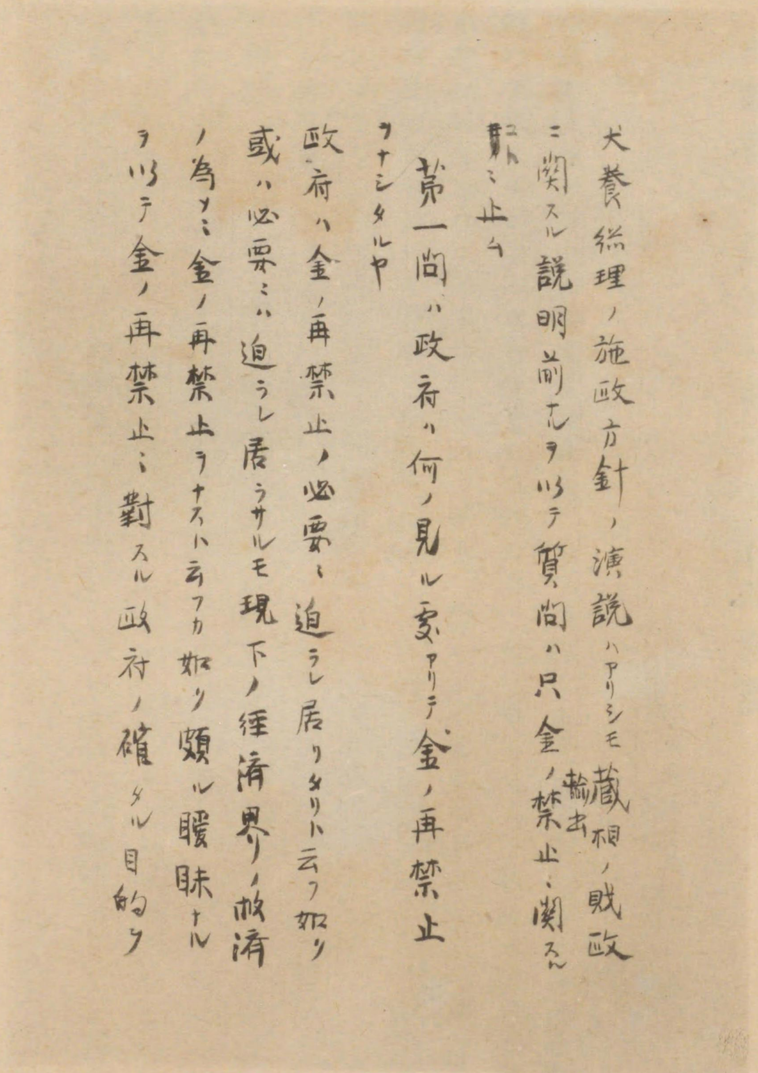
を與へて居ります。併しながらどうなりますか、今日では世界の各處に於て、まだ見込を云つて居る人も殆ど無い位であります。此の頃初めて亞米利加の人に經濟界の將來觀に就て聞けば、もう此の上は惡くはならぬだらうと、斯ういふ意見を述べた大財政家が居りますが、さういふ世界中を通じての狀況であります。英吉利の爲替相場が毎日の如く動き、之れに對して世界中困難し切つて居るのであります。從て急速に世界の經濟界が好轉しようとは考へませぬのであります。座長の言はれる如く、財政、經濟共に今日は非常な危機、重大なる時代になつて居ります爲めに、政府及び諸君と共に協力して此の難局に當らなければならぬと、政府當局者も考へて居るのであります餘談でありますけれども、世界の不景氣に對する種々の書物があり、多くの議論がありますが、偖て耳を傾けて聽くに足る救濟策といふものは無いのであります。其の中を通じての一番の救濟策と認められますのは、協力、卽ちコオペレートする、卽ち世界各國の中央銀行はコオペレートして調節を圖らなければならぬ。各地の金融界はコオペレートして大いに調節を圖つて行く。政府と國民との間に協

力する。之れは空漠たる問題でありますが、恐らくは此の意見が一番、私は實際の救濟策として效果のあるものと考へて居る次第でありますから、此の事は先刻座長より申述べられましたが、私もそれを裏書して、私からも宜しくお願しておきたいと考へます。



# 民政黨筆頭總務時代の演說

井上準之助氏が昭和六年十二月より遭難に至る約二箇月の民政黨筆頭總務時代の演說、講演は殆ど總て金輸出再禁止に關するものにして、其の內容は何れも第一卷所載の氏が著者「金再禁止と我財界の前途」と略、同一なるを以て、此處には氏が本問題に關して、昭和七年一月二十一日、貴族院に於て試みたる質問演說一篇を掲ぐるに止めたり。



大養総理ノ施政方針ノ演説ハアリシモ蔵相ノ財政ニ関スル説明前ニアリテ金輸出ノ禁止ニ関スル質問ハ只金ノ再禁止ニ止ム

第一問ハ政府ノ何ノ見ル処アリテ金ノ再禁止ヲナシタルヤ

政府ハ金ノ再禁止ノ必要ニ迫ラレ居リタリト云フ如キ或ハ必要ニ迫ラレ居ラサルモ現下ノ経済界ノ救済ノ為メニ金ノ再禁止ヲナスト云フカ如キ頗ル曖昧ナル言ヲ以テ金ノ再禁止ニ対スル政府ノ確タル目的ヲ

金輸出再禁止に關する質問演說自筆原稿

# 金輸出再禁止に關する質問演説

（昭和七年一月二十一日於貴族院）

只今高橋大藏大臣の御演説を拜聽致しましたのでありますが、濱口内閣の金解禁當時の事情よりお述べになりまして、此の點に就きましても事實に於て非常なる思ひ違ひをなされて居ることがあります。併しながら此の事柄は二年半乃至二年程の前の事柄でありまして、短時間に緊急に質問を致したい點は、金再禁止前の事情に就きまして、數點に亙つて御質問を申上げて見たいと思ひます。

第一には高橋大藏大臣にお尋ねしたいのは、金本位を維持するには如何なることをお考へになつて居られるか、金再禁止は止むを得ざる事情であつたと云はれるが、果して再禁止をされた前に左樣な事情があつたか否や、吾々は毛頭左樣なことを考へぬのであります。日本の經濟界の根本から申しますと、昭和五年に金の解禁を致しまして、日本は其の影響を蒙つて不景氣に遭遇して、日本は其の影響を蒙つて不景氣

であります。併しながら諸外國と日本と比較致して見ましたならば、恐らくは日本の財界は比較的に安定して居る、と申してよからうと思つて居ります。必ずしも私個人の意見では無い、世界の財界人の通じた意見であります。尚細かく亙つて、金本位を維持することが果して出來ない事情が日本の財界の根本にある、ということを先刻申されて居つたが、吾々はさうは考へませぬ。昭和四年、五年、六年と通じて、世界の不景氣の爲めに貿易の輸出、輸入の總額は減つて居ります。併しながら、輸入超過の高は段々減つて居ります。昭和五年、六年の國際貸借の改善は著しく眼の前に現れて居るのみならず、財政上から來る通貨膨脹といふことが金本位の維持に最も害になるものでありますが、此の點に就ては財政の緊縮、其の結果として、毛頭虞れは無いと申して宜しいのであります。尚先刻高橋大藏大臣は金解禁後の正貨の出た高に就て彼れ此れ仰しやるが、もう一歩進んで其の事情を御研究を願ひたい。何故かならば、昭和五年の一月十一日金解禁後に、日本銀行の正貨は二億四千六百萬圓減つて居ります。併しながら金貨が減る代りに、日本人の勘定で外國に持つて居る外貨拂の債權は一億八千萬圓程殖えて居ります。之れ



は昭和六年の八月末日までの殘高で云ふと、さうなつて居ります。二億四千六百萬圓の金貨は減じたが、外國に日本人の勘定で一億八千萬圓程金がある、外貨拂の證券を持つて居ると、斯うお考へになつて御覽になつたならば、日本全體から云つて左程悲觀する事情も無いのであります。日本には元來、獨逸の經濟界が破壞せられ、英吉利の金本位を停止せざるを得ないやうな、外國人の持つて居る資金は日本には無いのであります。英吉利には四十億圓からの外國人の金があつて、それを取出されて金本位を停止をせざるの止むを得ぬ事情があつたと、斯う申します。日本には、昭和五年一月十一日の金解禁後の事情を斯やうに申して見ますと、根本的に金本位の維持が出來ないやうな事情が何處にありませうか、私は御指摘を願ひたいと思ふ。

それから九月の二十一日後に起つて來ました、卽ち先刻詳細に御說明になつた所謂弗買といふものに就て、私は私自分が其の局に居つてとりました事情を一應申述べます。金本位制度の下に於て、或は正金銀行を壓迫したとか、或は實業家に協力を求めたとか、或は貿易商に取消を賴んだとか、さういふ事柄は毛頭ございませ